



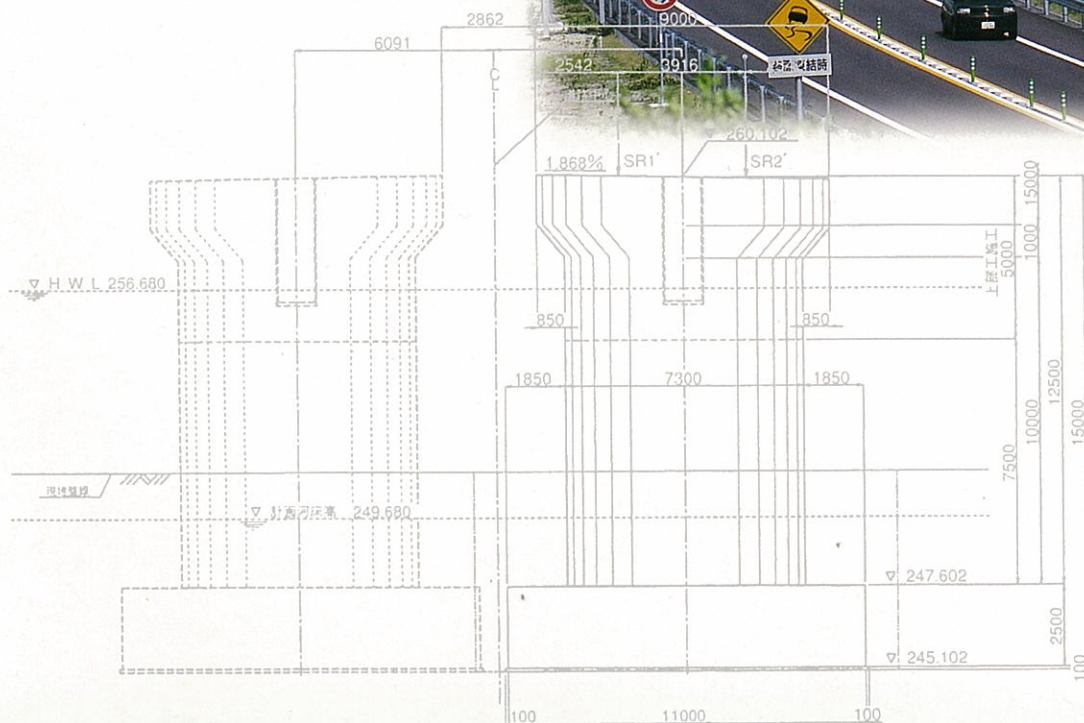
うつくしま、ふくしま。

福島県の

橋梁

平成15年度版

平成12年度～平成14年度



福島県土木部道路領域

福島県の橋梁

平成15年度版

(平成12年度～平成14年度)

福島県土木部道路領域

は じ め に

新しい世紀を迎え福島県土木部では、「うつくしま建設プラン21」を策定し、住宅・社会資本整備の基本目標として「ともに考え、ともにつくる美しい県土」を設定しました。

そして、その基本目標を達成するために、「県土のランドデザインに立ったより計画的な事業展開」、「重点・効率的な事業執行」、「量から質への転換」、「建設主体から管理重視へ」の4つの基本的考え方のもとに各種施策を展開していくこととしております。

橋梁計画においても、これらの考え方に基づいて策定していくこととなりますが、橋梁は、多大な建設費を要し、道路全体の事業執行計画にも大きな影響を及ぼすため、年々公共事業予算が限られていく中で、最適かつ効率的な橋梁計画の策定がますます重要となっております。

また、平成13年12月27日付けで橋・高架の技術基準について国土交通省よりの通知があり、平成14年3月には「道路橋示方書・同解説」の改訂版が発刊されましたが、その主な改訂のポイントは「性能規定化」「ライフサイクルコストの縮減・維持管理の軽減」「設計の合理化(耐震設計の合理化)」となっております。

特に「性能規定化」については、コスト縮減等に資する新しい知見の導入促進等を目的に従来の仕様規定型の規定から変更されたもので、従来の規定によらない荷重値、解析手法、設計手法、材料、構造等の採用により、より安全で耐久性に優れ、経済的、さらには環境とも調和した橋梁の設計が可能となったことから、本県においても積極的に取り組んでいく考えでおります。

今回、本書に掲載した数々の橋梁の中にも、各種の厳しい条件をクリアし架設された橋梁が含まれており、これからの橋梁の計画設計にあたってのヒントが隠されていることと思われます。

本書が今後の橋梁の計画設計に携わる方々の一助となりますことを願っております。

福島県土木部道路領域総括参事 佐 藤 正 人

完 成 橋 梁

総 目 次

総 目 次

完成橋梁位置図

平成12年度完成橋梁位置図	2
平成13年度完成橋梁位置図	3
平成14年度完成橋梁位置図	4

23 前 柳 橋	28
24 松 合 橋	29
25 松 川 跨 線 橋	30
26 矢吹インターランプ橋	31
27 渡利くるみ橋	32

平成 12 年度完成橋梁 (五十音順)

1 赤 沢 大 橋	6
2 い ず み 橋	7
3 岩 沢 川 橋	8
4 うつくしま大橋	9
5 梅 川 橋	10
6 円 明 寺 橋	11
7 川 原 橋	12
8 金 波 橋	13
9 御 所 内 橋	14
10 古 峰 橋	15
11 新 下 田 橋	16
12 新 玉 川 橋	17
13 高	18
14 玉川インターランプ橋	19
15 津 島 橋	20
16 栃 ノ 木 橋	21
17 中 山 大 橋	22
18 八 幡 橋	23
19 盤 城 橋	24
20 姫 川 橋	25
21 別 府 橋	26
22 堀 切 1 号 橋	27

平成 13 年度完成橋梁 (五十音順)

1 家 東 橋	34
2 大 久 保 橋	35
3 奥 軽 井 沢 橋	36
4 小 田 倉 橋	37
5 栢 ノ 木 橋	38
6 作	39
7 新 向 橋	40
8 須 賀 川 橋	41
9 田 中 橋	42
10 槻 木 橋	43
11 壺 石 橋	44
12 百 目 木 橋	45
13 野 辺 沢 橋	46
14 萬 歳 橋	47
15 堀 切 2 号 橋	48
16 森のわくわく橋	49
17 吉 大 橋	50

平成 14 年度完成橋梁 (五十音順)

1 あ い よ し 橋	52
2 赤 谷 橋	53
3 石 塚 橋	54

4	江 持 橋	55
5	大 三 本 橋	56
6	大 山 橋	57
7	小 戸 神 橋	58
8	表 橋	59
9	カ ラ ブ 沢 橋	60
10	甲 子 橋	61
11	小 畑 橋	62
12	小 松 原 橋	63
13	さ く ら 橋	64
14	新 閤 魔 沢 橋	65
15	新 作 沢 橋	66
16	新 滝 川 橋	67
17	新 東 開 橋	68
18	新 福 永 橋	69
19	大 原 橋	70
20	登 地 橋	71
21	富 沢 跨 道 橋	72
22	西 谷 橋	73
23	ひ り ゅ う 大 橋	74
24	堀 川 橋	75
25	松 草 平 橋	76
26	吉 野 中 央 橋	77

写真でみる橋梁のできるまで

1. PC 場 所 打 ち 編	88
2. PCブロック桁橋編	89
3. 鋼 橋 編	90

完 成 橋 梁 一 覧 表

平成12年度完成橋梁一覧表	92
平成13年度完成橋梁一覧表	94
平成14年度完成橋梁一覧表	96

完 成 橋 梁 索 引

年 度 別 橋 長 順 索 引	100
全 橋 梁 橋 長 順 索 引	101

監 督 員 の ペ ー ジ

う つ く し ま 大 橋	80
---------------	----

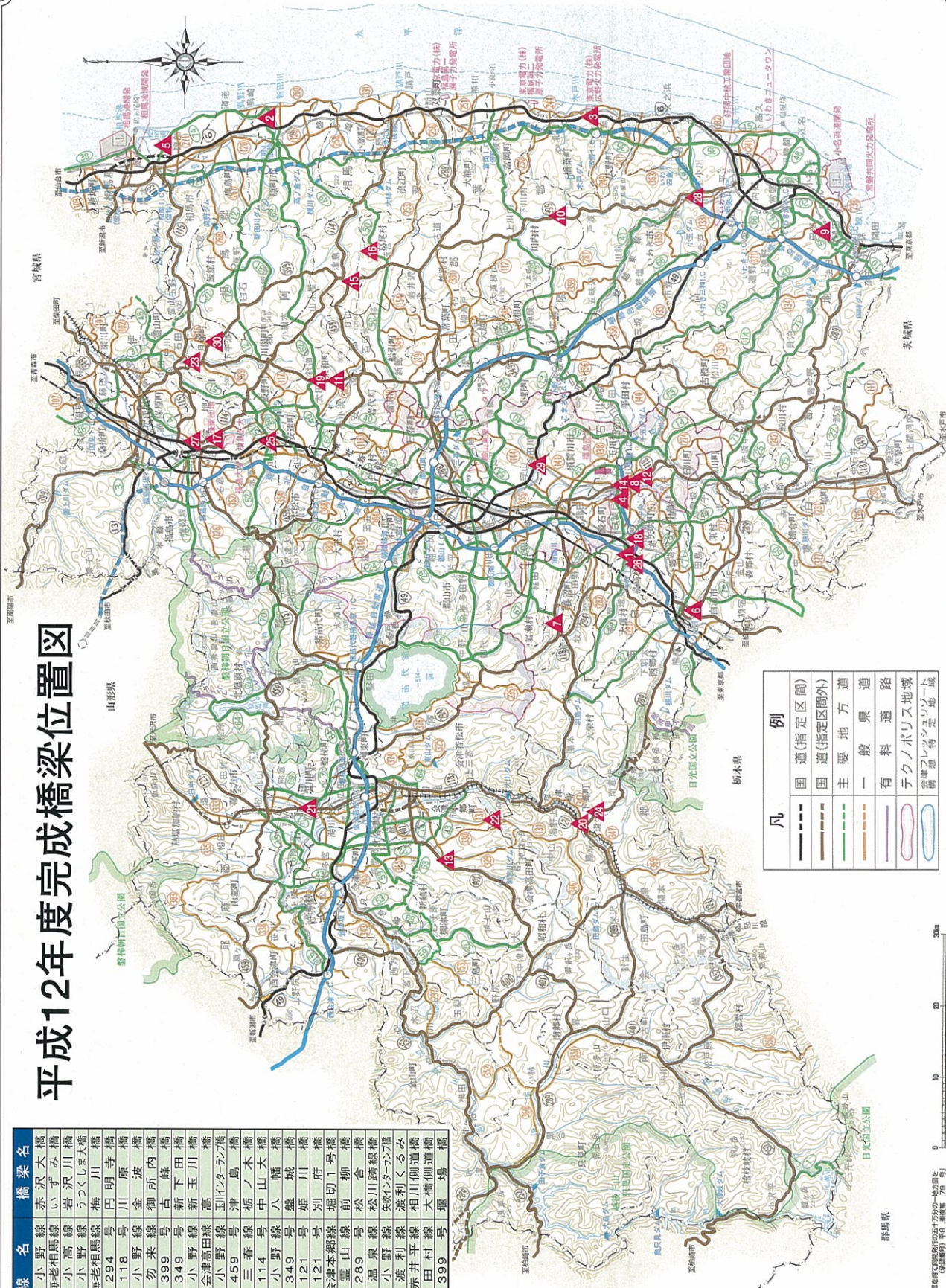
完成橋梁

位置図

平成12年度完成橋梁位置図

番号	路	線	名	橋	梁	名
1	主	矢	吹	小	野	線
2	主	矢	吹	小	野	線
3	主	矢	吹	小	野	線
4	主	矢	吹	小	野	線
5	主	矢	吹	小	野	線
6	主	矢	吹	小	野	線
7	主	矢	吹	小	野	線
8	主	矢	吹	小	野	線
9	主	矢	吹	小	野	線
10	主	矢	吹	小	野	線
11	主	矢	吹	小	野	線
12	主	矢	吹	小	野	線
13	主	矢	吹	小	野	線
14	主	矢	吹	小	野	線
15	主	矢	吹	小	野	線
16	主	矢	吹	小	野	線
17	主	矢	吹	小	野	線
18	主	矢	吹	小	野	線
19	主	矢	吹	小	野	線
20	主	矢	吹	小	野	線
21	主	矢	吹	小	野	線
22	主	矢	吹	小	野	線
23	主	矢	吹	小	野	線
24	主	矢	吹	小	野	線
25	主	矢	吹	小	野	線
26	主	矢	吹	小	野	線
27	主	矢	吹	小	野	線
28	主	矢	吹	小	野	線
29	主	矢	吹	小	野	線
30	主	矢	吹	小	野	線

凡	例
—	国 道(指定区間)
—	国 道(指定区間外)
—	主 要 地 方 道
—	一 般 県 道
—	有 料 道 路
—	テクノポリス地域
—	橋 梁 等



【この地図は、国土院の地形図を基に作成されたもので、地形図とは異なる場合があります。】

車	主	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

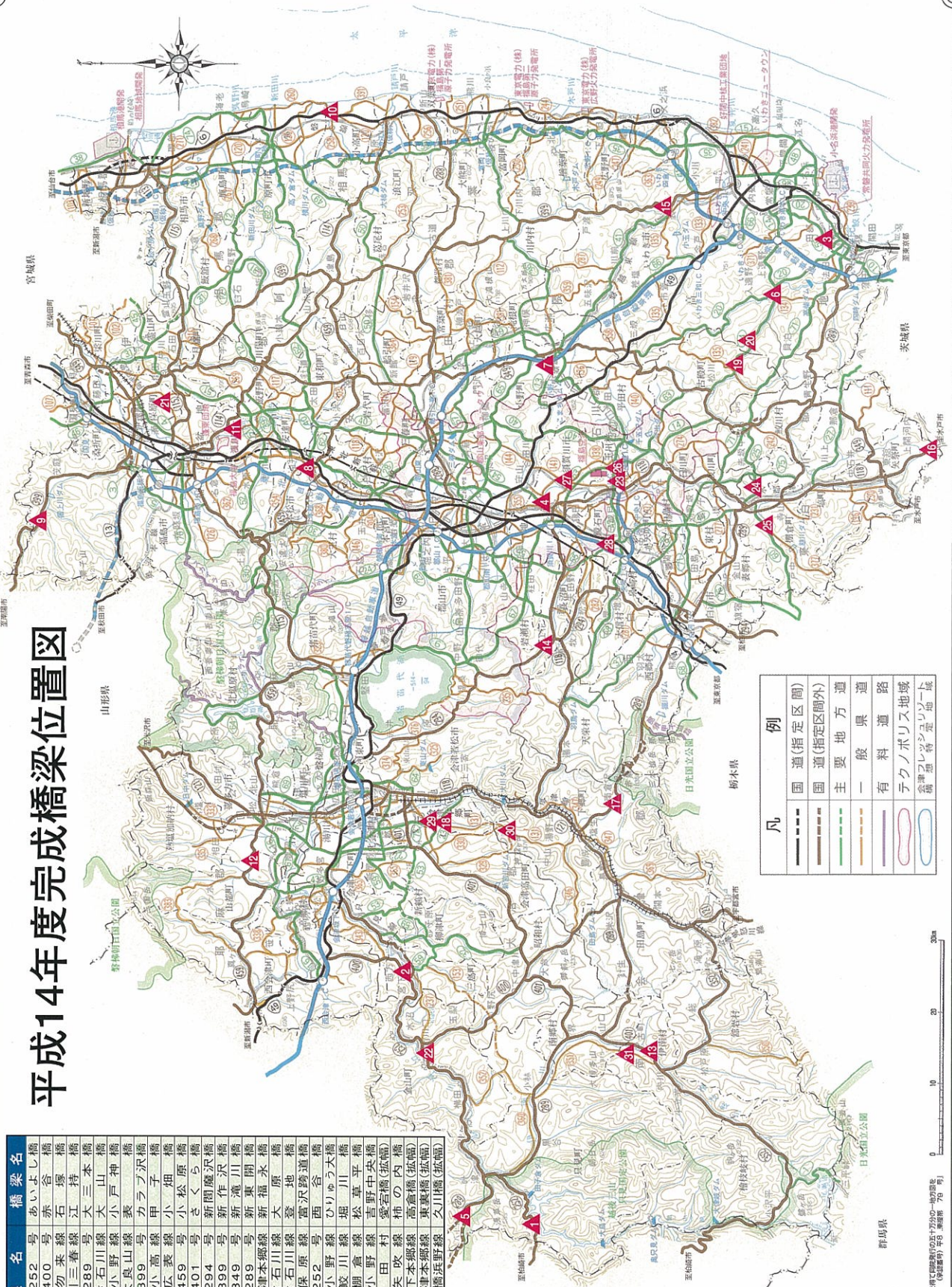
番	路	線	名	橋	梁	名
1	主	国	会津坂下	高田線	寛永	橋
2	主	国	会津道	349号	大久保	橋
3	国	道	399号	号	奥軽井沢橋	橋
4	主	国	増見小田倉線	橋	小田倉橋	橋
5	主	原町小田倉線	橋	作	橋	橋
6	主	小名浜小野線	橋	新	向	橋
7	主	道	399号	号	須賀川	橋
8	主	常盤川本松線	橋	須賀川	中	橋
9	一	下松本線	橋	機	田	橋
10	下	松本線	橋	壺	木	橋
11	下	郷会津本郷線	橋	壺	石	橋
12	国	道	399号	号	目田	橋
13	一	自	転車	道	野	橋
14	国	道	289号	号	萬歳	橋
15	一	下郷会津本郷線	橋	堀切	2号橋	橋
16	い	わ	吹小	公	吉のわく	橋
17	主	矢吹小野線	橋	荒	大	橋
18	主	矢吹天栄線	橋	荒	川	橋
19	主	矢吹天栄線	橋	荒	川	橋



平成14年度完成橋梁位置図

番号	路線	橋名	橋梁名
1	国道252号	あいまし橋	
2	国道400号	赤谷橋	
3	主常磐勿来線	石塚橋	
4	主須賀川三春線	江三橋	
5	国道289号	大三橋	
6	主いわき石川線	大山橋	
7	主矢吹小野線	小戸神橋	
8	主安達太良山線	表山橋	
9	国道399号	カラブ沢橋	
10	主北沢小高線	小松原橋	
11	主大沢広義線	小松原橋	
12	国道459号	小松原橋	
13	国道401号	新間橋	
14	国道294号	新間橋	
15	国道399号	新作沢橋	
16	国道349号	新東川橋	
17	国道289号	新東川橋	
18	主下郷会津本郷線	新福永橋	
19	主いわき石川線	登地橋	
20	主いわき石川線	高沢橋	
21	主山口保原線	西谷橋	
22	国道252号	小野橋	
23	主天吹小野線	堀川橋	
24	主黒倉川線	松草平橋	
25	主黒磯棚倉線	吉野中央橋	
26	主矢吹小野線	愛宕橋	
27	主玉川田村線	柿の内橋	
28	主下郷会津本郷線	高倉橋	
29	主下郷会津本郷線	久川橋	
30	主下郷会津本郷線	久川橋	
31	主下郷会津本郷線	久川橋	

凡	例
—	国道(指定区間)
—	国道(指定区間外)
—	主要地方道
—	一般県道
—	有料道路
—	テクノポリス地域
—	橋梁特設地



「この地図は国土院の地形図を基に作成され、国土地理院の「地形図」を参照してください。
(地形図の縮尺は、国土地理院の「地形図」を参照してください。)

平成12年度

完 成 橋 梁

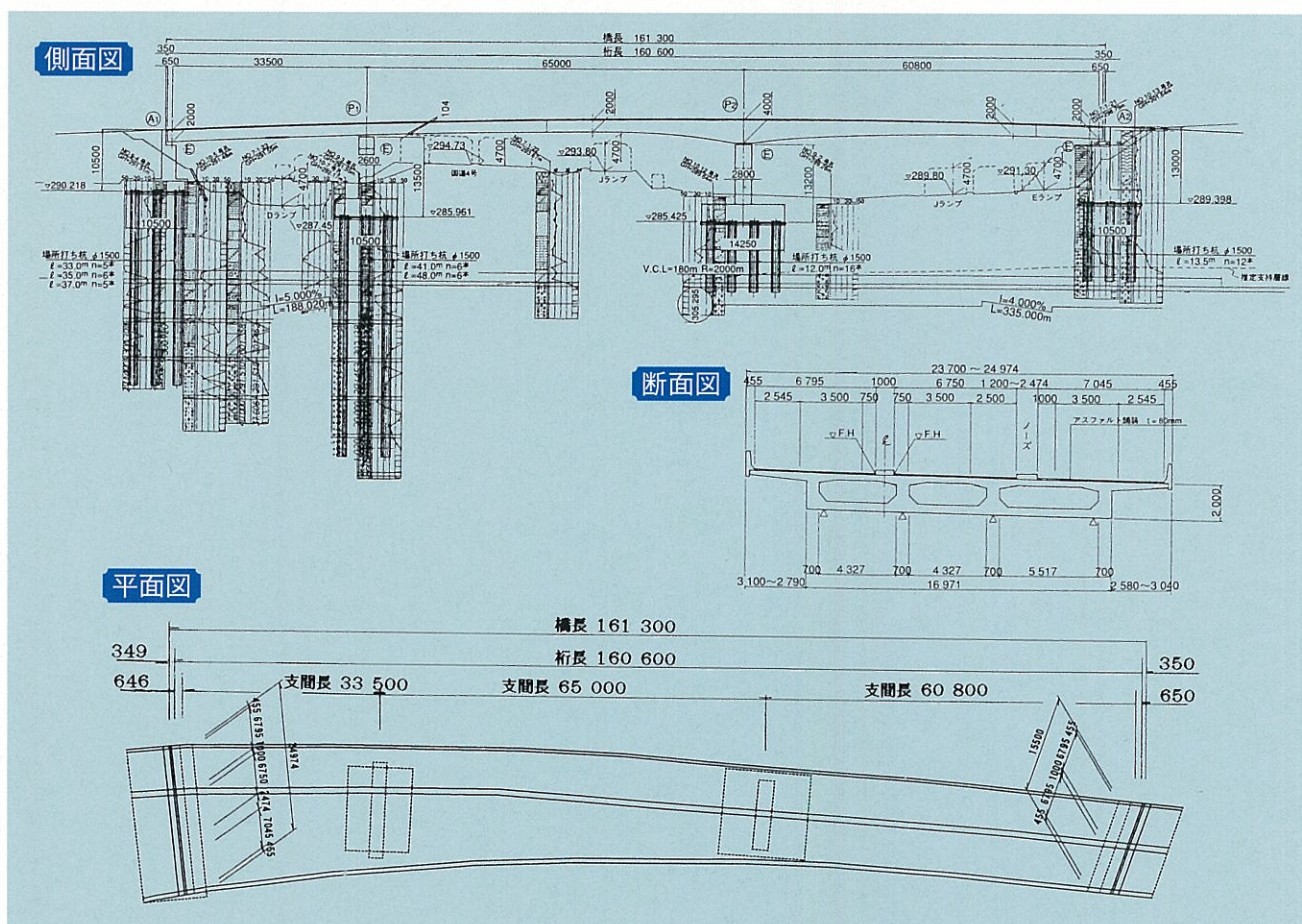
1

赤沢大橋

PC 3 径間連続ポステン箱桁



矢吹中央インターチェンジの中に位置し、国道4号と東北自動車道へのランプ上に架けられた橋梁である。架設工法は、桁下空間に余裕がないこと、また、橋梁下の国道4号などの交通に大きな影響を与えないことが採用条件となるため、押し出し工法と片持張出し工法を採用し、一部ピロン柱による斜吊り補強を併用することにした。



路線名	(主) 矢吹小野線	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BN (12S15.2)
架設場所	西白河郡矢吹町赤沢地内	鋼材(PC鋼)材量	163,340kg
河川名	—	架設工法	押し出し工法 片持張出し工法 固定式支保工
橋長	161.300m	橋台形式	逆T式
支間割	33.500+65.000+60.800m	橋脚形式	壁式
幅員構成	路肩+車道+中分+車道+中分+車道+路肩=全幅 2.545+3.5+2.5+3.5+4.7+3.5+2.545=22.79m	基礎工	場所打杭 φ1,500 L=12.0~48.0m N=56本
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
総工事費(百万円)	1,802	上部工(百万)	1,452
下部工(百万)	350		

2

いずみ橋

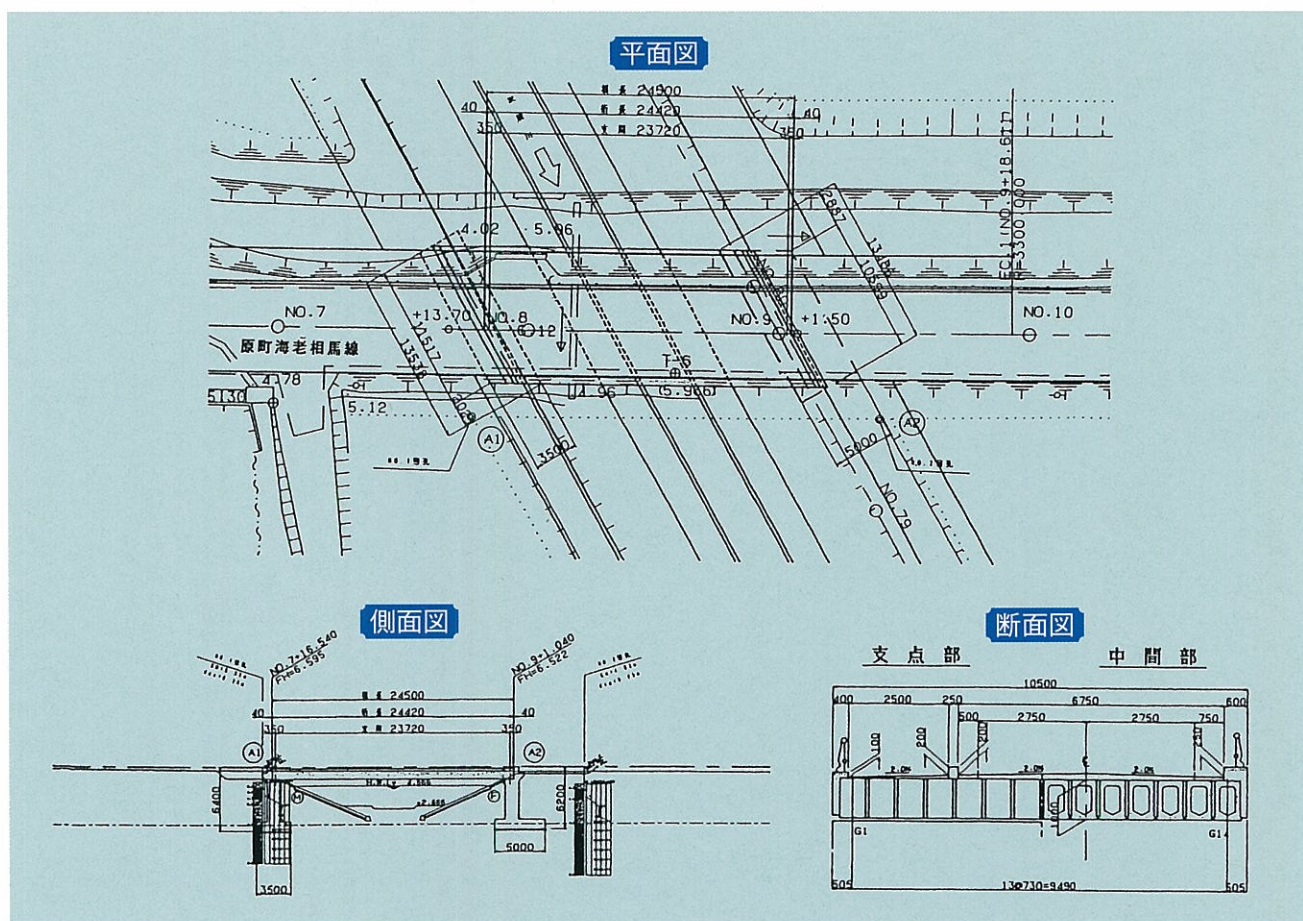
PC単純プレテン床版桁



本橋は、主要地方道原町海老相馬線、原町市泉地内の武須川に架かる橋である。

工場製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。

経済性及び施工性に優れ、安定した品質を確保できることが特徴であり数多くの実績がある。



路線名	(主) 原町海老相馬線			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BN(1S15.2) SWPR19N(1S17.8)				
架設場所	原町市泉地内			鋼材(PC鋼材)量	9,716kg				
河川名	武須川	流量	64.2m³/sec	架設工法	トラッククレーン架設				
橋長	24.500m			橋台形式	逆T式				
支間割	23.720m			橋脚形式	—				
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩 2.75+0.50+2.75+2.75+0.75=9.50m			基礎工	直接基礎				
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	55	上部工(百万)	45	下部工(百万)	10

3

岩 沢 川 橋

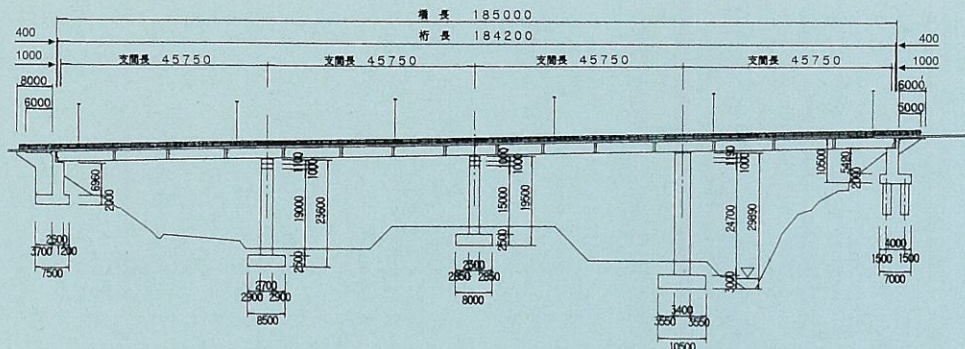
鋼 4 径間連続箱桁



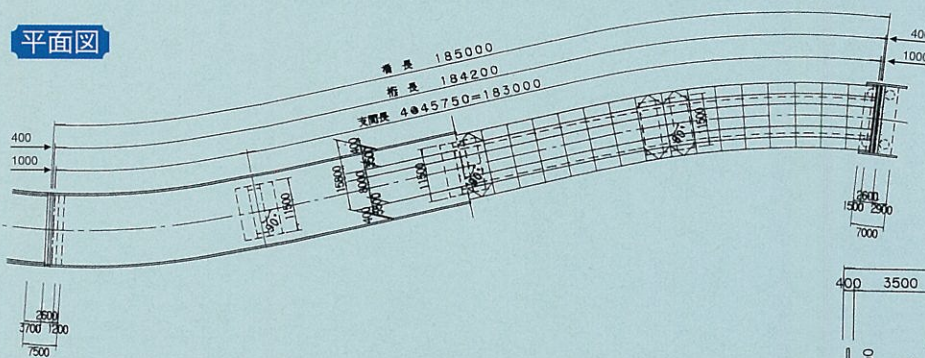
本橋は、一般県道広野小高線の広野町と楢葉町の町境に新設された橋である。

線形がS字曲線をしているので、桁の安定を保つため全部材をベントで支持し、トラッククレーン及びクローラクレーンを用いたベント工法により施工した。

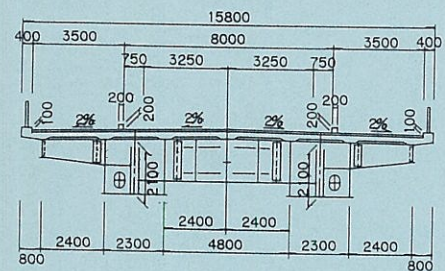
側面図



平面図



断面図



路線名	(一) 広野小高線	使用鋼(PC鋼)材	SMA400A、SMA490W
架設場所	双葉郡広野町北迫地内	鋼材(PC鋼材)量	599 t
河川名	岩沢川	流量	37m³/sec
橋長	185.000m	架設工法	トラッククレーン・ベント架設
支間割	45.750+45.750+45.750+45.750m	橋台形式	逆T式
		橋脚形式	壁式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.75+3.25+3.25+0.75+3.5=15.0m	基礎工	A1~P3 直接基礎 A2 杭基礎(深礎杭)
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	1,020
		上部工(百万円)	765
		下部工(百万円)	255

4

うつくしま大橋

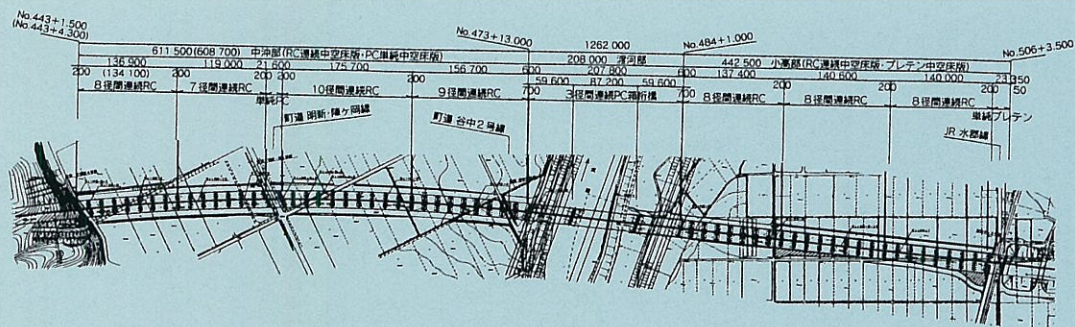
RC連続中空床版橋、PC単純中空床版橋、PC連続箱桁



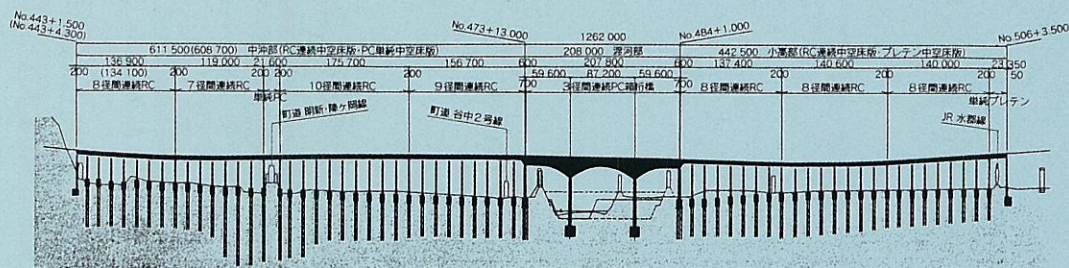
一級河川阿武隈川にかかる県内で最長の道路橋であり、地元の小中学生を対象に橋名を募集し、愛称選定委員会の審査を経て橋名が決定した。

RC連続中空床版橋、PC単純中空床版橋、PC連続箱桁橋で構成され、その径間数は63径間となる。

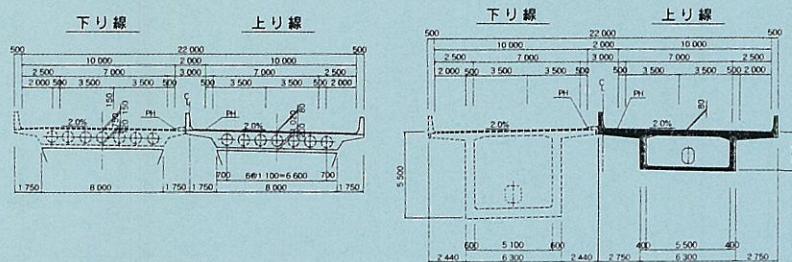
平面図



側面図



断面図



路 線 名	(主) 矢吹小野線			使用鋼(PC鋼)材	SWPR7B(12S12.7)、SWPR19(1S19.3)、SBPR930/1180					
架 設 場 所	西白河郡矢吹町奉行塚から石川郡玉川村小高地内				鋼材(PC鋼材)量	219,228kg				
河 川 名	阿武隈川	流 量	2,700m³/sec		架 設 工 法	張り出し架設				
橋 長	1,262.000m				橋 台 形 式	逆T式				
支 間 割	17.6+16.2+5@17.2+16.1+16.6+5@17.2+15.5+20.8+14.2+8@17.9+17.3+17.1+7@17.7+14.7+59.7+87.2+59.7+13.8+6@17.6+17+17+6@17.6+16.4+22.7 m				橋 脚 形 式	壁脚				
幅 員 構 成	路肩+車道+車道+路肩＝全幅（暫定形） 1.9+3.5+3.5+1.9＝10.8m				基 礎 工	P36、P37は直接基礎 それ以外は場所打杭 φ 1200				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B活荷重		総工事費(百万円)	3,766	上部工(百万)	2,770	下部工(百万)	996

5

梅 川 橋

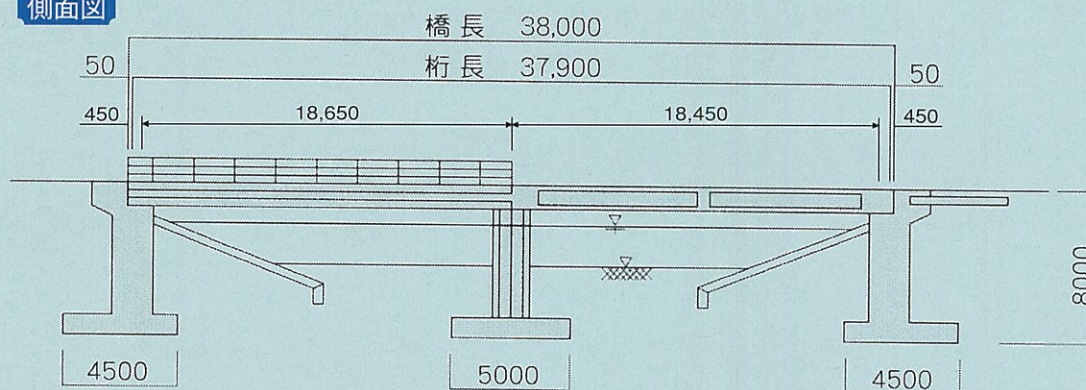
PC 2 径間連続ポステン中空床板桁



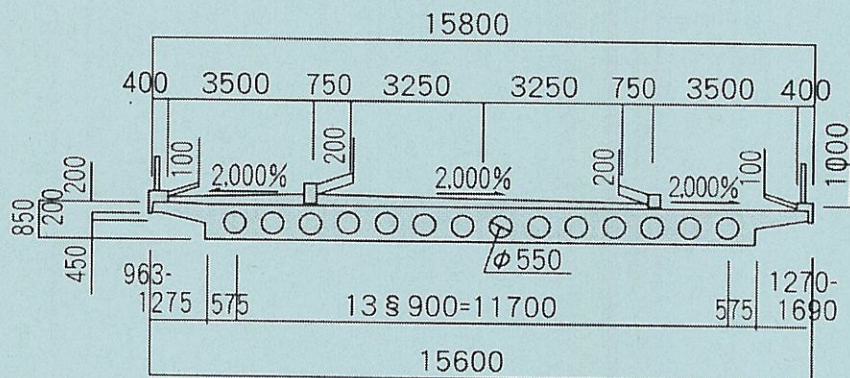
本橋は、主要地方道原町海老相馬線、相馬市柏崎地内の一級河川梅川に架かる橋梁である。

バイパス河川の供用前に、オールステージング工法により現場打ち施工を実施した。

側面図



断面図

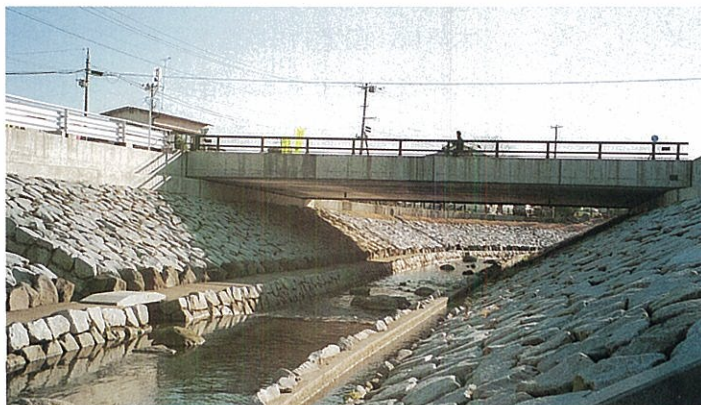


路線名	(主) 原町海老相馬線			使用鋼(PC鋼)材	SWPR78				
架設場所	相馬市柏崎地内			鋼材(PC鋼材)量	1,083kg				
河川名	梅川	流量	0.027m³/sec	架設工法	トラッククレーン仮設				
橋長	38.000m			橋台形式	逆T式				
支間割	18.650+18.450m			橋脚形式	小判形壁式				
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.75+3.25+3.25+0.75+3.5=15.0m			基礎工	直接基礎				
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	138	上部工(百万)	83	下部工(百万)	55

6

円明寺橋

PC単純プレテン床版桁

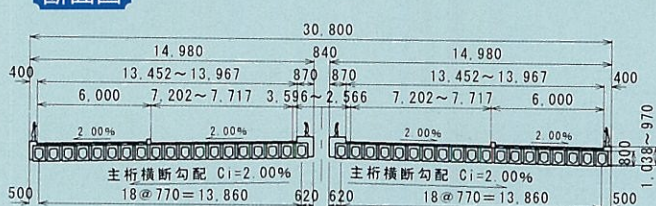


国道294号白河バイパスの本線橋であり、一級河川谷津田川を横断する橋梁である。

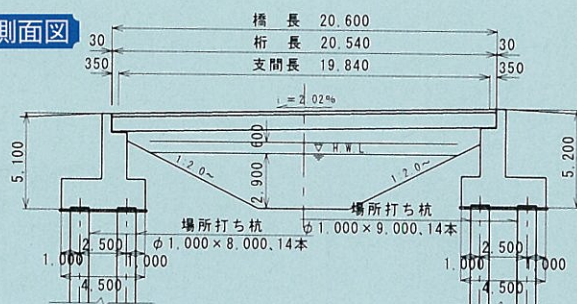
工場製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。

経済性及び施工性に優れ、安定した品質を確保できることが特徴である。

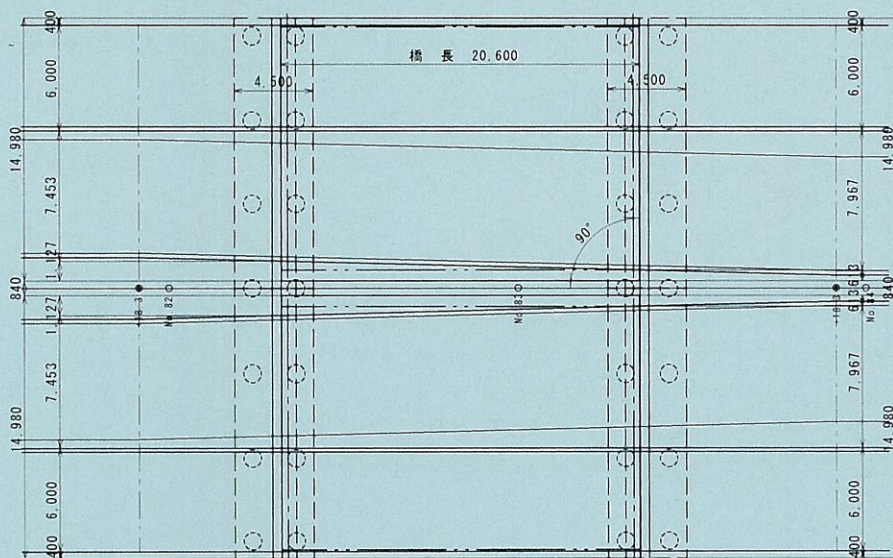
断面図



側面図



平面図



路線名	国道294号	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BN 1S15.2
架設場所	白河市字円明寺地内	鋼材(PC鋼材)量	717kg
河川名	谷津田川	流量	100m³/sec
橋長	20.600m	架設工法	トラッククレーン架設工法
支間割	19.840m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+分離帯+車道+路肩+歩道=全幅 6.0+1.5+6.5+2.0+6.5+1.5+6.0=30.0m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	116
		上部工(百万)	61
		下部工(百万)	55

7

川原橋

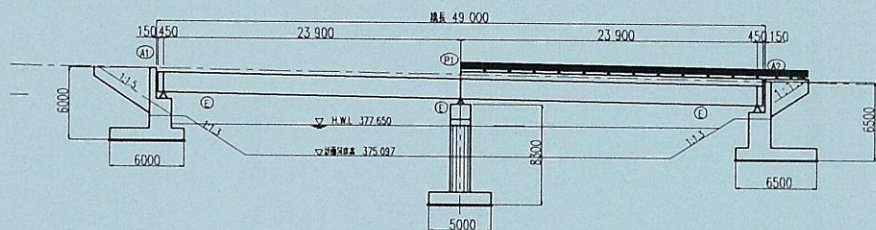
鋼2径間連続鈑桁



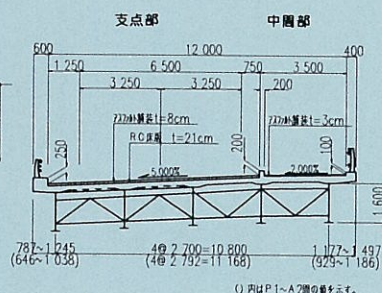
本橋は、国道118号岩瀬郡長沼町江花地内に架かる橋である。旧橋は昭和11年に架設された橋であり、道路改良計画に伴い、平成12年度に架け替えた。

鋼材に耐候性鋼材を使用し、コスト縮減を図った。

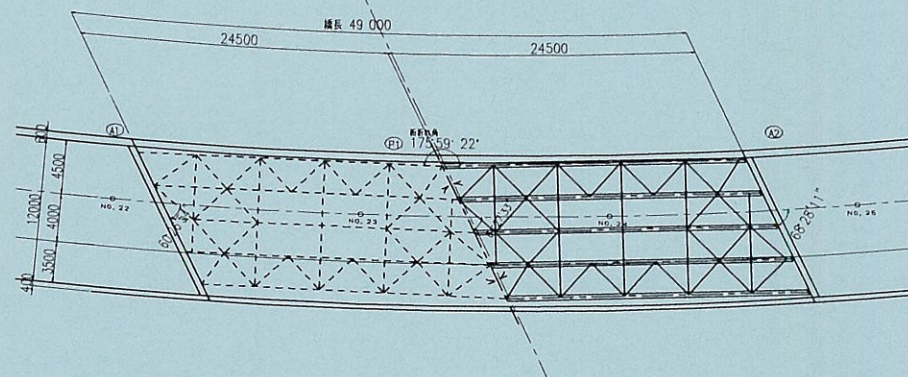
側面図



断面図



平面図



路線名	国道118号	使用鋼(PC鋼)材	SMA400W
架設場所	岩瀬郡長沼町江花地内	鋼材(PC鋼材)量	101 t
河川名	江花川	流量	230m³/sec
橋長	49.000m	架設工法	トラッククレーン架設
支間割	2@ 24.500m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.25+3.25+3.25+0.75+3.50=12.00m	橋脚形式	小判型壁式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	175
		上部工(百万)	112
		下部工(百万)	63

8

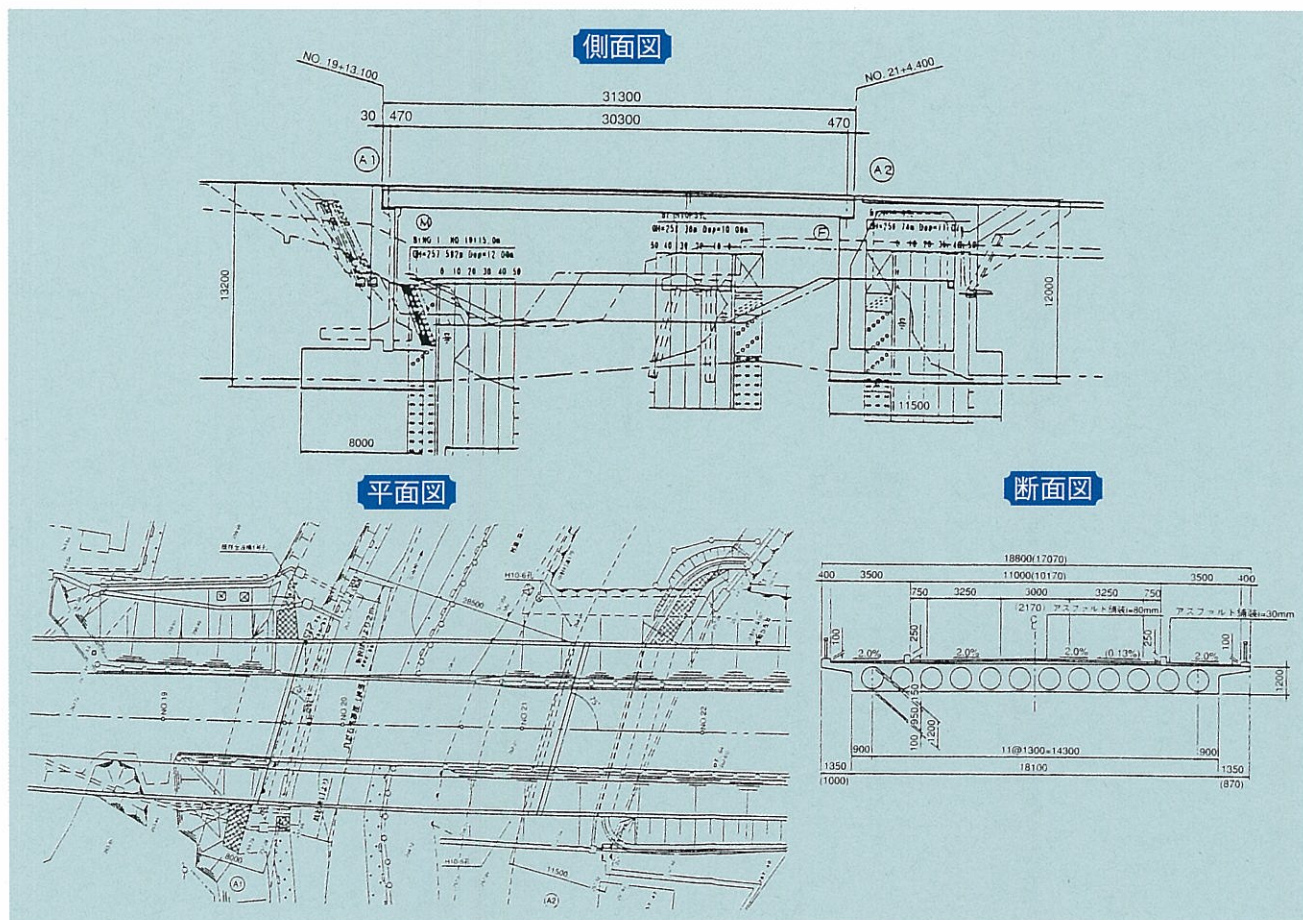
金波橋

PC単純ポステン中空床版桁



本橋は、あぶくま高原道路の玉川インターチェンジが国道118号に取り付けられ、付近の交差点も含めた改良区間であることから架け替えられた橋長 $L=31.3\text{m}$ のプレストレスコンクリート橋である。

架設工法は、橋梁下に河川と村道が横断していることから支柱式支保工と枠組支保工の併用により施工した。



路線名	国道118号			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線SWPR7BN (12S15.2)			
架設場所	石川郡玉川村大字小高地内			鋼材(PC鋼材)量	18,141kg			
河川名	金波川	流量	120m ³ /sec	架設工法	支柱式支保工+枠組支保工			
橋長	31.300m			橋台形式	A1 逆T式 A2 ラーメン式			
支間割	30.300m			橋脚形式	—			
幅員構成	歩道+路肩+車道+中央帯+車道+路肩+歩道=全幅 3.50+0.75+3.25+3.00+3.25+0.75+3.50=18.00m			基礎工	直接基礎			
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	385	上部工(百万円)	121	下部工(百万円) 161

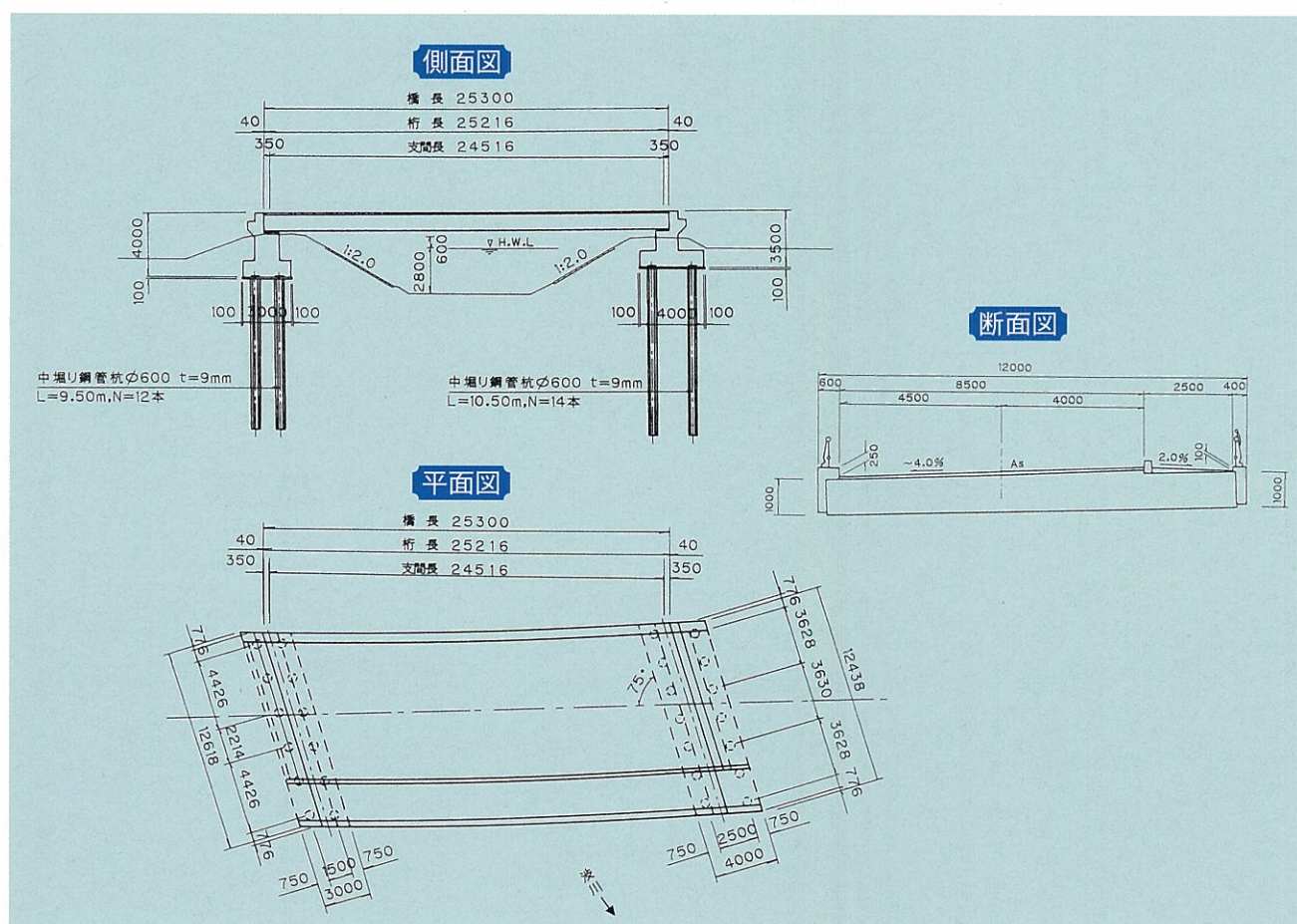
御所内橋

PC単純プレテン床版桁



御所内橋は、昭和４年に築造された老朽橋であるため、前後の線形改良及び道路拡幅と合わせて架け替えを行った。

比較的交通量の多い路線であることから、同一年度で上下部工を施工し、平成12年度に完成した。



路 線 名	(主) 常磐勿来線			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 主桁SWPR7BN (1S15.2)、横桁SWPR19N (1S19.3)				
架 設 場 所	いわき市添野町桑木町地内			鋼材(PC鋼材)量	409kg				
河 川 名	二級河川 渋川	流 量	80m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	25.300m			橋 台 形 式	逆T式				
支 間 割	24.516m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.25+3.25+3.25+0.75+2.5=11.0m			基 礎 工	A1 鋼管杭 φ600 L=9.5m N=12本 A2 鋼管杭 φ600 L=10.5m N=14本				
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	92	上部工(百万)	56	下部工(百万)	36

10

古 峰 橋

PC単純プレテン床版桁

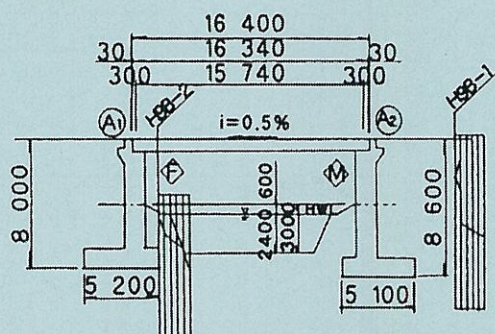


本橋は、国道399号川内村下川内地内の手古岡バイパスに架かる橋である。

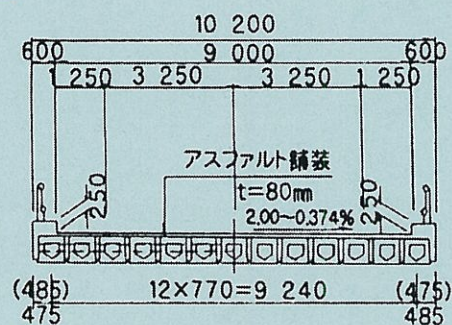
工場製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。

経済性及び施工性に優れ、安定した品質を確保できることが特徴であり数多くの実績がある。

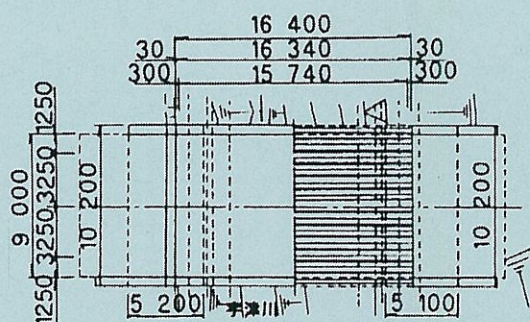
側面図



断面図



平面図



路 線 名	国道399号			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BN (1S15.2)、SWPR19N (1S17.8)				
架 設 場 所	双葉郡川内村大字下川内地内			鋼材(PC鋼材)量	389kg				
河 川 名	宇津川	流 量	92.5m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	16.400m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	15.740m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	路肩+車道+車道+路肩 1.25+3.25+3.25+1.25=9.00m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	78	上部工(百万円)	28	下部工(百万円)	50

11

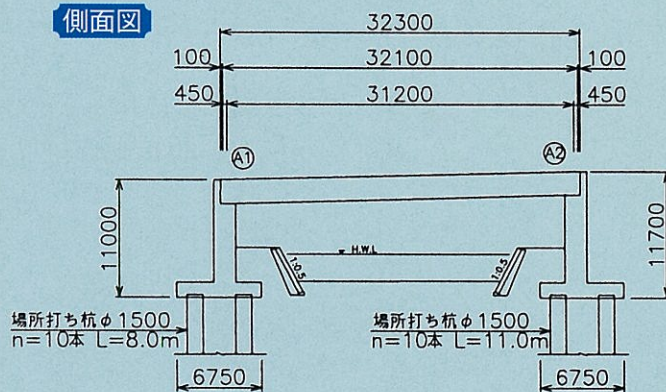
新下田橋

鋼単純鈑桁橋

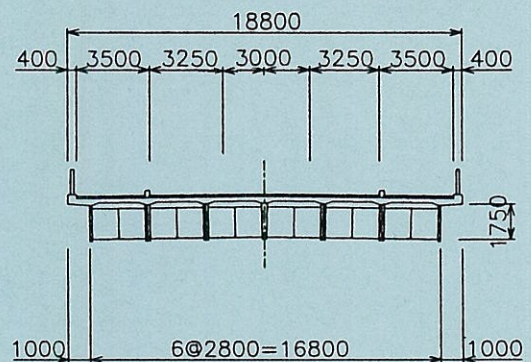


本橋は国道349号の現道拡幅事業に伴い架設した橋梁である。

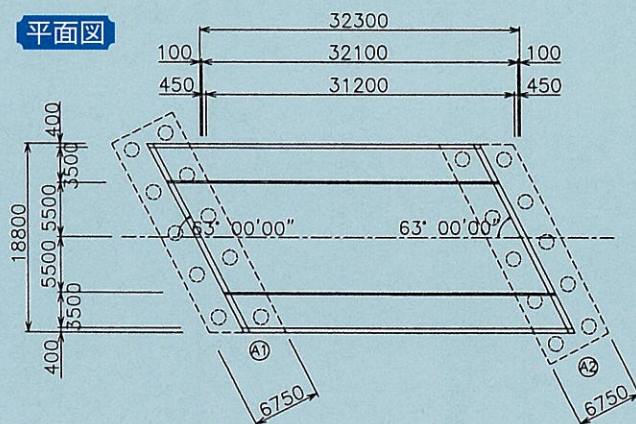
側面図



断面図



平面図

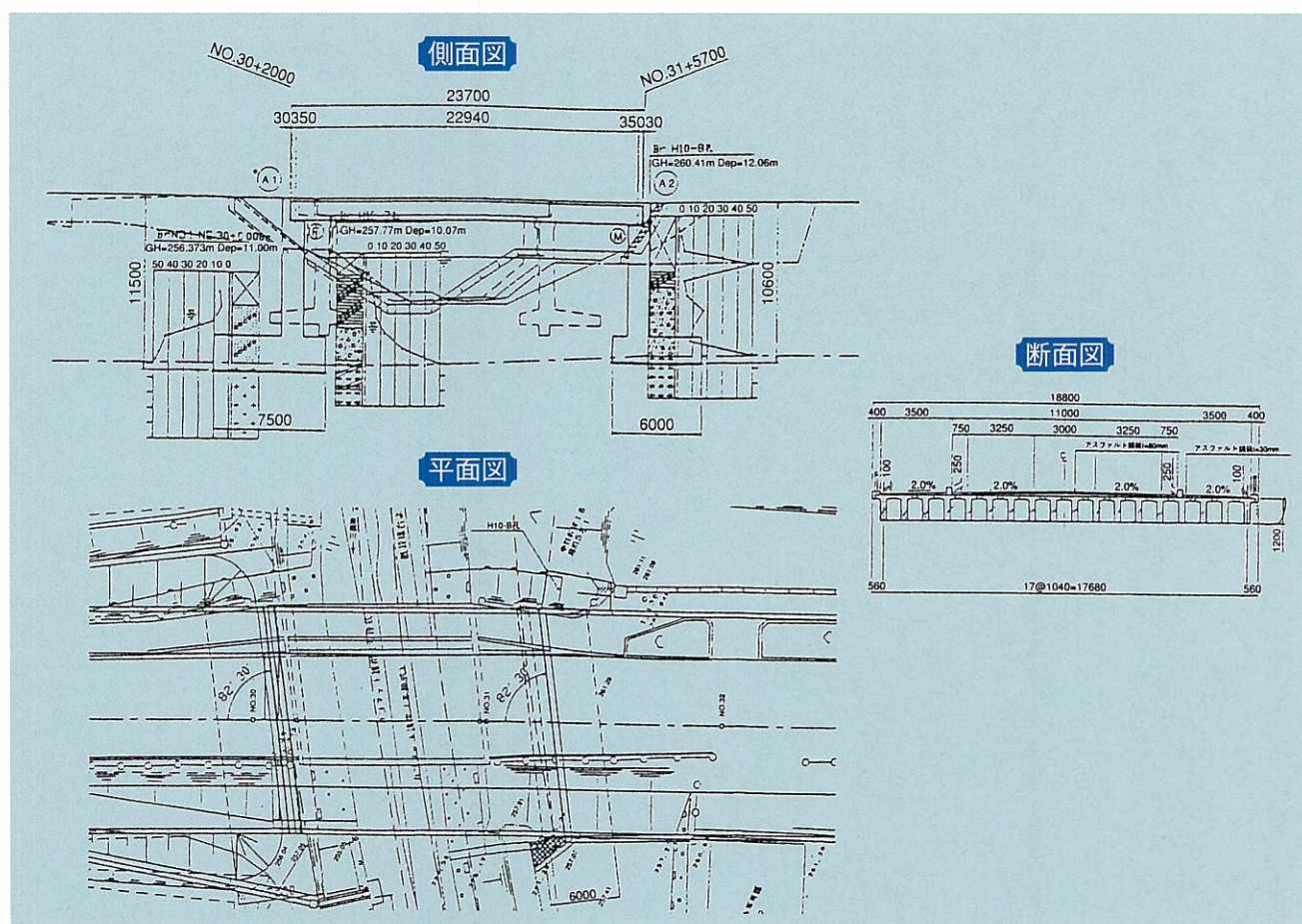


路線名	国道349号	使用鋼(PC鋼)材	SM490Y、SM400A
架設場所	安達郡東和町太田地内	鋼材(PC鋼材)量	116 t
河川名	安達太田川	流量	115m³/sec
橋長	32.300m	架設工法	トラッククレーン架設工法
支間割	31.200m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.75+3.25+3.00+3.25+0.75+3.5=18.00m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年度12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	220
		上部工(百万)	147
		下部工(百万)	73



本橋は、あぶくま高原道路の玉川ICのランプが国道118号に取り付けられ、付近の交差点も含めた改良区間であることから架け替えられた橋梁である。

交通規制による施工が困難なことから迂回路を供用し施工した。架設工法は一般的なトラッククレーンにて架設した。



路 線 名	国道118号			使用鋼(PC 鋼)材	PC鋼より線 SWPR7B (1S15.2B)				
架 設 場 所	石川郡玉川村大字小高地内			鋼材(PC 鋼材)量	23,316kg				
河 川 名	泉郷川	流 量	110m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	23.700m			橋 台 形 式	A1、A2 逆T式				
支 間 割	22.940m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	歩道+路肩+車道+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.75+3.25+3.0+3.25+0.75+3.5=18.0m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	172	上部工(百万)	69	下部工(百万)	103

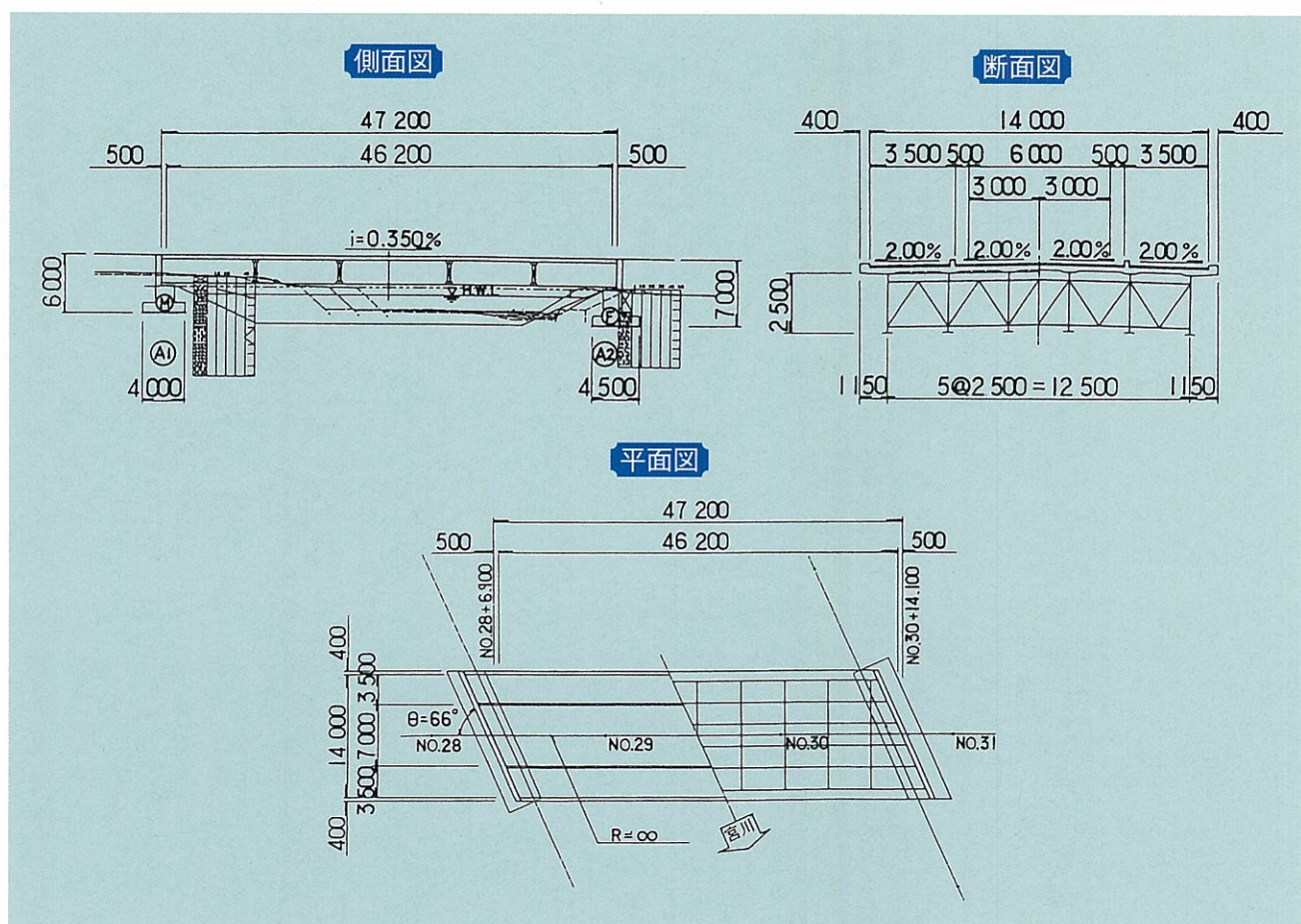
13

高 橋

鋼単純鈑桁



本橋は、一般県道湯ノ上・会津高田線大沼郡会津高田町大字尾岐窪地内の一級河川宮川に架かる橋である。旧橋は、幅員が狭小であり、道路改良計画区内の橋梁の架設位置で、河川改修事業があるため、道路管理者と河川管理者との事業費分担率の協定を締結して、平成12年度に架け替えた。鋼材は、維持管理を考慮して、耐候性鋼材を使用した。



路線名	(一) 湯ノ上・会津高田線	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW
架設場所	大沼郡会津高田町大字尾岐窪地内	鋼材(PC鋼材)量	190 t
河川名	宮川	流量	451m³/sec
橋長	47.200m	架設工法	クレーン架設
支間割	46.200m	橋台形式	逆T式
		橋脚形式	—
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.5+3.0+3.0+0.5+3.5=14.0m	基礎工	直接基礎
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	222
		上部工(百万円)	183
		下部工(百万円)	39

14

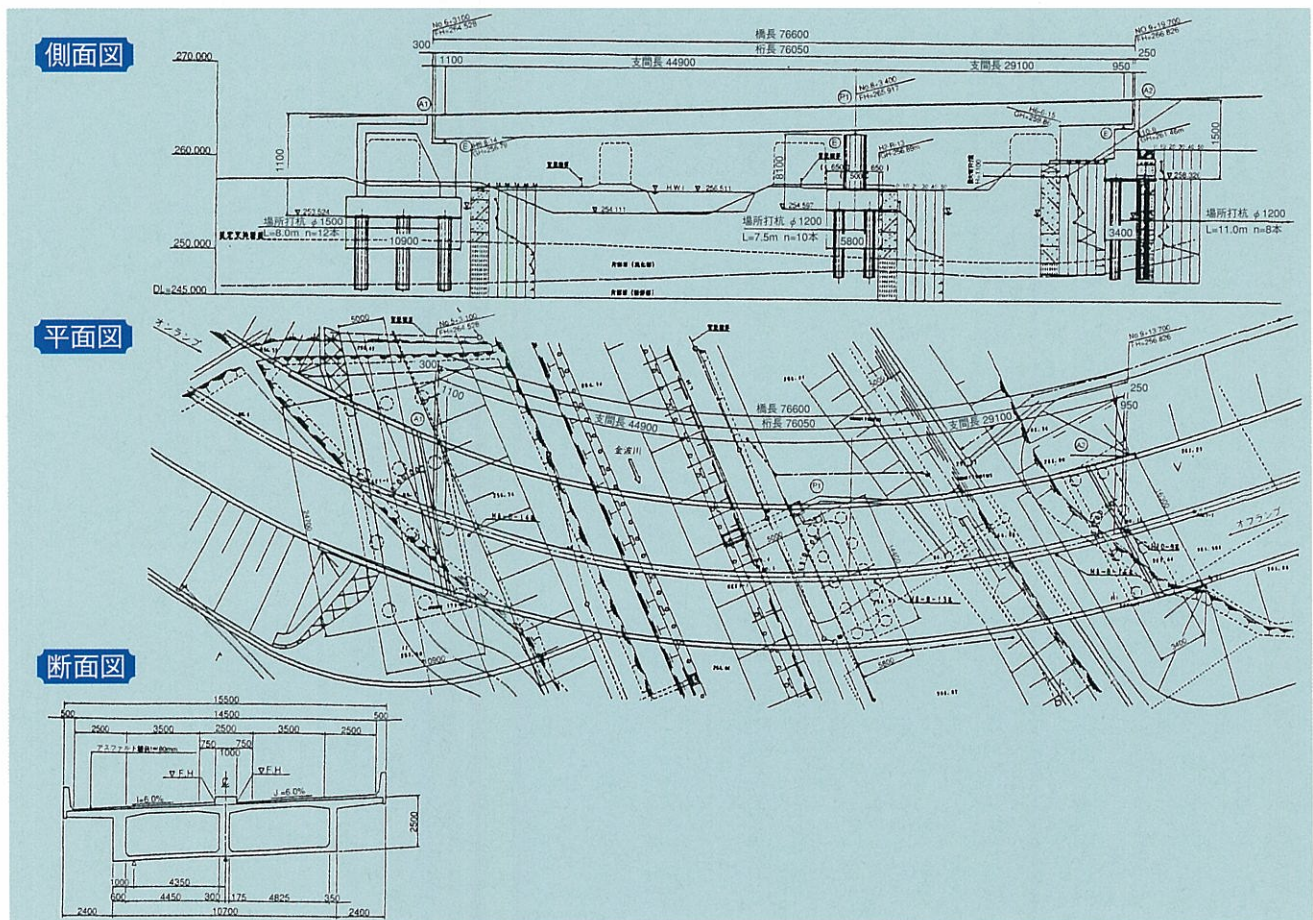
玉川インターランプ橋

PC 2 径間連続ポステン箱桁



本橋は、あぶくま高原道路が国道118号にアクセスする玉川インターチェンジ内におけるランプ橋であり、一級河川金波川と村道を横過する橋長 $L=76.6\text{m}$ のプレストレスコンクリート橋である。

架設工法は、橋梁下の河川及び村道部はH鋼桁による特殊支保工とし、一般部は枠組支保工による架設を基本とした。



路線名	(主) 矢吹小野線			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線SWPR7BN (12S15.2)			
架設場所	石川郡玉川村大字小高地内			鋼材(PC鋼材)量	25,657kg			
河川名	金波川	流量	120m³/sec	架設工法	枠組支保工+ベコガーター+H鋼桁による特殊支保工			
橋長	76.600m			橋台形式	A1 ラーメン式 A2 逆T式			
支間割	44.900+29.100m			橋脚形式	P1 壁式			
幅員構成	路肩+車道+中央帯+車道+路肩=全幅 2.50+3.50+2.50+3.50+2.50=14.50m			基礎工	A1 場所打杭φ1500 P1 場所打杭φ1200 A2 場所打杭φ1200			
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	510	上部工(百万)	325	下部工(百万) 185

15

津 島 橋

PC単純プレテン床版桁

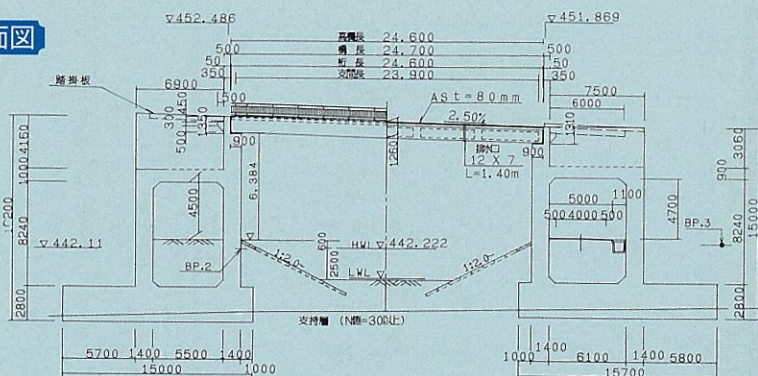


国道399号及び国道459号の津島BPに架かる橋梁として計画された。

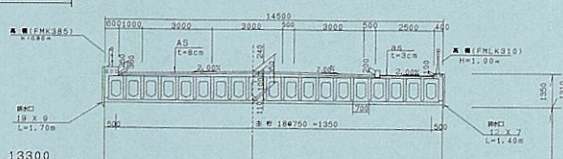
河川と平行して走る旧道を残すために、下部工にラーメン式橋台を採用して機能確保を図った。

工場製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、Tクレーン架設により施工した。

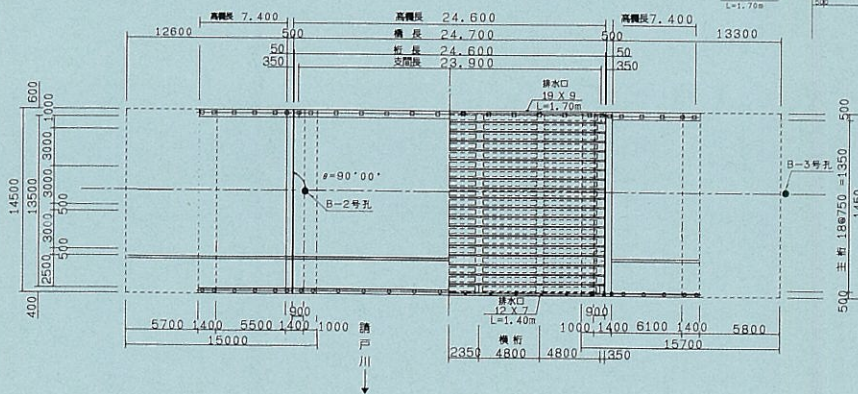
側面図



断面図



平面図



路線名	国道459号			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BL(1S15.2B) SWPR19L(1S21.8)				
架設場所	双葉郡浪江町大字南津島地内			鋼材(PC鋼材)量	13,555kg				
河川名	請戸川	流量	180m ³ /sec	架設工法	トラッククレーン架設				
橋長	24.700m			橋台形式	ラーメン式				
支間割	23.900m			橋脚形式	—				
幅員構成	路肩+車道+右折車線+路側帯+車道+路肩+歩道=全幅 1.0+3.0+3.0+0.5+3.0+0.5+2.5=13.5m			基礎工	直接基礎				
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	159	上部工(百万)	59	下部工(百万)	100

16

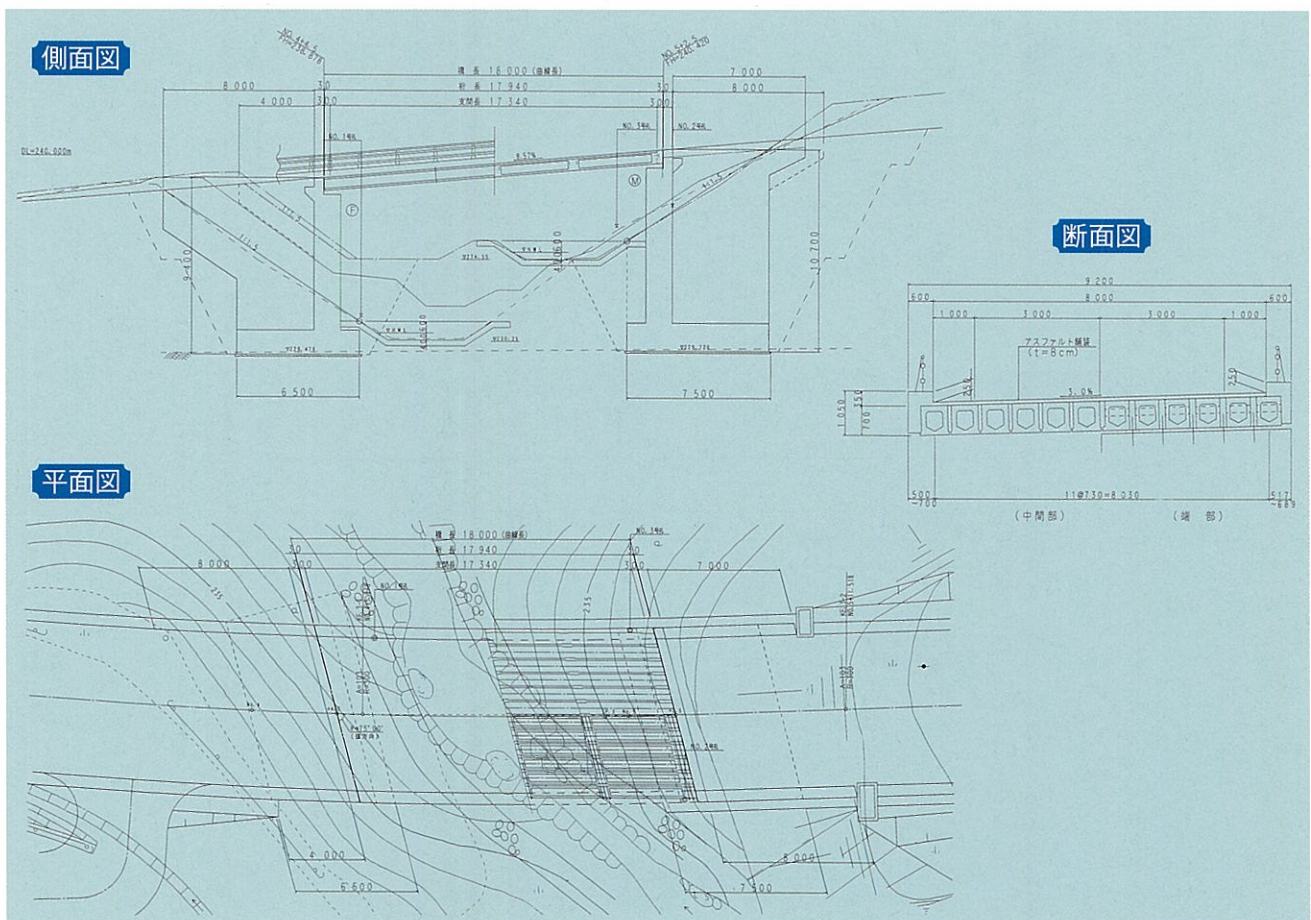
桁ノ木橋

PC単純プレテン床版桁



本橋は、橋梁前後の線形不良、幅員狭小を解消するために架け替えられた橋である。

工場製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。経済性及び施工性に優れ、安定した品質を確保できることが特徴であり数多くの実績がある。



路 線 名	(主) 浪江三春線			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BN (1S15.2) SWPR19N (1S17.8)				
架 設 場 所	双葉郡浪江町大字川房地内			鋼材(PC鋼材)量	4,349kg				
河 川 名	沢	流 量	—	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	18.000m			橋 台 形 式	逆T式				
支 間 割	17.338m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	路肩＋車道＋車道＋路肩 1.0＋3.0＋3.0＋1.0＝8.0m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	80	上部工(百万)	40	下部工(百万)	40

17

中山大橋

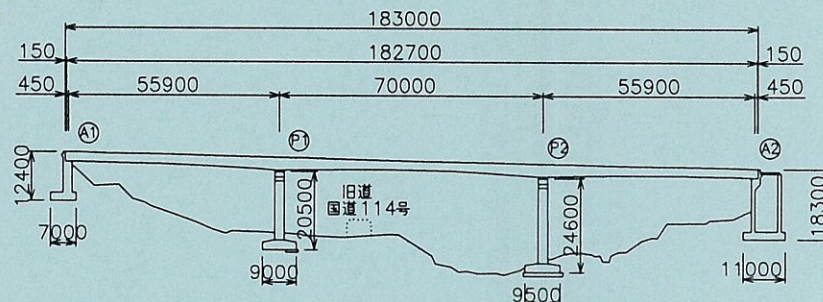
鋼3径間連続鋼箱桁(変断面)



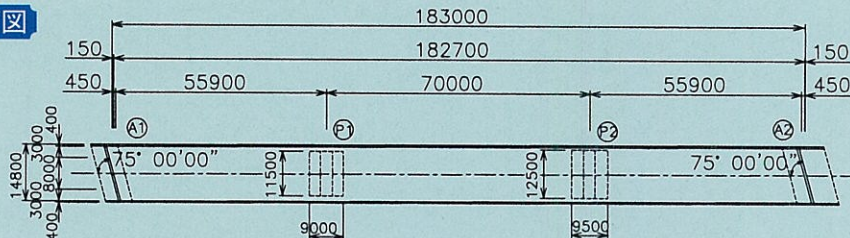
本橋梁は、一般国道114号の国道改築事業（渡利バイパス工区）整備区間の現国道114号を横架する橋梁で、ベント併用ケーブルクレーン架設工法を採用し、通行規制を最小期間として架設した。

中央径間が70mあり、連続非合成箱桁としては大きな部類に属する。また、経済性や景観を考慮し変断面を採用した。

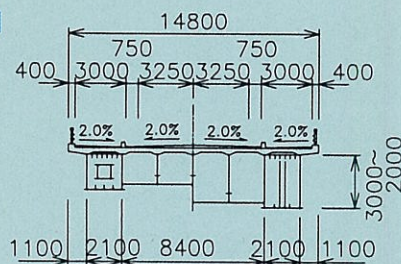
側面図



平面図



断面図



路線名	国道114号	使用鋼(PC鋼)材	SM490YB. SM490YA. SM400A. SM400B
架設場所	福島市渡利地内	鋼材(PC鋼材)量	958 t
河川名	—	架設工法	ケーブルクレーン+ベント架設工法
橋長	183.300m	橋台形式	A1橋台(逆T式)・A2橋台(箱式)
支間割	55.900+70.000+55.900m	橋脚形式	壁式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.00+0.75+3.25+3.25+0.75+3.00=14.00m	基礎工	A1、A2(直接基礎) P1、P2(置換基礎)
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	1,467
		上部工(百万)	1,128
		下部工(百万)	339

18

八 幡 橋

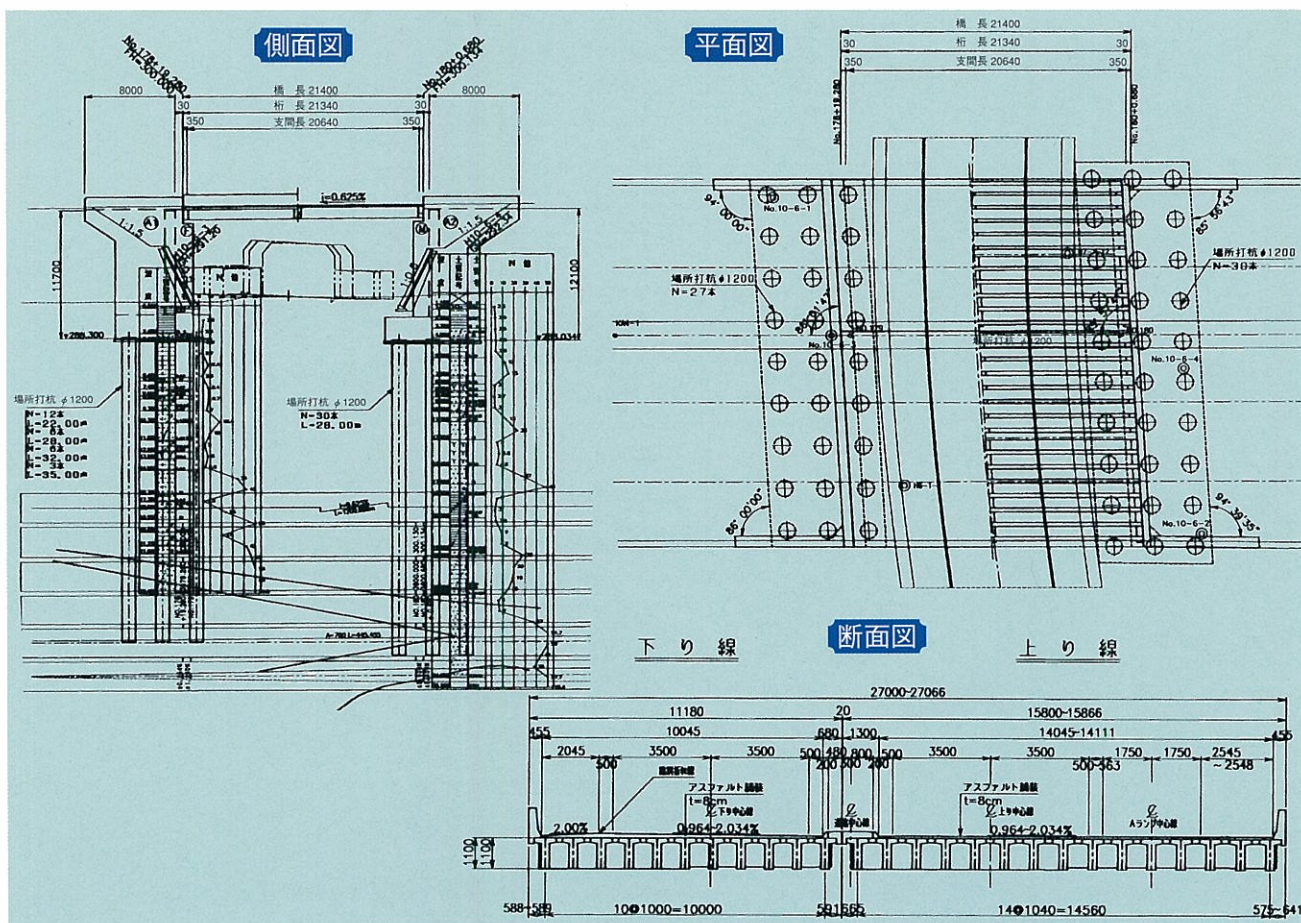
PC単純ポステンT桁



福島空港・あぶくま南道路の本線橋であり、県道棚倉矢吹線上を横断する橋梁である。

工場製作の桁を現場に搬入し、トラッククレーンにより架設した。

経済性及び施工性に優れ、安定した品質を確保できることが特徴で、数多くの実績がある。



路線名	(主) 矢吹小野線	使用鋼(PC鋼)材	1S21.8
架設場所	西白河郡矢吹町八幡地内	鋼材(PC鋼材)量	1,982kg
河川名	—	架設工法	トラッククレーン架設
橋長	21.400m	橋台形式	逆T式
支間割	20.600m	橋脚形式	—
幅員構成	路肩+車道+中央帯+車道+路肩+車道+路肩=全幅 2.545+7.0+2.98+7.0+0.5+3.5+2.545=26.07m	基礎工	A1 場所打杭 φ1200 L=22~35m N=27本 A2 場所打杭 φ1200 L=28m N=30本
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	476
		上部工(百万)	84
		下部工(百万)	392

19

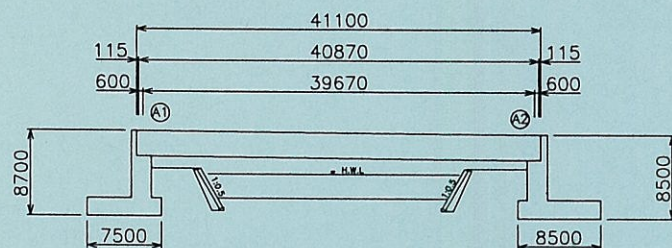
盤 城 橋

鋼単純鈑桁

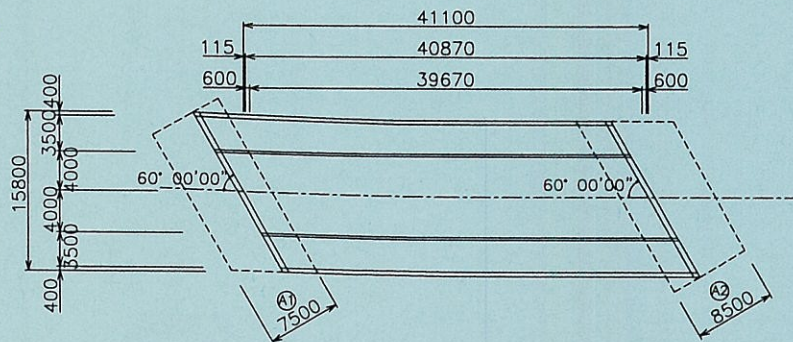


本橋は国道349号の現道拡幅事業に伴い架設した橋梁である。

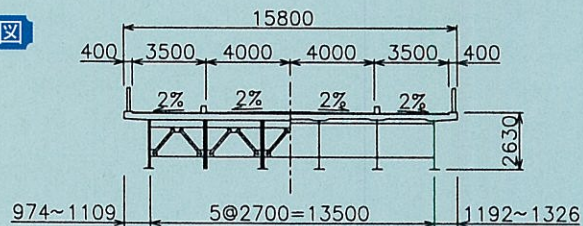
側面図



平面図



断面図

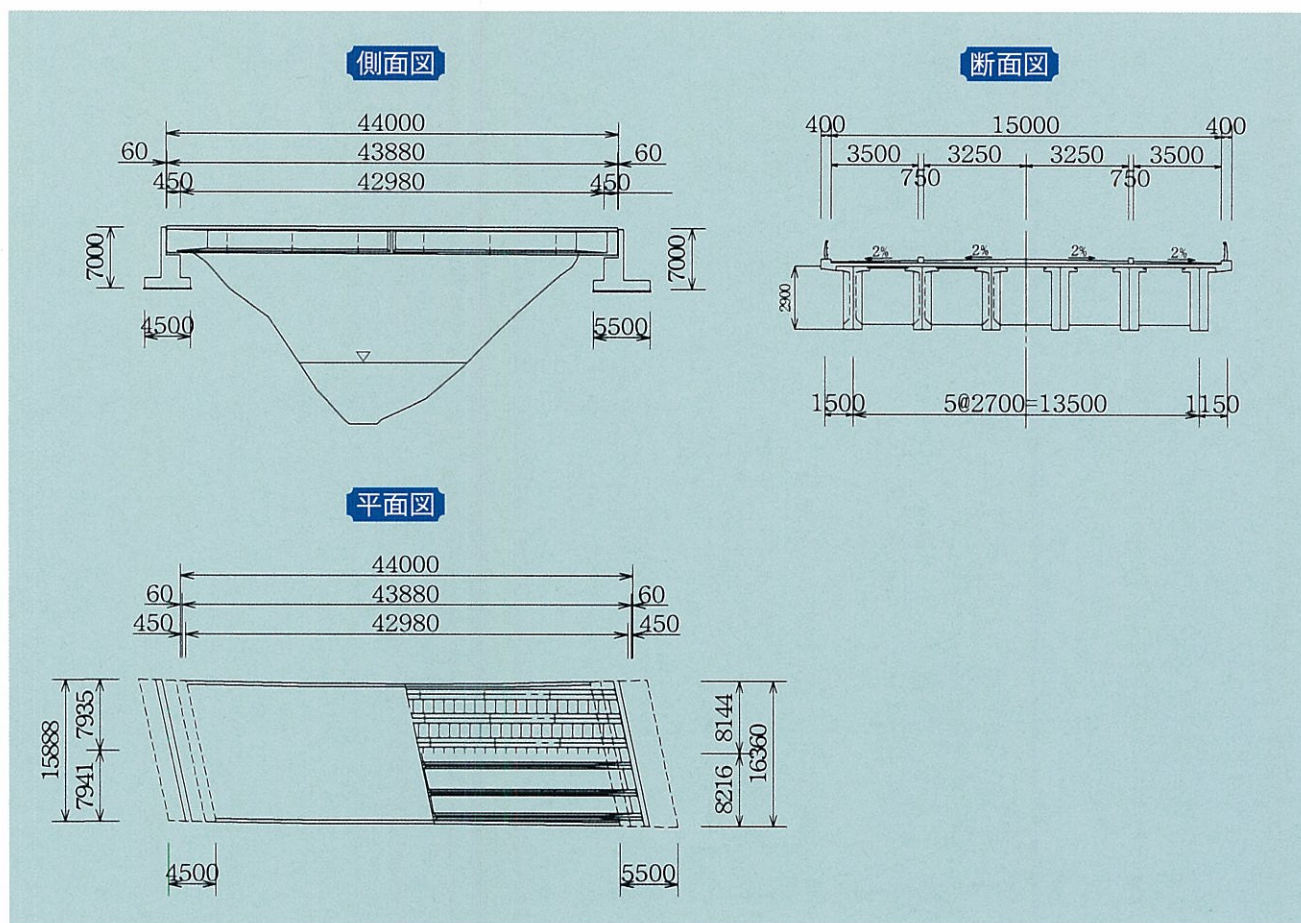


路線名	国道349号	使用鋼(PC鋼)材	SM490Y. SM400. SS400
架設場所	安達郡東和町太田地内	鋼材(PC鋼材)量	162 t
河川名	針道川	流量	85m³/sec
橋長	41.100m	架設工法	トラッククレーン+ベント工法
支間割	39.670m	橋台形式	逆T式
		橋脚形式	—
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.75+3.25+3.25+0.75+3.5=15.0m	基礎工	直接基礎
適用示方書	平成8年度12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	293
		上部工(百万)	137
		下部工(百万)	156



本橋は、国道121号南会津郡下郷町大字栄富地内戸石川に架かるポステンション方式PCコンボ橋である。

県内で初めて供用されたPCコンボ橋である。



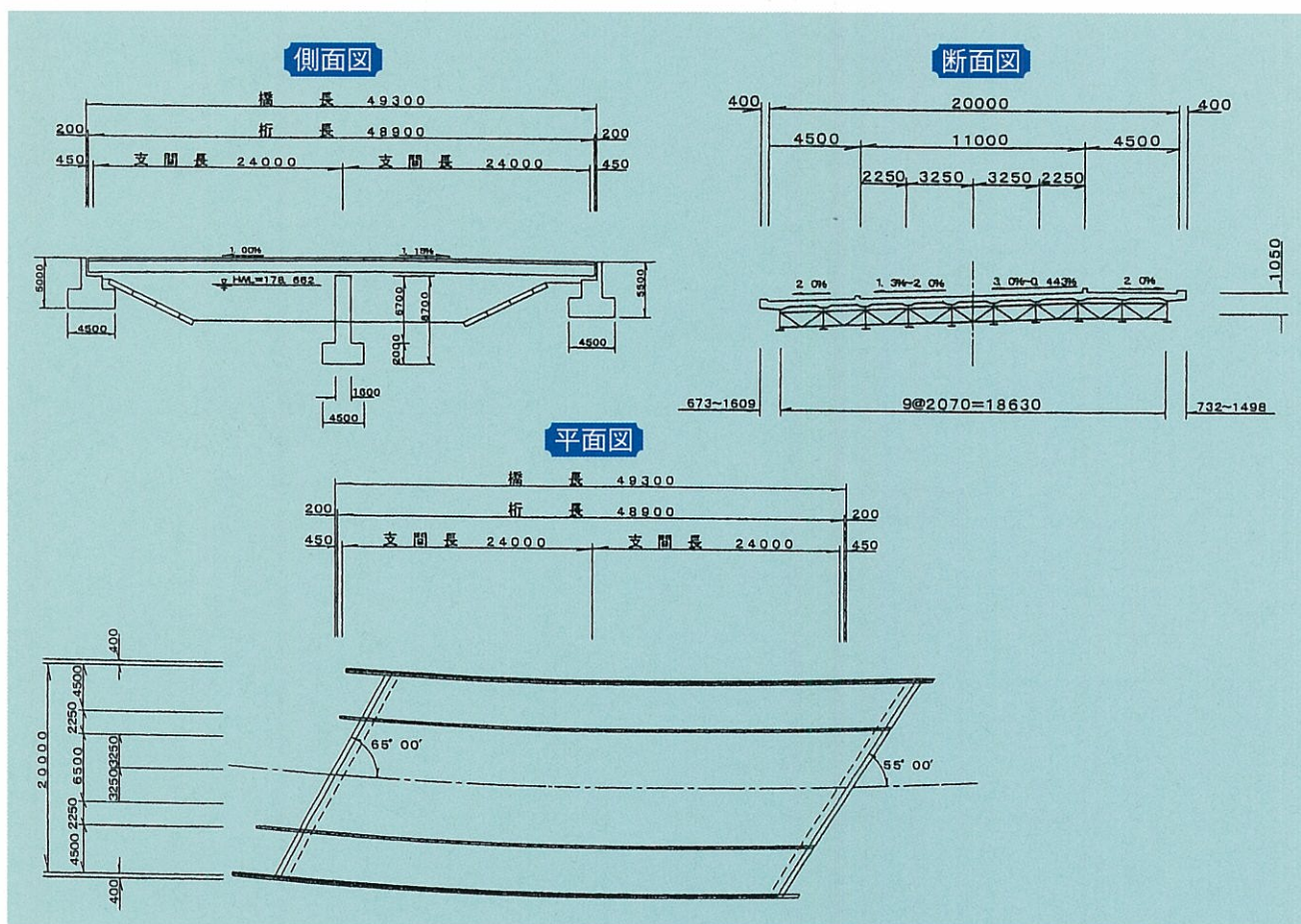
路線名	国道121号	使用鋼(PC鋼)材	SWPR7B12S15.2
架設場所	南会津郡下郷町大字栄富地内	鋼材(PC鋼材)量	8,662kg
河川名	戸石川	流量	560m³/sec
橋長	44.000m	架設工法	送り出し工法
支間割	42.980m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.75+3.25+3.25+0.75+3.50=15.00m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	343
		上部工(百万円)	263
		下部工(百万円)	80



国道121号の橋梁であり、姥堂川を横断する橋梁である。

仮橋により現道交通を確保し、施工管理、安全管理を徹底して架設した。

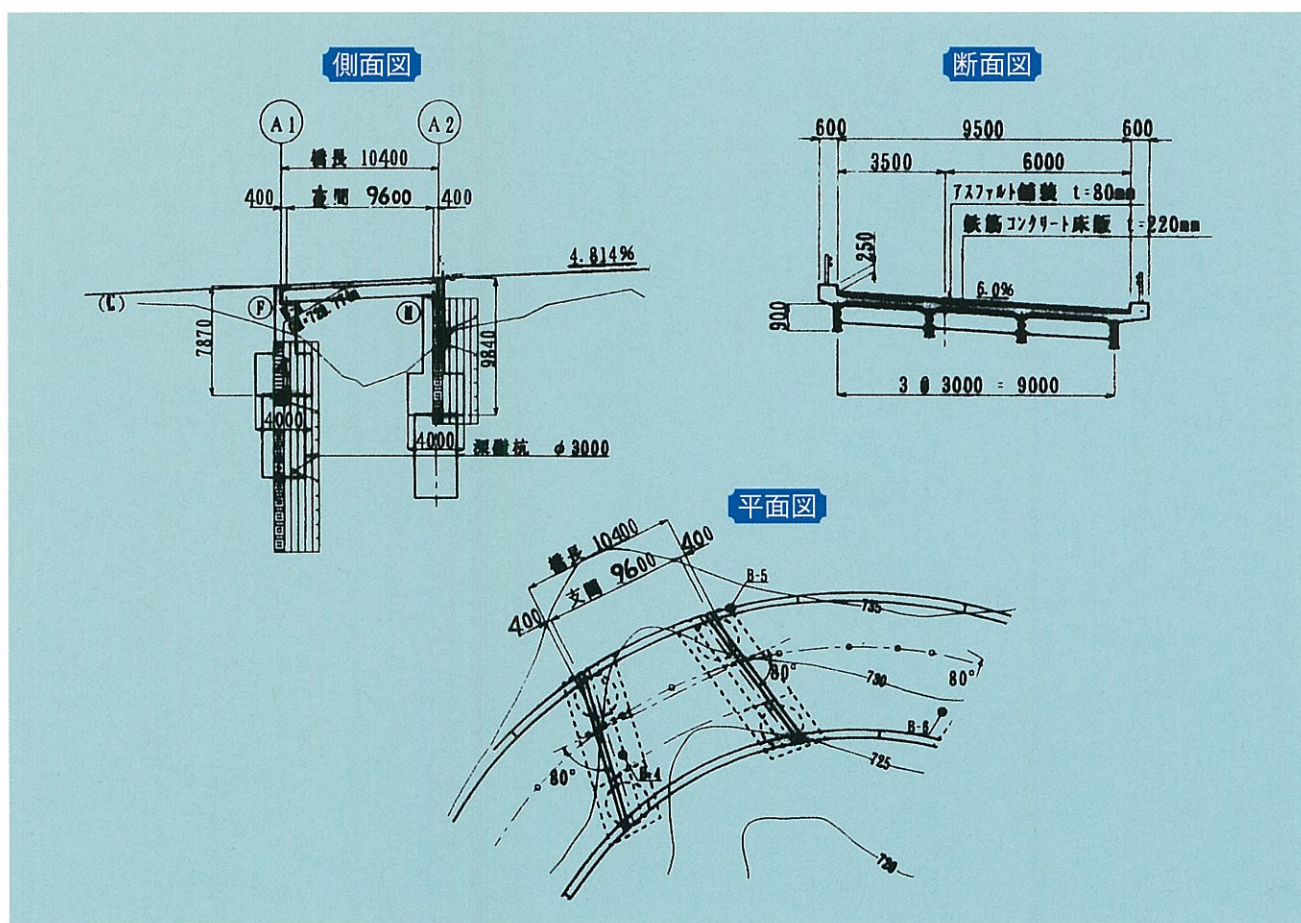
現地の風景にとけ込むよう、高欄の色、親柱の形に配慮した。



路線名	国道121号	使用鋼(PC鋼)材	SM400、SM490Y
架設場所	耶麻郡塩川町大字窪地内	鋼材(PC鋼材)量	183 t
河川名	姥堂川	流量	210m³/sec
橋長	49.300m	架設工法	トラッククレーン架設
支間割	2@24.000m	橋台形式	逆T式橋台
幅員構成	歩道+路肩+車道+路肩+歩道=全幅 4.50+2.25+6.50+2.25+4.50=20.00m	橋脚形式	壁式橋脚
適用示方書	平成8年11月	設計荷重	B活荷重
		基礎工	杭基礎(場所打ち杭φ1000、A1:L=20.5m、 A2:L=17.0m、P1:L=15.5m)
		総工事費(百万円)	620
		上部工(百万)	280
		下部工(百万)	340



本橋は、一般県道下郷・会津本郷線大沼郡会津本郷町大字氷玉地内の峠部に架かる橋梁である。本橋は、平成13年度に下郷町と会津本郷町間の峠部の交通不能区間を解消する目的で施工したバイパス工事区間に位置している。本箇所は、冬季間の気象条件が厳しく、積雪量も多いことから、維持管理のメンテナンスを考慮して、耐候性鋼材を使用している。

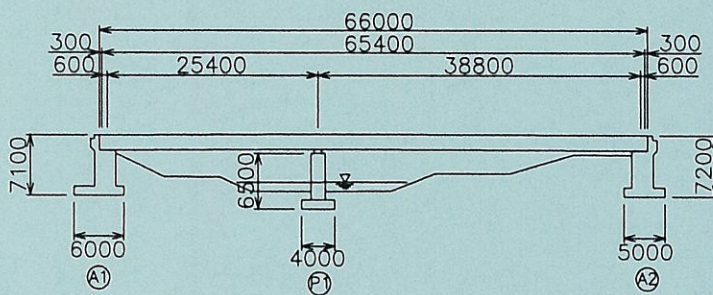


路線名	(一) 下郷・会津本郷線	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW
架設場所	大沼郡会津本郷町大字氷玉地内	鋼材(PC鋼材)量	19 t
河川名	—	架設工法	クレーン架設
橋長	10.400m	橋台形式	逆T式
支間割	9.600m	橋脚形式	—
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 0.75+2.75+5.25+0.75=9.50m	基礎工	A1 深礎杭 (φ3000 L=12.0m・14.0m N=2.0本) A2 深礎杭 (φ3000 L=13.5m・14.5m N=2.0本)
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	109
		上部工(百万)	27
		下部工(百万)	82

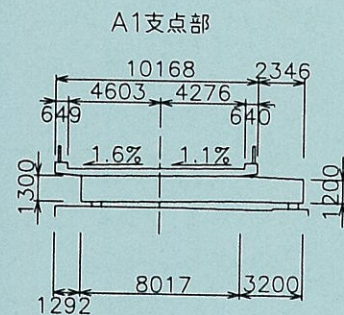


耐候性鋼材による無塗装橋梁で、平面線形が半径100mで構造上からアウトリガーが有する構造です。製作・架設では桁のねじれに、床版施工では冬季のためコンクリートの品質管理に特に留意した。

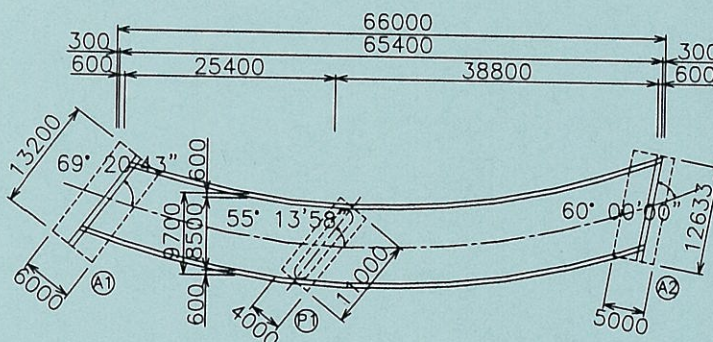
側面図



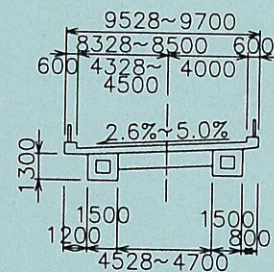
断面図



平面図



支 点 部 中 間 部



路 線 名	(一) 月館・霊山線			使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW. SMA490BW. SMA400AW. SMA400BW				
架 設 場 所	伊達郡月館町大字御代田地内			鋼材(PC鋼材)量	184 t				
河 川 名	広瀬川	流 量	190m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーンベント架設工法				
橋 長	66.000m			橋 台 形 式	逆T式				
支 間 割	25.400+38.800m			橋 脚 形 式	壁式				
幅 員 構 成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道＝全幅 0.75+3.50+3.00+0.75＝8.00m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	227	上部工(百万)	192	下部工(百万)	35

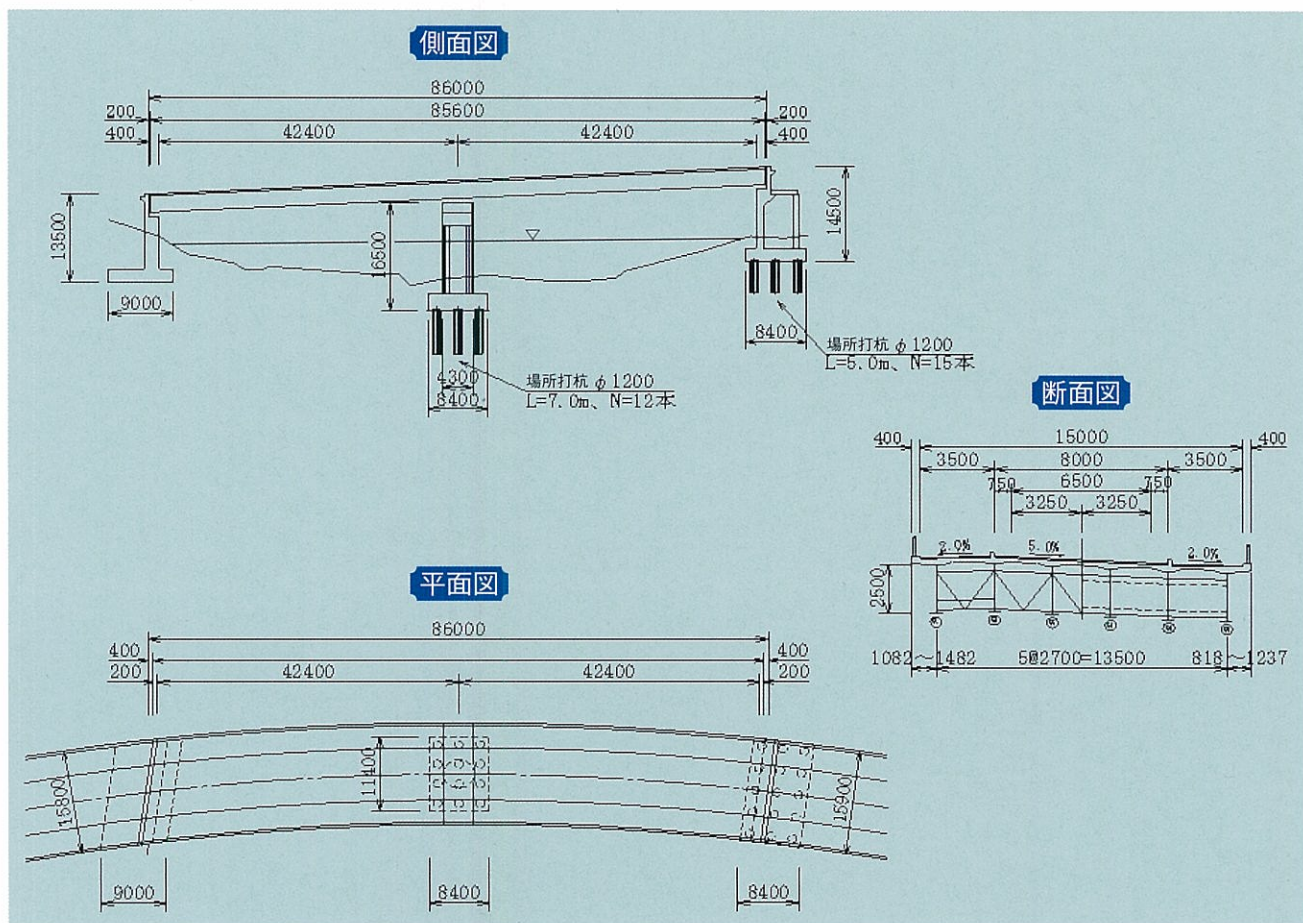
24

松 合 橋

鋼2径間連続鈑桁



本橋は国道289号南会津郡下郷町大字塩生地内の観音川に架かる2径間連続鈑桁橋である。景観と維持管理を考慮して、耐候性鋼材を用いた。

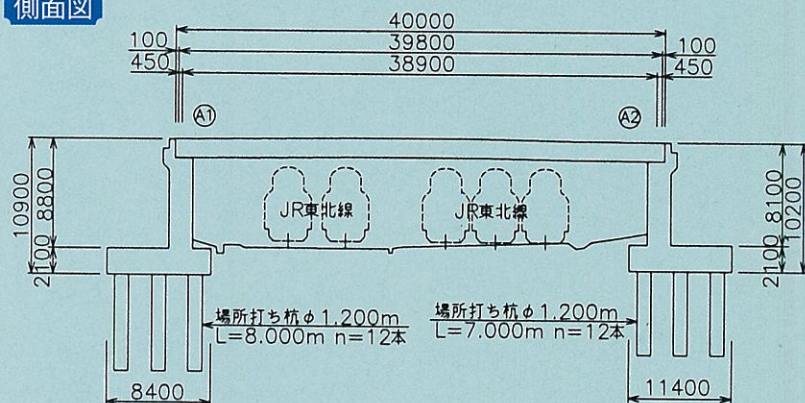


路線名	国道289号	使用鋼(PC鋼)材	SMA490W、SMA400W
架設場所	南会津郡下郷町大字塩生地内	鋼材(PC鋼材)量	347 t
河川名	観音川	流量	420m³/sec
橋長	86.000m	架設工法	ベント併用クローラークレーン架設
支間割	2@42.400m	橋台形式	A1：逆T式 A2：箱式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.75+3.25+3.25+0.75+3.5=15.0m	橋脚形式	円柱式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	466
		上部工(百万円)	315
		下部工(百万円)	151

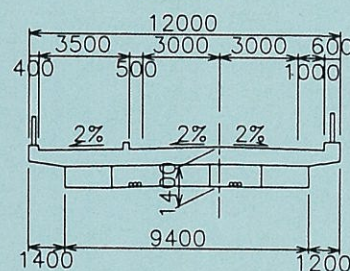


本橋梁は、JR東北線を跨ぐ橋梁で、鉄道の建築限界及び道路縦断等の制約から鋼床版箱桁橋とし桁高を極力抑えた。また、隣接部に架設ヤードが無く、架設時にトランスポーターにて桁組立ヤードから運搬、トラッククレーンによる架設を採用し、使用鋼材は耐候性鋼材で裸仕様となっている。

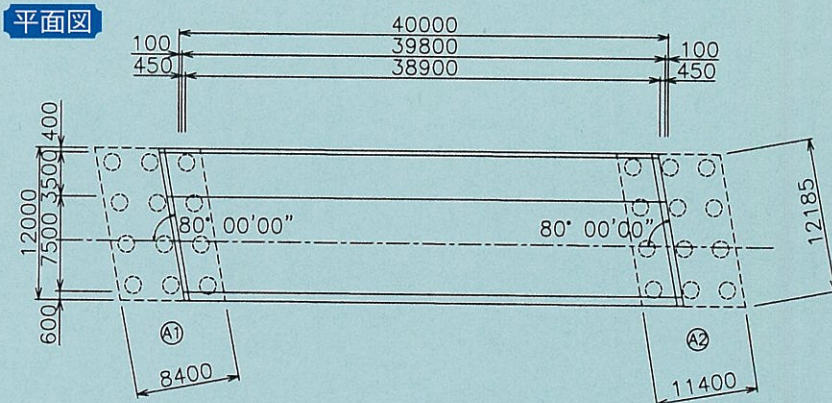
側面図



断面図



平面図



路線名	(主) 土湯温泉線	使用鋼(PC鋼)材	SS400・SM490Y・SD295A
架設場所	福島市松川町地内	鋼材(PC鋼材)量	171 t
河川名	—	架設工法	トラッククレーン架設工法
橋長	40.000m	橋台形式	逆T式
支間割	38.900m	橋脚形式	—
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩=全幅 3.50+0.50+3.00+3.00+1.00=11.00m	基礎工	A1橋台 場所打杭 φ1200mm L=8.00m N=12本 A2橋台 場所打杭 φ1200mm L=7.00m N=12本
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	340
		上部工(百万円)	250
		下部工(百万円)	90

26

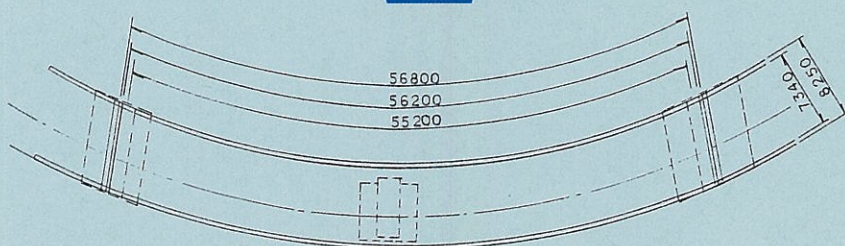
矢吹インターランプ橋

PC 2 径間連続ポステン中空床版桁

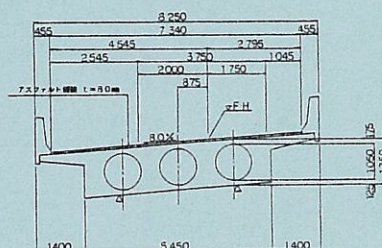


横断勾配が8.0%と非常に急勾配であり、最小半径も67.0mしかないなどランプならではの形状となっている。施工中は東北自動車道矢吹インターチェンジへの進入路を止めることが出来なかったため、オールステーディング内に開口部を設け、併用させながらの施工を実施した。

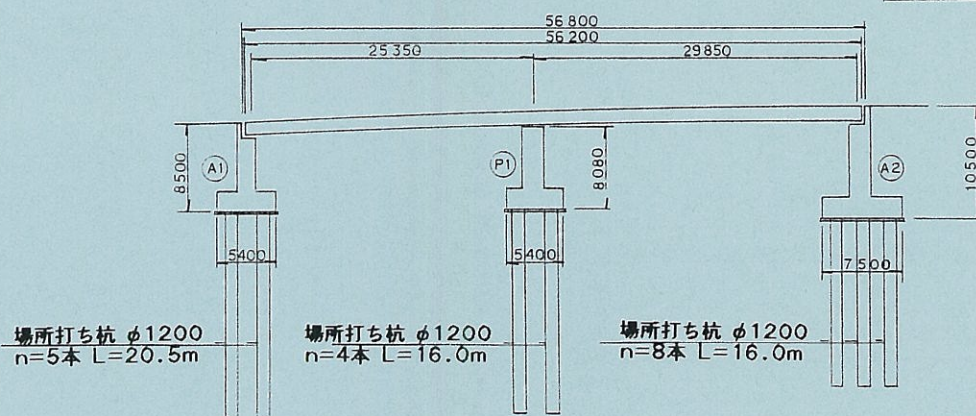
平面図



断面図



側面図



路線名	(主) 矢吹小野線	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BN (12S15.2)
架設場所	西白河郡矢吹町赤沢地内	鋼材(PC鋼材)量	11,748kg
河川名	—	架設工法	固定式支保工
橋長	56.800m	橋台形式	逆T式
支間割	25.350+29.850m	橋脚形式	壁式
幅員構成	路肩+車道+路肩=全幅 2.545+3.75+1.045=7.34m	基礎工	場所打ち杭 φ1,200 L=16.0m N=12本 L=20.5m N=5本
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	187
		上部工(百万円)	127
		下部工(百万円)	60

27

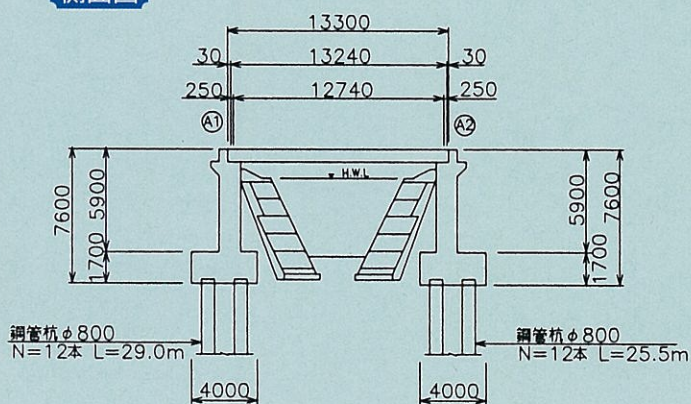
渡利くるみ橋

PC単純プレテン床版桁

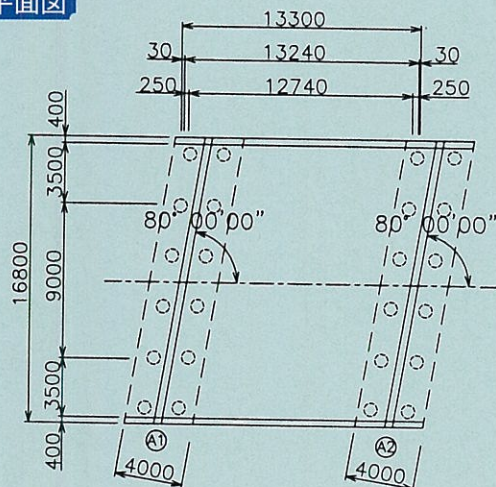


施工現場周辺は住宅地のため、伸縮継手は走行音の少ないカットオフジョイントを採用し、また、道路および河川条件等から桁高が低く抑えられるホロースラブ桁とした。

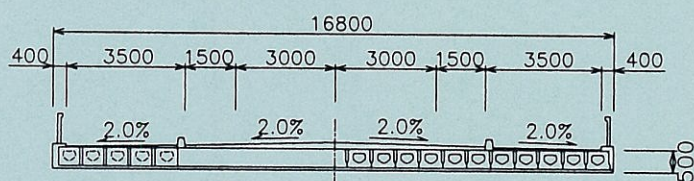
側面図



平面図



断面図



路線名	(一) 岡部・渡利線	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼材 1S21.8mm
架設場所	福島市渡利地内	鋼材(PC鋼材)量	993kg
河川名	くるみ川	流量	70m³/sec
橋長	13.300m	架設工法	トラッククレーン架設工法
支間割	12.740m	橋台形式	逆T式橋台
		橋脚形式	—
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.50+1.50+3.00+3.00+1.50+3.50=16.00m	基礎工	A1 鋼管杭 φ800mm L=29.0m N=12本 A2 鋼管杭 φ800mm L=25.5m N=12本
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	117
		上部工(百万)	37
		下部工(百万)	80

平成13年度

完 成 橋 梁

1

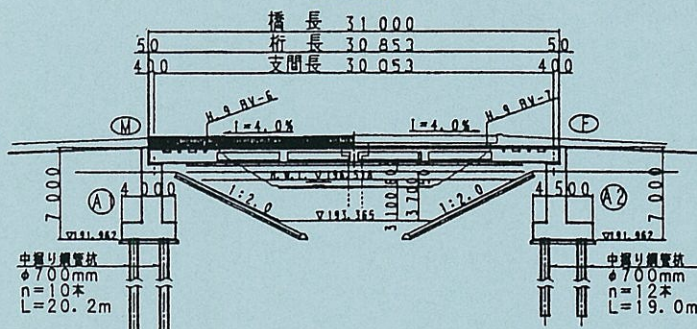
家 東 橋

PC単純バイプレ中空床版桁

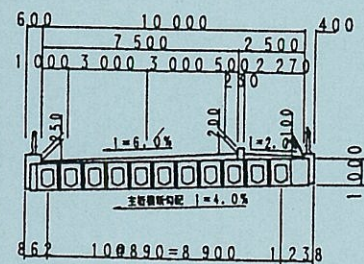


本橋は、主要地方道 会津坂下・高田線
大沼郡新鶴村大字鶴野辺地内の一級河川
佐賀瀬川に架かる橋である。旧橋は、昭和
35年に架設された老朽橋で幅員が狭小で
あり、道路改良計画区間の橋梁架設位置
で河川改修事業があるため、道路管理者と
河川管理者との事業費分担率協定を締結し
て、平成13年度に架け替えた。

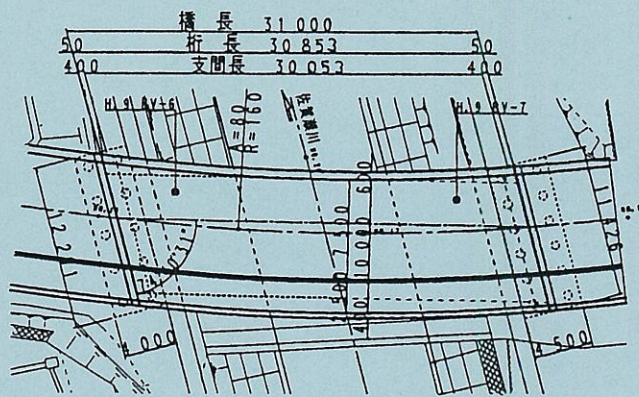
側面図



断面図



平面図



路線名	(主) 会津坂下・会津高田線	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7B (12S12.7B) SBPR930/1080 (φ32)
架設場所	大沼郡新鶴村大字鶴野辺地内	鋼材(PC鋼材)量	20,878kg
河川名	佐賀瀬川	流量	140m³/sec
橋長	31.000m	架設工法	架設桁架設
支間割	30.053m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.0+3.0+3.0+0.5+2.5=10.0m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	213.1
		上部工(百万)	124.2
		下部工(百万)	88.9

2

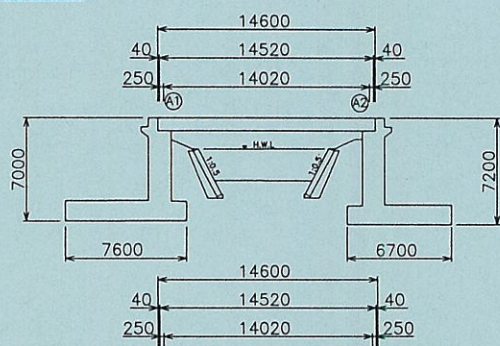
大久保橋

PC単純プレテン床版桁

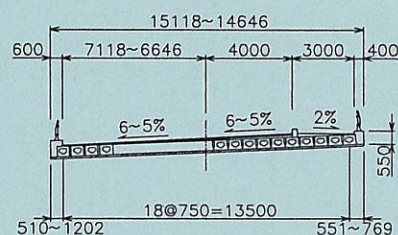


斜角右71°20'の曲線橋であり最大850mmの張り出し床版を持っている。また、歩道部の高欄に桜のパネルを2枚配置し、周囲のイメージを反映している。

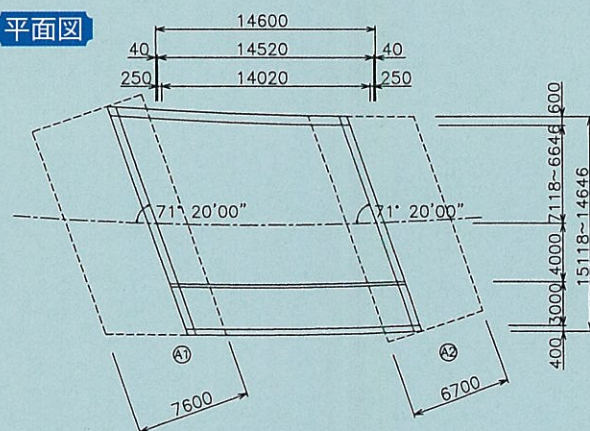
側面図



断面図



平面図



路 線 名	国道349号			使用鋼(PC 鋼)材	主ケーブル(PC鋼より線SWPR7BN 15.2B) 横締ケーブル(SWPR19 1S19.3)				
架 設 場 所	安達郡岩代町東新殿地内			鋼材(PC 鋼材)量	5,191kg				
河 川 名	大久保川	流 量	60m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	14.600m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	14.020m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	歩道＋路肩＋車道＋車道＋路肩＋歩道＝全幅 0.6＋7.118～6.646＋4.0＋0.23＋2.77＋0.4＝15.118～14.646m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年度12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	115	上部工(百万)	36	下部工(百万)	79

3

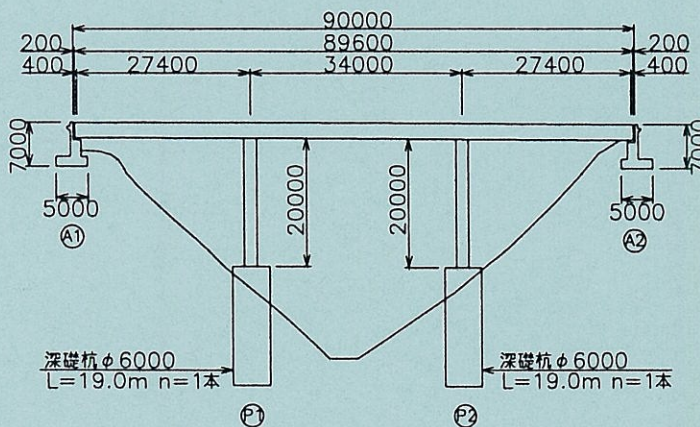
奥軽井沢橋

鋼 3 径間連続鈑桁

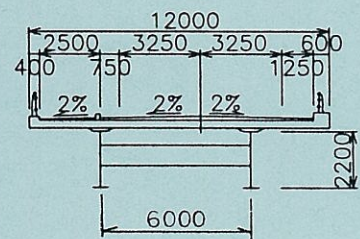


本橋は、摺上川ダム建設事業による国道399号茂庭バイパスに架かる橋である。コスト削減を念頭に①上部工は2主桁で耐候性鋼材を使用しグレーチング床版を採用、②主桁と橋脚を剛結しラーメン構造、③モルタルライニングの大口径深礎杭で施工した。

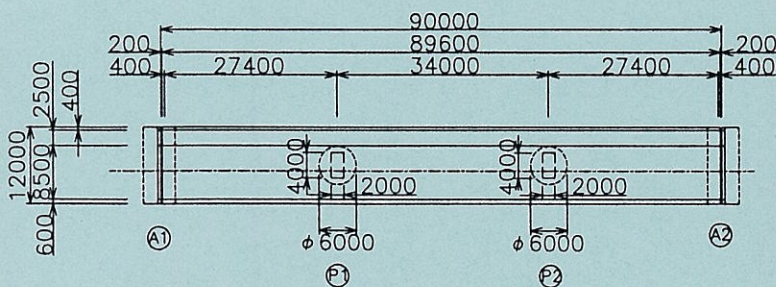
側面図



断面図



平面図



路線名	国道399号	使用鋼(PC鋼)材	SMA490W・SMA400W
架設場所	福島市飯坂町茂庭地内	鋼材(PC鋼材)量	155 t
河川名	摺上川	流量	—
橋長	90.000m	架設工法	トラッククレーン架設
支間割	27.400+34.000+27.400m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 2.5+0.75+3.25+3.25+1.25=11.0m	橋脚形式	円柱式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	436
		上部工(百万)	248
		下部工(百万)	188

4

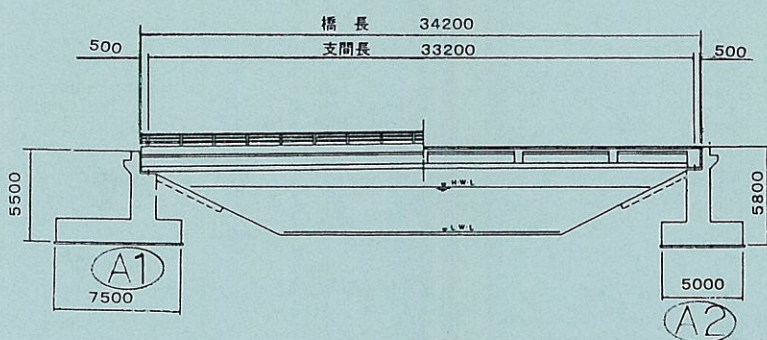
小田倉橋

プレビーム単純合成桁

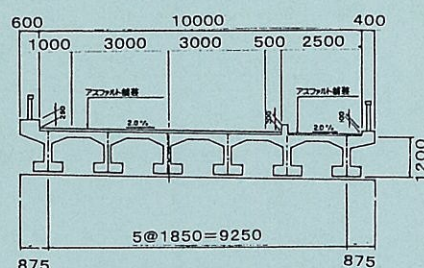


本橋は、平成10年8月末豪雨による堀川の河川激甚災害対策特別緊急事業の実施に伴い、架け替えられた橋梁である。旧橋は、昭和48年架設で歩道が無く、交通安全上危険な状態であった。背後地の土地利用を考慮し、桁高を抑えたプレビーム桁を使用しているため、整備された堀川とマッチした美しい橋梁となっている。

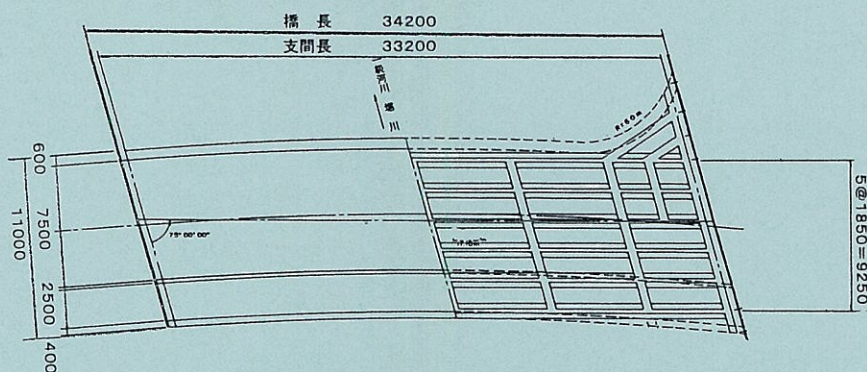
側面図



断面図



平面図



路 線 名	(一) 増見小田倉線			使用鋼(PC 鋼)材	SM570				
架 設 場 所	西白河郡西郷村大字小田倉地内			鋼材(PC 鋼材)量	109 t				
河 川 名	堀川	流 量	250m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	34.200m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	33.200m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.0+3.0+3.0+0.5+2.5=10.0m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	A 活荷重	総工事費(百万円)	162	上部工(百万円)	116	下部工(百万円)	46

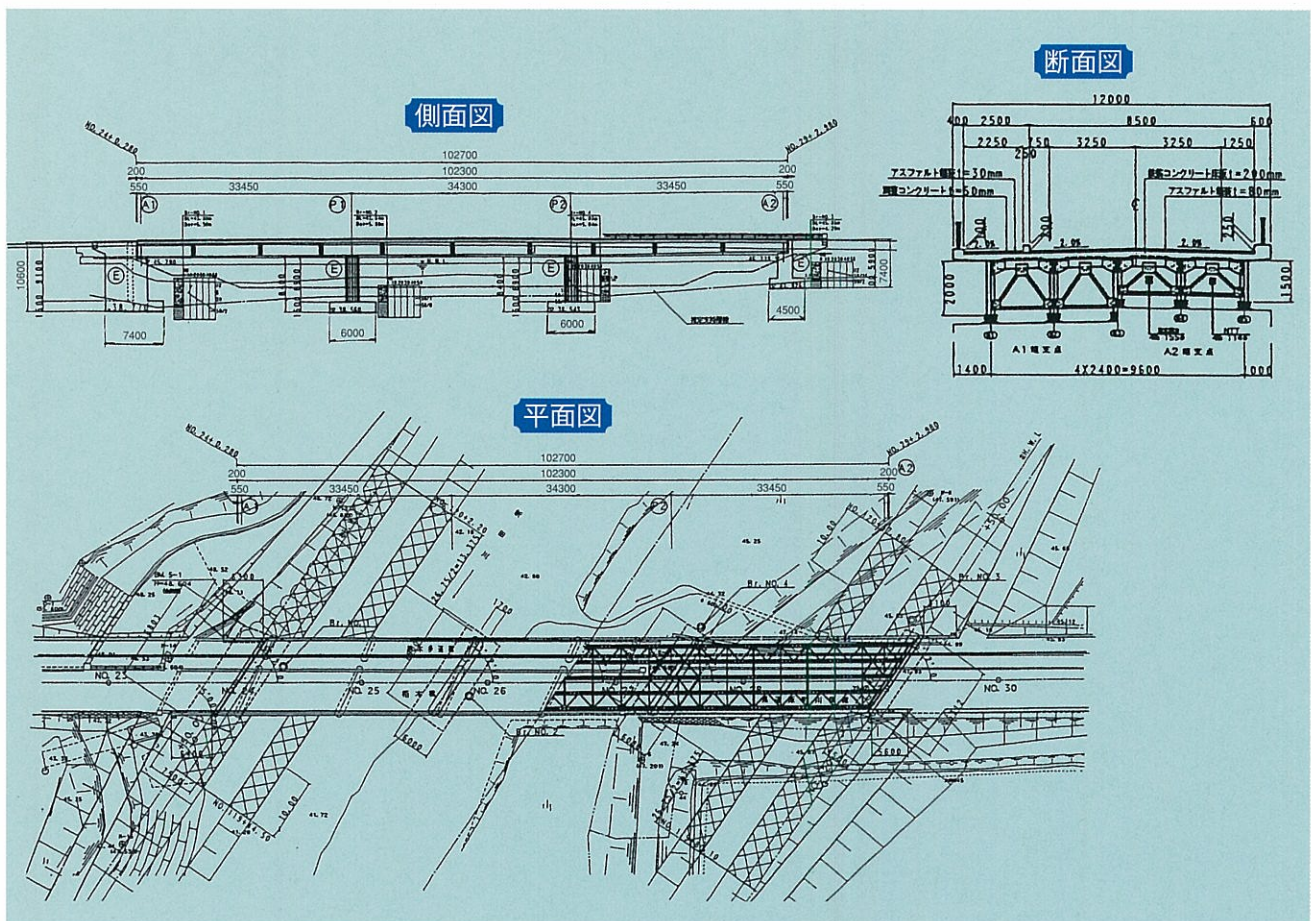
5

栢ノ木橋

鋼3径間連続鈑桁



本橋は、原町市深野地内の新田川に架かる老朽橋で幅員狭小である栢ノ木橋の架け替えを行った。鋼材に耐候性鋼材を使用し、コスト削減を図った。



路 線 名	(主) 原町川俣線			使用鋼(PC鋼)材	SMA490W、SMA400W				
架 設 場 所	原町市深野地内			鋼材(PC鋼材)量	139 t				
河 川 名	新田川	流 量	27m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン仮設				
橋 長	102.700m			橋 台 形 式	逆T式				
支 間 割	33.450+34.300+33.450m			橋 脚 形 式	小判型壁式				
幅 員 構 成	歩道+路肩+車道+車道+路肩=全幅 2.5+0.75+3.25+3.25+1.25=11.0m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年 2 月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	282	上部工(百万)	202	下部工(百万)	80

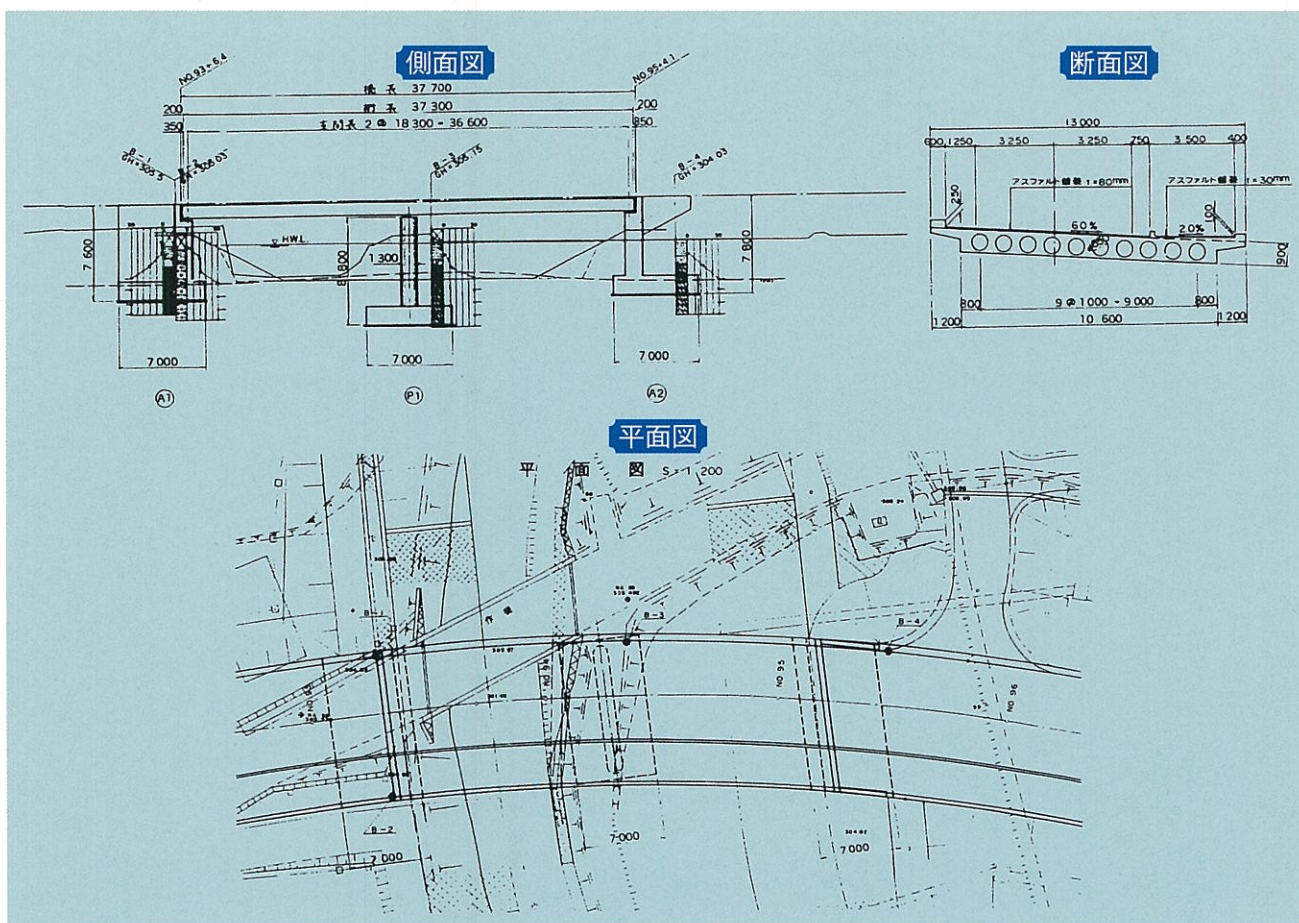
6

作 橋

PC 2 径間連続ポステン中空床版桁



本橋は、主要地方道小名浜小野線：いわき市三和町上永井地内の小玉川に架かる橋である。桁は現場打ちの2径間連続PC中空床版橋とし、スレンダーな桁特性は、周辺景観とよく馴染み、加えてコスト縮減も達成できた。



路線名	(主) 小名浜小野線	使用鋼(PC鋼)材	SWPR7BL (7S12.7)
架設場所	いわき市三和町上永井地内	鋼材(PC鋼材)量	5,239kg
河川名	小玉川	流量	250m³/sec
橋長	37.700m	架設工法	支保工
支間割	2@18.300m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.25+3.25+3.25+0.75+3.5=12.0m	橋脚形式	小判型壁式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	170
		上部工(百万円)	69
		下部工(百万円)	101

7

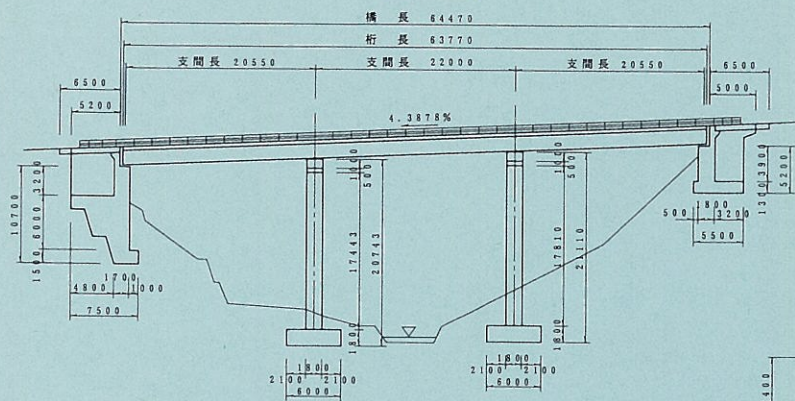
新 向 橋

鋼 3 径間連続鈑桁

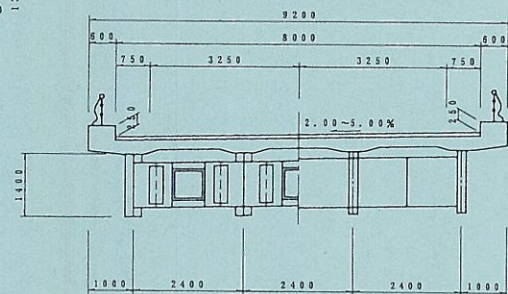


新向橋は、いわき市と川内村を結ぶ国道399号の小川町上小川地内の山岳道路の橋梁であり、冬期間の安全な交通を確保するため、前後の線形改良ととも桁下約20mの橋梁を築造した。

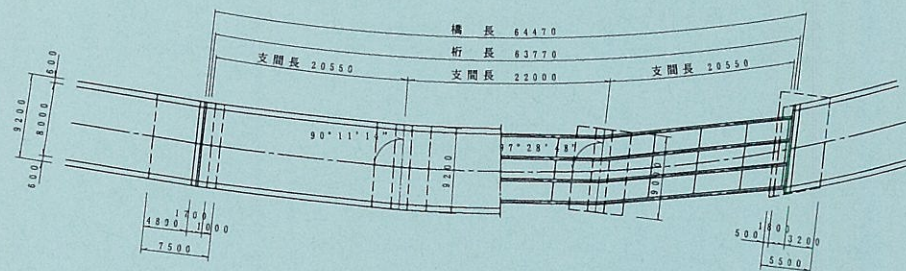
側面図



断面図



平面図



路線名	国道399号	使用鋼(PC鋼)材	SMA490、SMA400
架設場所	いわき市小川町上小川北戸渡地内	鋼材(PC鋼材)量	79 t
河川名	準用河川 戸渡川	流量	30m³/sec
橋長	64.470m	架設工法	ベント併用トラッククレーン架設
支間割	20.550+22.000+20.550m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 0.75+3.25+3.25+0.75=8.0m	橋脚形式	壁式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	247
		上部工(百万)	145
		下部工(百万)	102

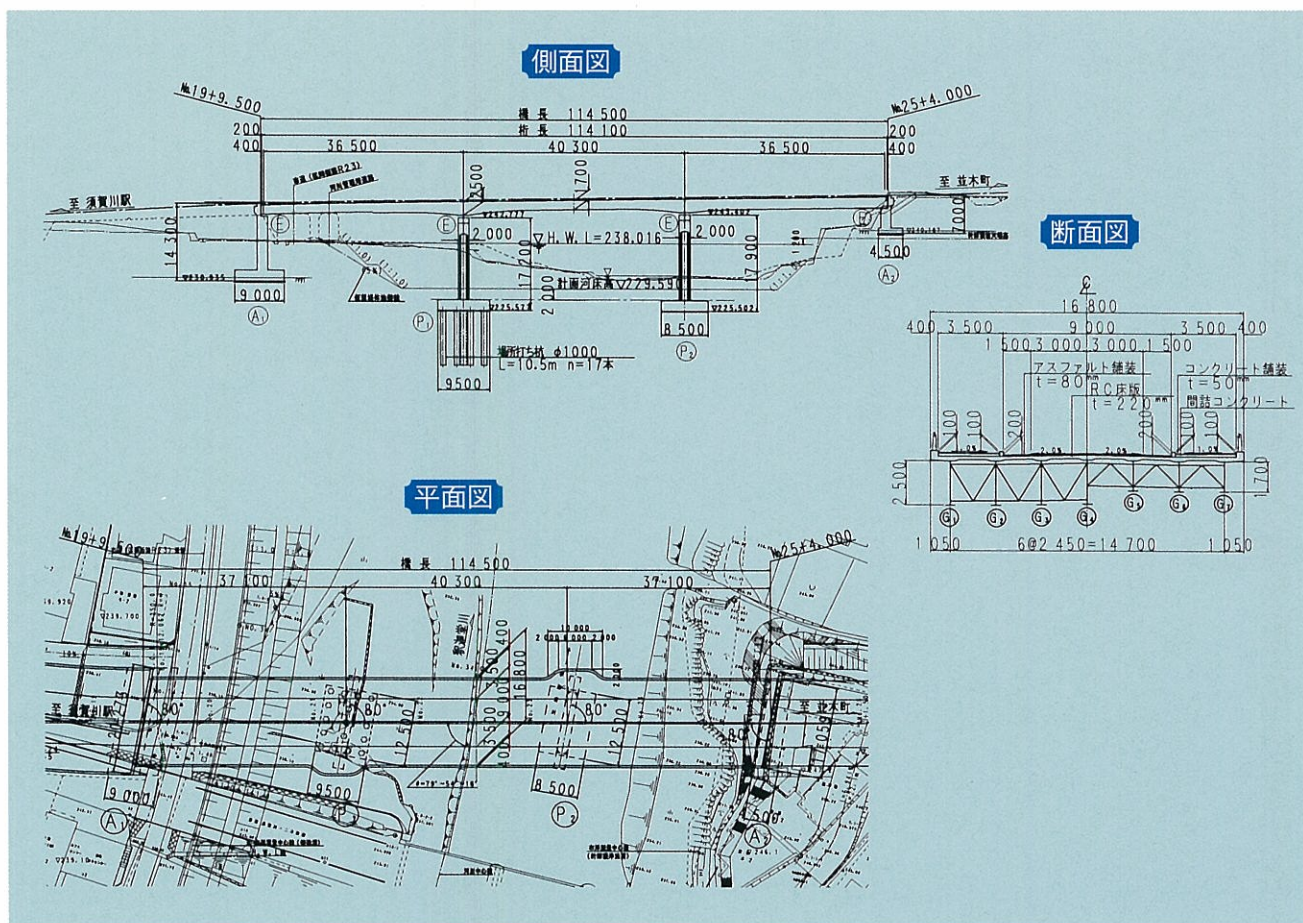
8

須賀川橋

鋼3径間連続鈑桁



本橋は、須賀川市中心部を流れる釈迦堂川に架かる橋梁であり、須賀川市のメインストリートとなる道路にあり、近隣においては釈迦堂川花火大会が開催され、また、釈迦堂川親水公園を跨ぐ橋梁であることから、地元まちづくり委員会と供に協議しながら景観に配慮した計画を行い、変断面桁、バルコニーの設置を採用した。



路 線 名	(主) 須賀川二本松線			使用鋼(PC 鋼)材	SS400、SM490Y				
架 設 場 所	須賀川市諏訪町地内			鋼材(PC 鋼材)量	368 t				
河 川 名	釈迦堂川	流 量	1800m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン・ベント工法+送出し架設工法				
橋 長	114.500m			橋 台 形 式	逆T式				
支 間 割	36.500+40.300+36.500m			橋 脚 形 式	小判型壁式				
幅 員 構 成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.50+1.50+3.00+3.00+1.50+3.50=16.00m			基 礎 工	A1、A2橋台、P2橋脚：直接基礎 P1橋脚：場所打杭 φ 1000				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	820	上部工(百万)	441	下部工(百万)	379

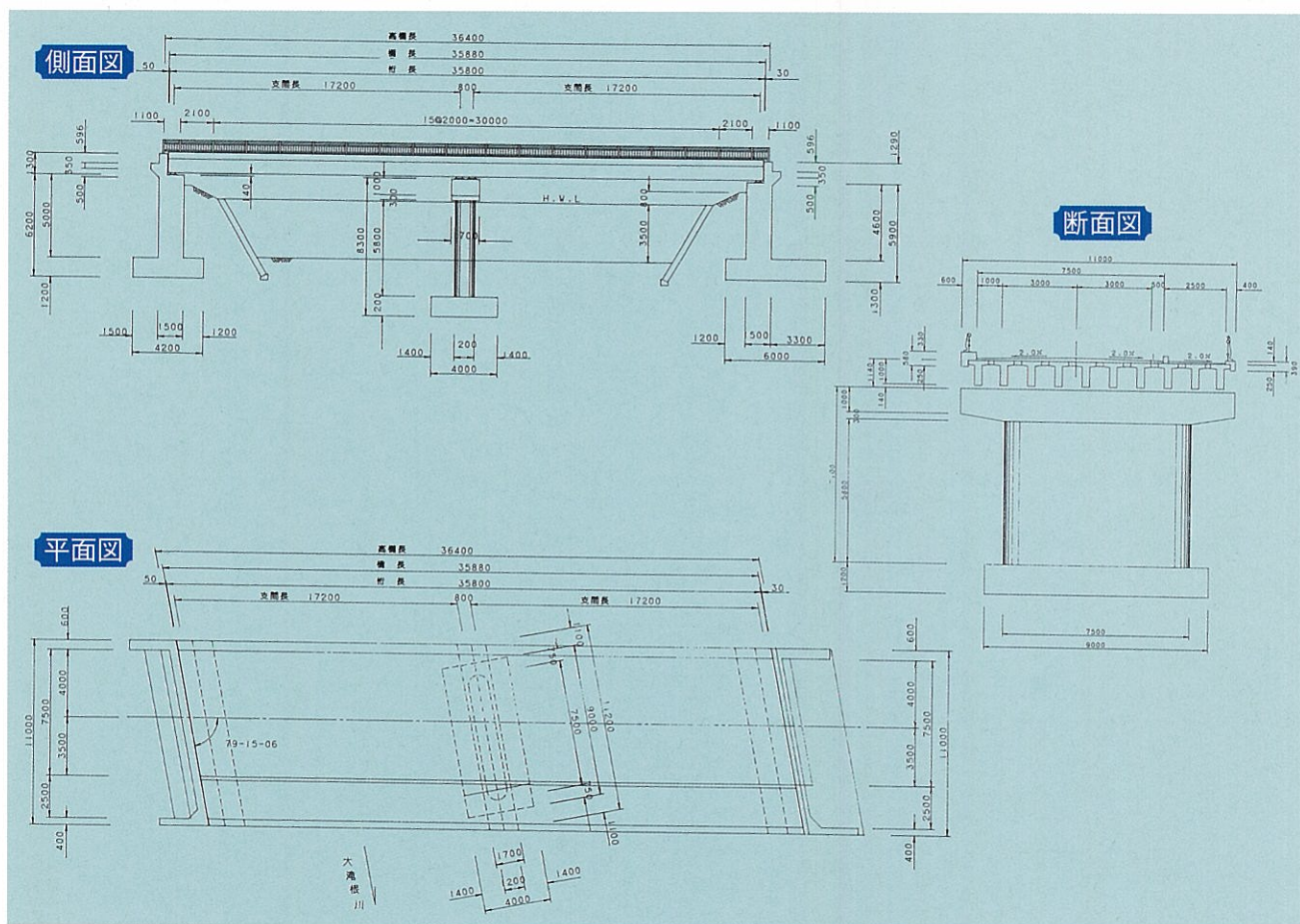
9

田 中 橋

PC 2 径間連結プレテンT桁



本橋は、一般県道常葉芦沢線に架かる橋である。旧橋は木橋で平成10年の台風で落橋したため架替工事を行った。



路線名	(一) 常葉芦沢線	使用鋼(PC鋼)材	SWPR7BN (1S15.2) SWPR19N (1S27.8)
架設場所	田村郡船引町大字今泉地内	鋼材(PC鋼材)量	8,102kg
河川名	牧野川	流量	200m³/sec
橋長	35.880m	架設工法	トラッククレーン架設
支間割	2@17.600m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.0+3.0+3.0+0.5+2.5=10.0m	橋脚形式	小判型壁式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	210
		上部工(百万)	85
		下部工(百万)	125

10

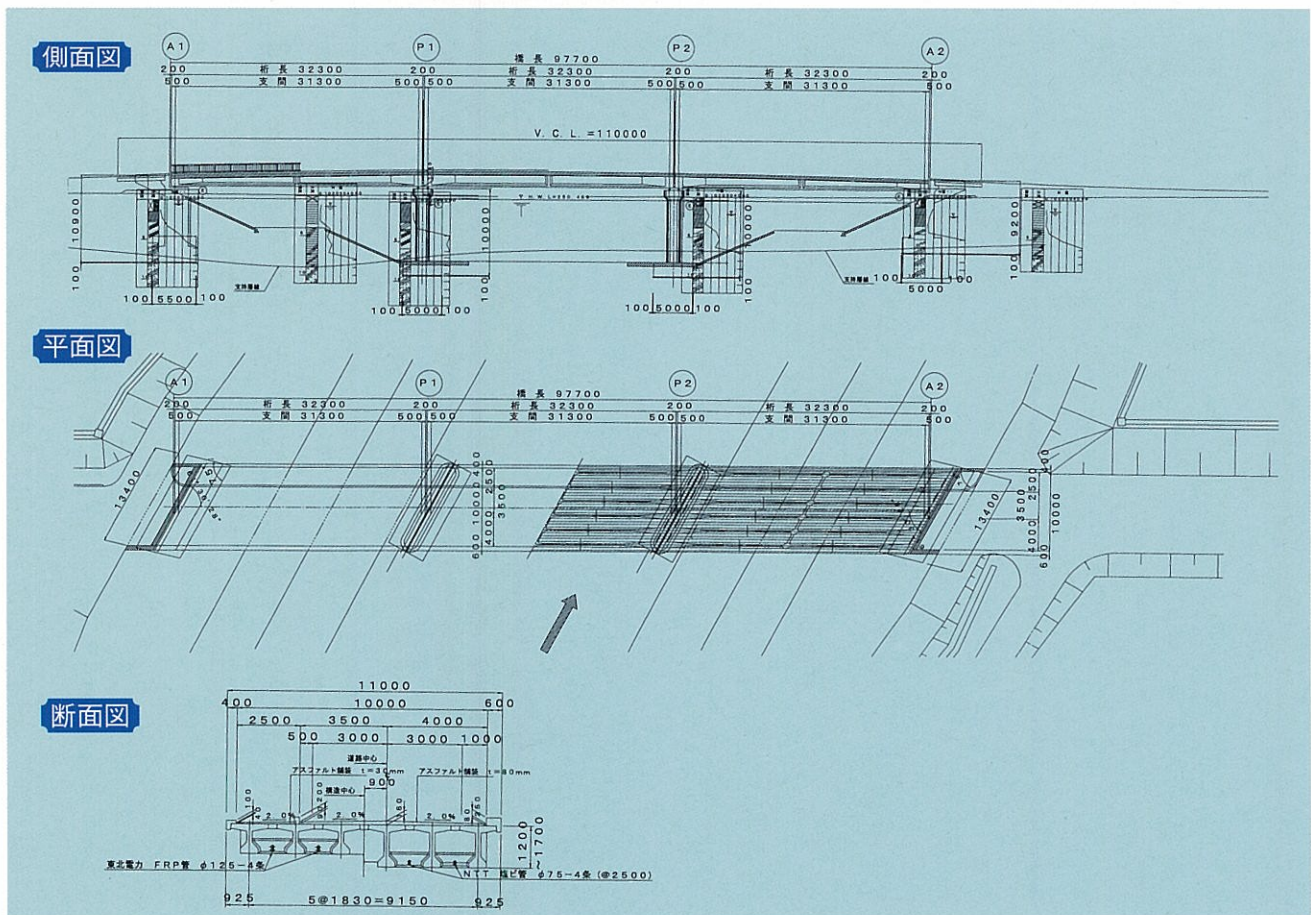
槻木橋

PC 3 径間連結ポステンT桁



本橋は、下松本鏡石(停)線、須賀川市大字岩淵地内に架かる橋である。旧橋は、昭和36年に架設された老朽橋であり、幅員狭小の解消を図るため、平成13年度に架け替えた。

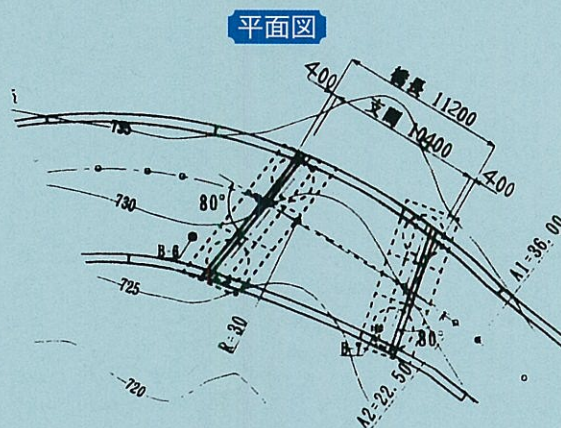
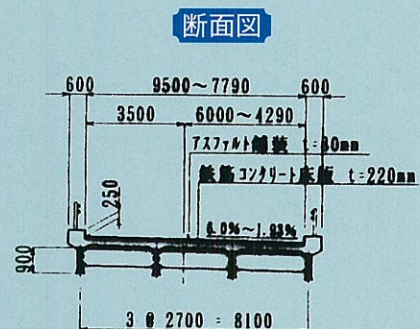
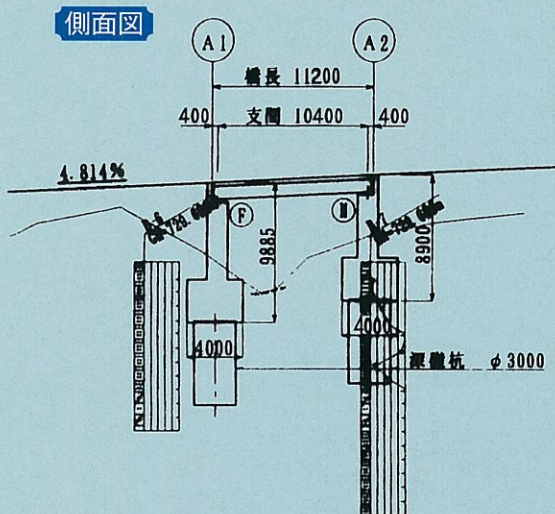
釈迦堂川の河川改修と伴にアロケーションを行い施工費用の分担を行った。



路線名	(一) 下松本鏡石(停)線	使用鋼(PC鋼)材	SWPR7BN (12S12.7B) SWPR19 (1S12.8)
架設場所	須賀川市大字岩淵地内	鋼材(PC鋼材)量	33,958kg
河川名	釈迦堂川	流量	1.100m³/sec
橋長	97.700m	架設工法	トラッククレーン架設
支間割	3@31.300m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩=全幅 2.50+0.50+3.00+3.00+1.00=10.00m	橋脚形式	小判型壁式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	A活荷重
		総工事費(百万円)	420
		上部工(百万)	240
		下部工(百万)	180



本橋は、一般県道 下郷・会津本郷線 大沼郡会津本郷町大字氷玉地内の峠部に架かる橋梁である。本橋は、平成13年度に下郷町と会津本郷町間の峠部の交通不能区間を解消する目的で施工したバイパス工事区間に位置している。本箇所は、冬季間の気象条件が厳しく、積雪量も多いことから、維持管理のメンテナンスを考慮して、耐候性鋼材を使用している。



路線名	(一) 下郷・会津本郷線	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW
架設場所	大沼郡会津本郷町大字氷玉地内	鋼材(PC鋼材)量	19 t
河川名	—	架設工法	クレーン架設
橋長	11.200m	橋台形式	逆T式
支間割	10.400m	橋脚形式	—
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 0.75+2.75+5.25+0.75=9.50m	基礎工	A1 深礎杭(φ3000 L=12.0m・14.0m N=2.0本) A2 深礎杭(φ3000 L=13.5m・14.5m N=2.0本)
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	107
		上部工(百万円)	25
		下部工(百万円)	82

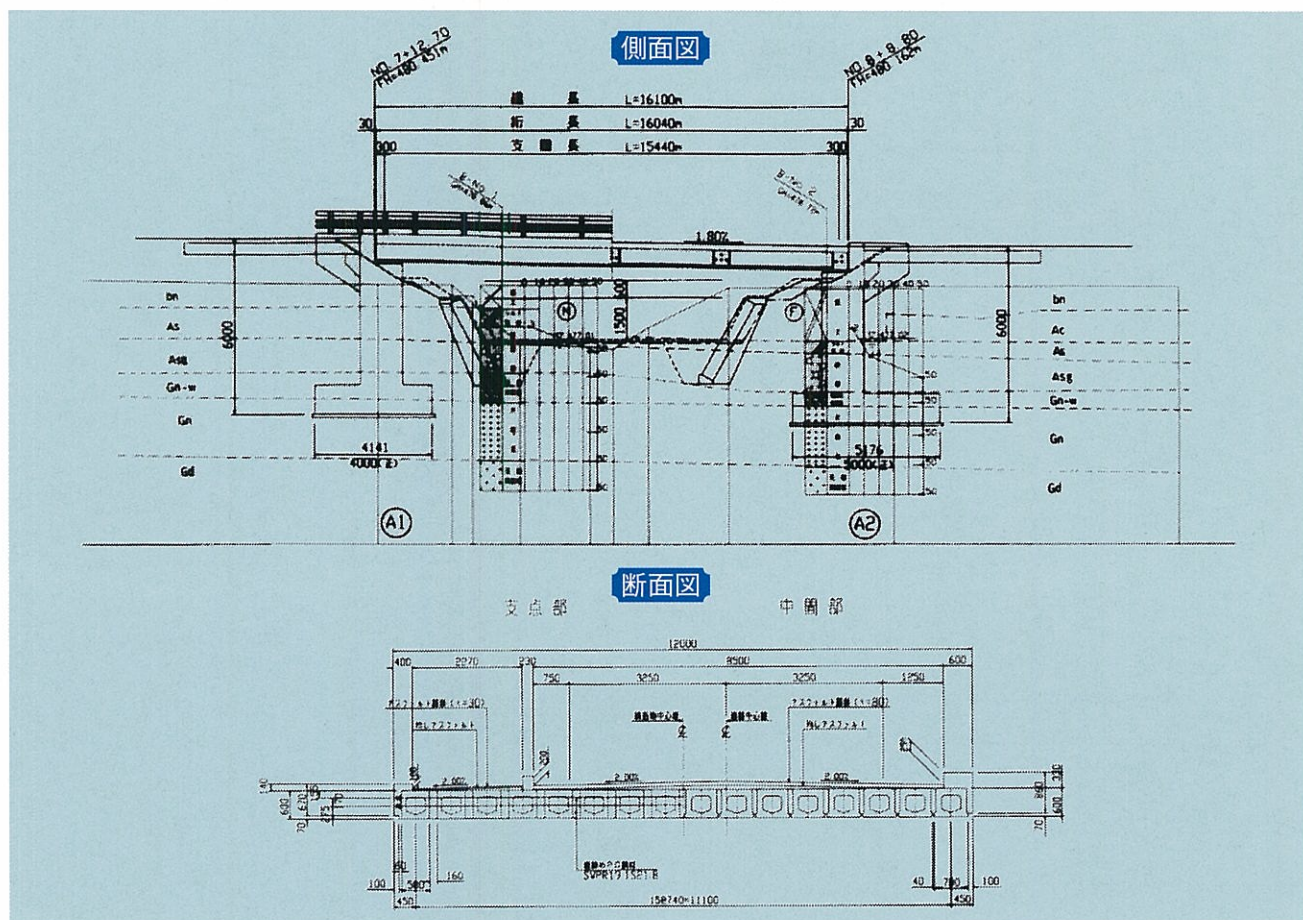
12

百目木橋

PC単純プレテン床版桁



本橋は、相馬郡飯舘村前田地内の普通河川割木川に架かる橋である。工場で製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。



路 線 名	国道399号			使用鋼(PC 鋼)材	SWPR7B、SWPR19				
架 設 場 所	相馬郡飯舘村前田地内			鋼材(PC 鋼材)量	540kg				
河 川 名	割木川	流 量	3.66m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	16.100m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	15.440m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	歩道＋路肩＋車道＋車道＋路肩＝全幅 2.5＋0.75＋3.25＋3.25＋1.25＝11.0 m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 6 年 2 月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	69	上部工(百万)	26	下部工(百万)	43

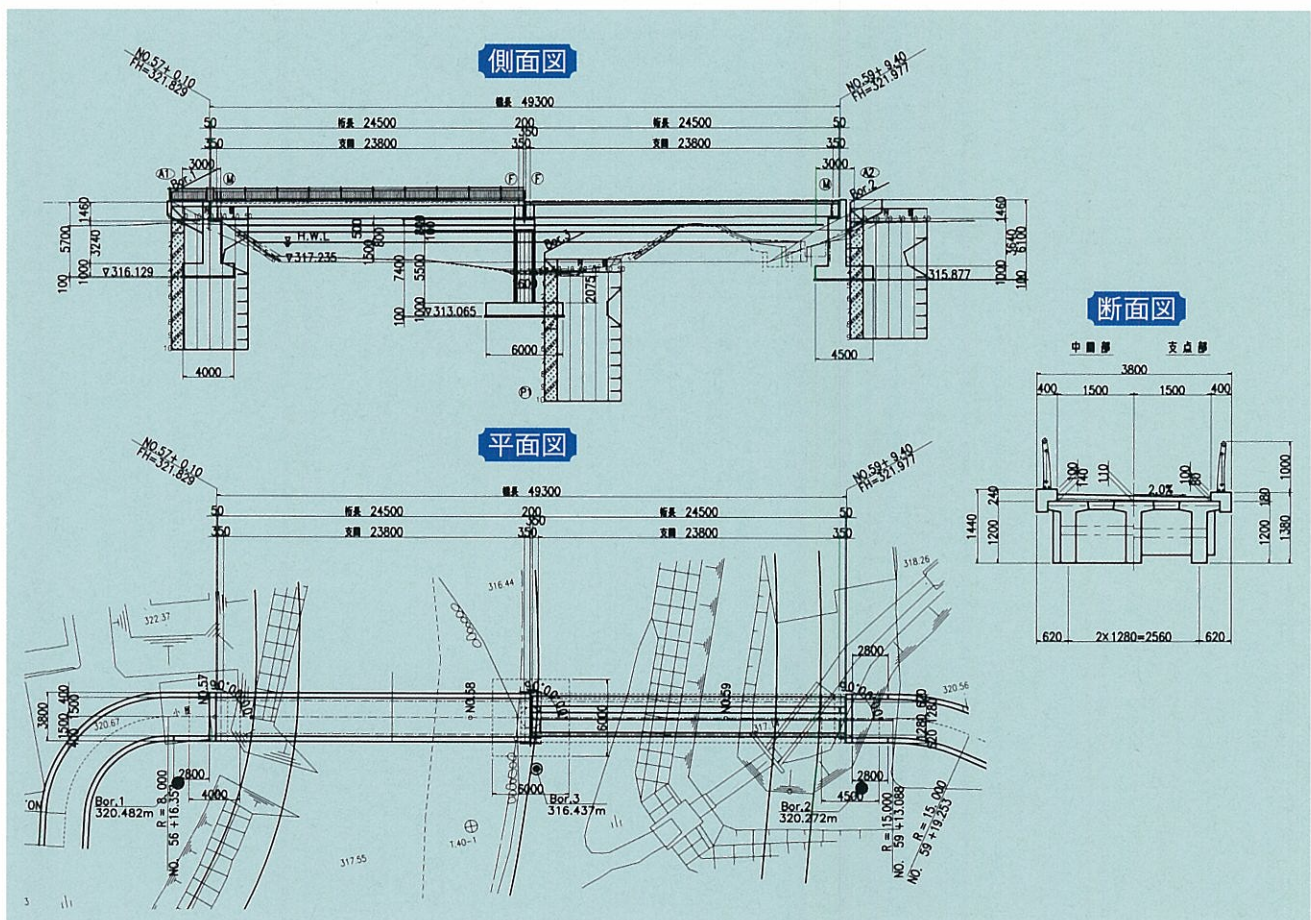
13

野辺沢橋

PC 2 径間連結プレテンT桁



会津若松・熱塩温泉自転車道線の橋梁であり、野辺沢川を横断する橋梁である。工場制作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。経済性及び施工性に優れ、安定した品質を確保できることが特徴であり数多くの実績がある。



路線名	(一) 会津若松熱塩温泉自転車道線	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7B	PC鋼棒SBR930/1080
架設場所	耶麻郡熱塩加納村大字熱塩地内	鋼材(PC鋼材)量	1,273kg	
河川名	野辺沢川	流量	250m³/sec	架設工法
橋長	49.300m			トラッククレーン架設
支間割	2@23.800m			橋台形式
				逆T式
				橋脚形式
				円柱式
幅員構成	路肩+自転車道+路肩=全幅 0.50+2.00+0.50=3.00m	基礎工	直接基礎	
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	A活荷重	総工事費(百万円)
				79
				上部工(百万)
				37
				下部工(百万)
				42

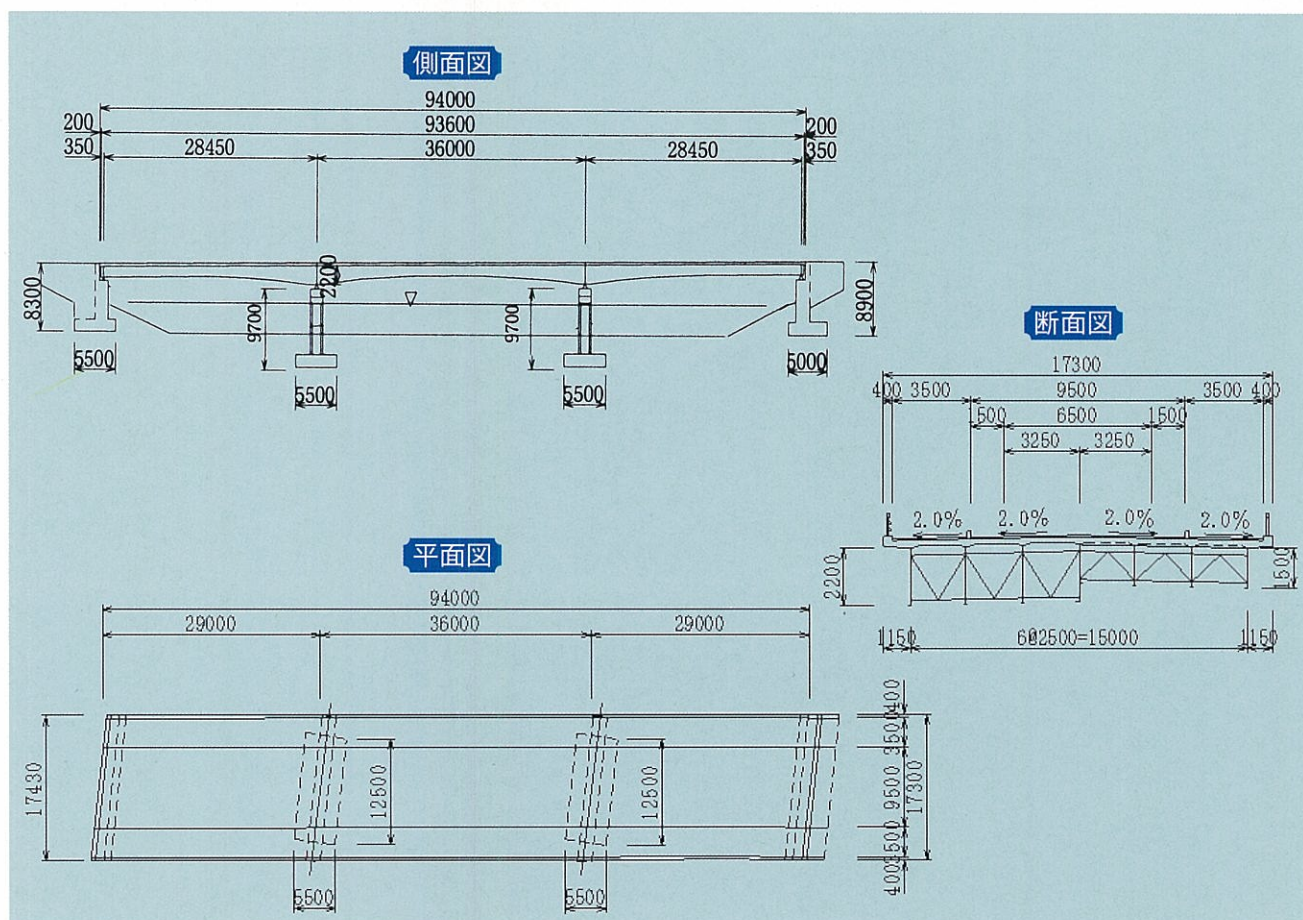
14

萬 歳 橋

鋼 3 径間連続鈑桁



本橋は、国道289号 南会津郡只見町大字長浜地内黒谷川に架かる橋である。幅員狭小および道路線形不良の解消を目的としバイパス工事を行った。旧橋は工事に伴い撤去された。



路線名	国道289号	使用鋼(PC鋼)材	SWA400AW. SWA400BW. SWA490AW. SWA490BW
架設場所	南会津郡只見町大字長浜地内	鋼材(PC鋼材)量	282 t
河川名	黒谷川	流量	760m³/sec
橋長	94.000m	架設工法	トラッククレーンベント工法
支間割	28.450+36.000+28.450m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+1.5+3.25+3.25+1.5+3.5=16.5m	橋脚形式	小判型壁式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	457
		上部工(百万)	257
		下部工(百万)	200

15

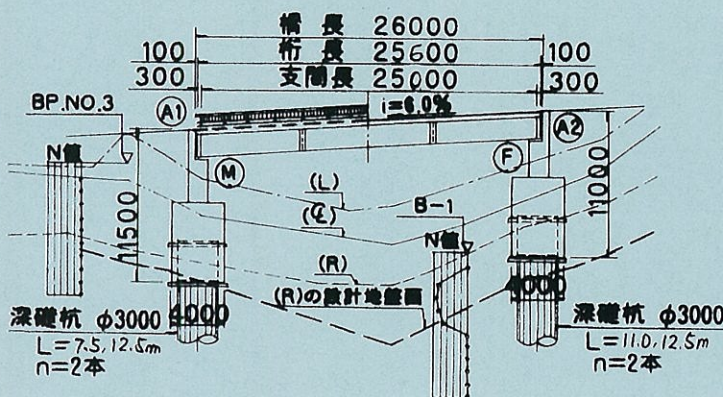
堀切 2 号橋

鋼単純鈑桁

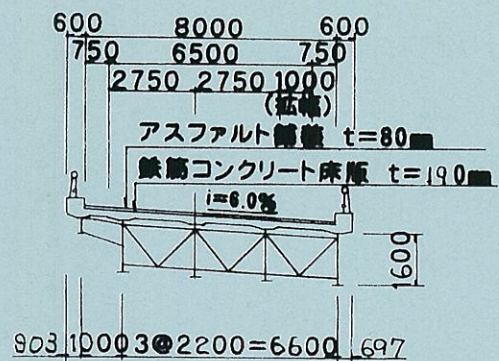


本橋は、一般県道 下郷・会津本郷線 大沼郡会津本郷町大字氷玉地内の峠部に架かる橋梁である。本橋は、平成13年度に下郷町と会津本郷町間の峠部の交通不能区間を解消する目的で施工したバイパス工事区間に位置している。本箇所は、冬季間の気象条件が厳しく、積雪量も多いことから、維持管理のメンテナンスを考慮して、耐候性鋼材を使用している。

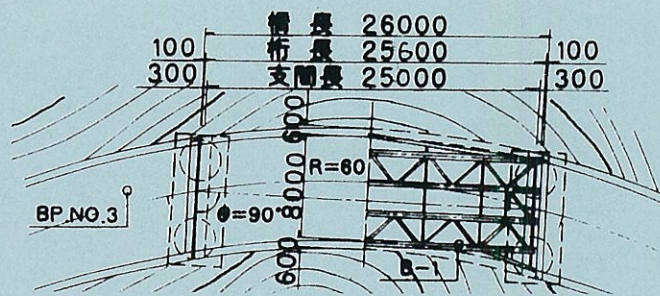
側面図



断面図



平面図



路線名	(一) 下郷・会津本郷線	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW
架設場所	大沼郡会津本郷町大字氷玉地内	鋼材(PC鋼材)量	54 t
河川名	—	架設工法	クレーン架設
橋長	26.000m	橋台形式	逆T式
支間割	25.000m	橋脚形式	—
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 0.75+2.75+3.75+0.75=8.0m	基礎工	A1 深礎杭(φ3000 L=7.5m・12.5m N=2.0本) A2 深礎杭(φ3000 L=11.0m・12.5m N=2.0本)
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	115
		上部工(百万)	53
		下部工(百万)	62

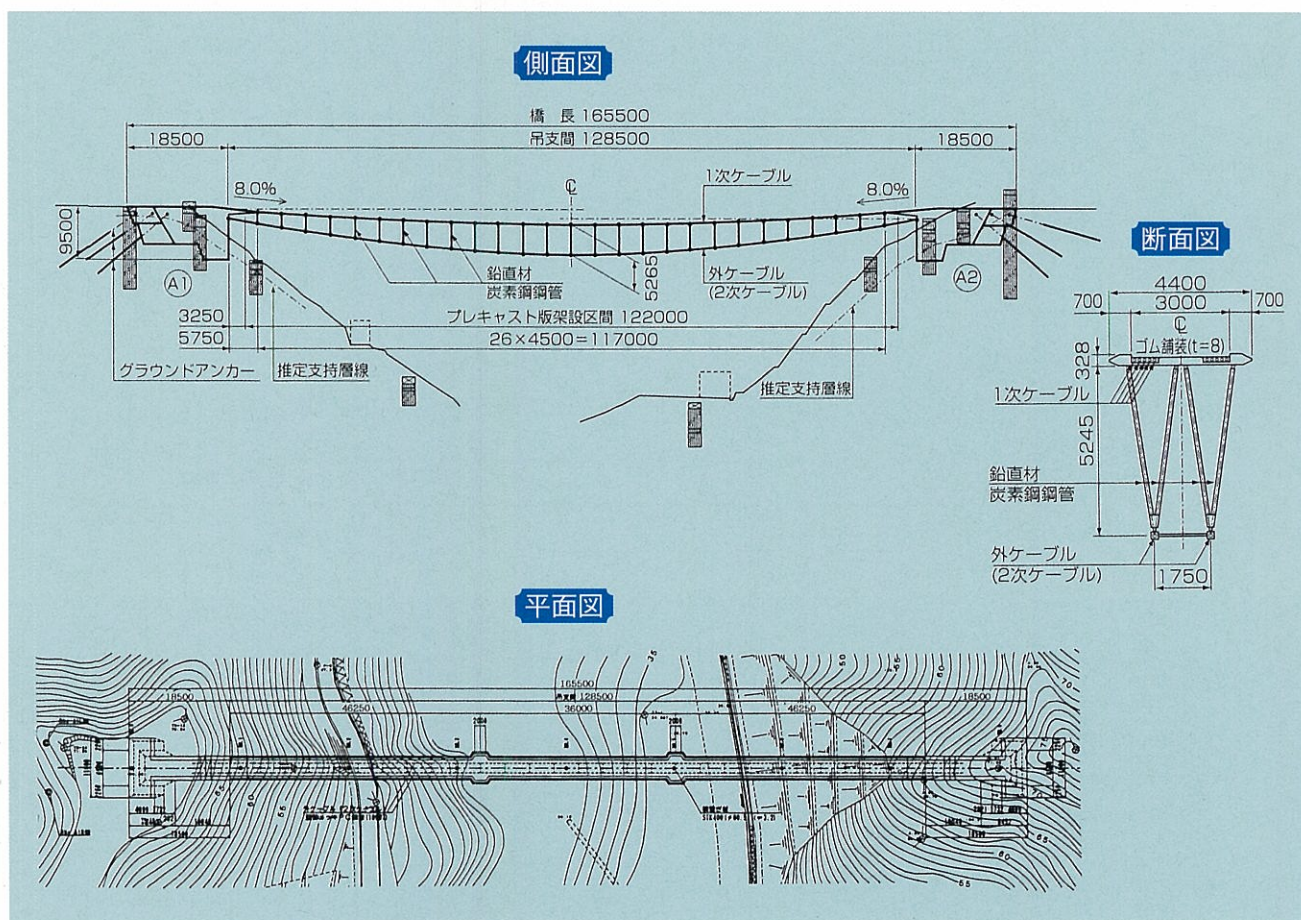
16

森のわくわく橋

外ケーブル併用吊床版橋



いわき公園は、いわきニュータウンの中央に位置する住宅地の中の71.3haの自然豊かな県立都市公園である。森のわくわく橋は、橋梁からの景観及び周囲の自然との調和に配慮した、吊床版の下側に外ケーブルを配置した珍しい橋梁であり、桁下条件の制約を受けずに施工することができる懸垂架設工法を採用した。

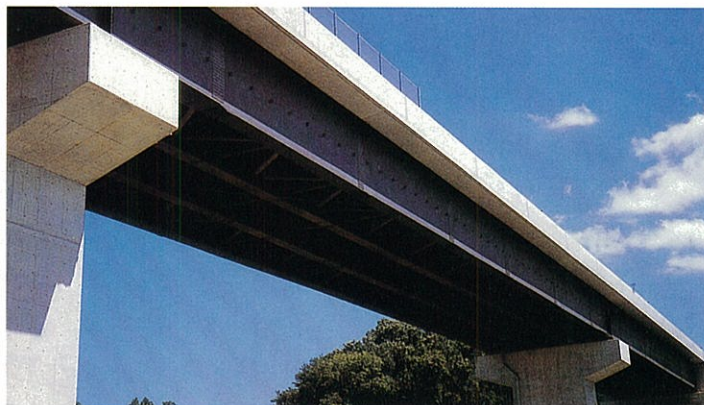


路 線 名	いわき公園			使用鋼(PC 鋼)材	1次ケーブル:PC鋼より線 (7S19.3)、外ケーブル:PC鋼棒 (109W7)				
架 設 場 所	いわき市上高久字大日作地内			鋼材(PC 鋼材)量	28,645kg				
河 川 名	—	流 量	—	架 設 工 法	懸垂架設工法				
橋 長	165.500m			橋 台 形 式	重力式橋台				
支 間 割	128.500m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	歩道＝全幅 0.7+3.0+0.7＝4.4m			基 礎 工	直接基礎（グラウンドアンカー併用）				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	2.0kN/m ²	総工事費(百万円)	294	上部工(百万)	193	下部工(百万)	101

17

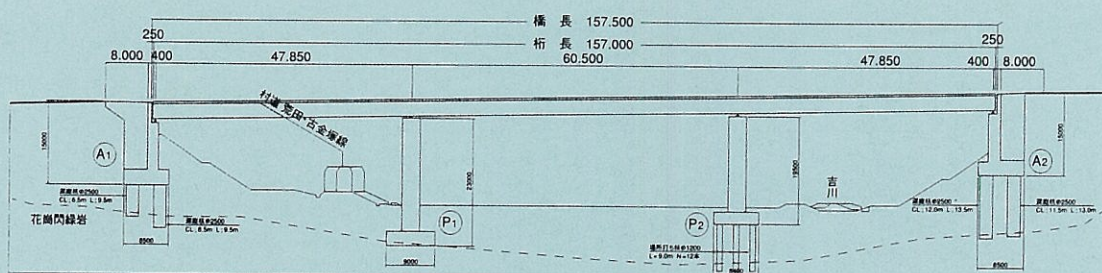
吉大橋

鋼3径間連続鈑桁

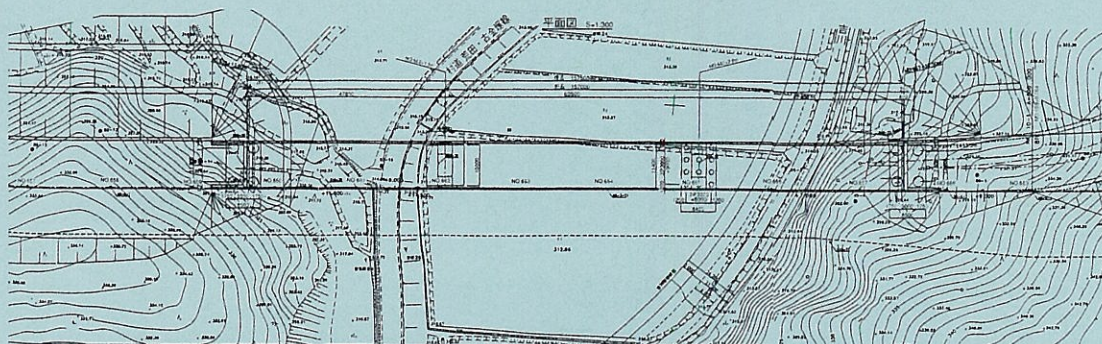


あぶくま高原道路の本線橋で、村道荒田・古金塚線、普通河川吉川を横断する橋梁である。耐候性鋼材を使用し、クローラークレーン+ベント工法により施工された。

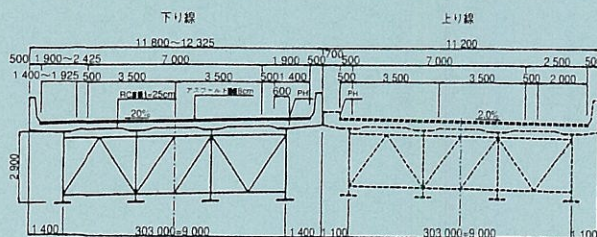
側面図



平面図



断面図



路線名	(主) 矢吹小野線	使用鋼(PC鋼)材	SMA490YA SM400 SS400
架設場所	石川郡玉川村大字吉地内	鋼材(PC鋼材)量	505 t
河川名	吉川	流量	15m³/sec
橋長	157.500m	架設工法	クローラークレーン+ベント工法
支間割	47.850+60.500+47.850m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.900+3.500+3.500+1.900=10.800m	橋脚形式	張出式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	603
		上部工(百万)	375
		下部工(百万)	228

平成14年度

完 成 橋 梁

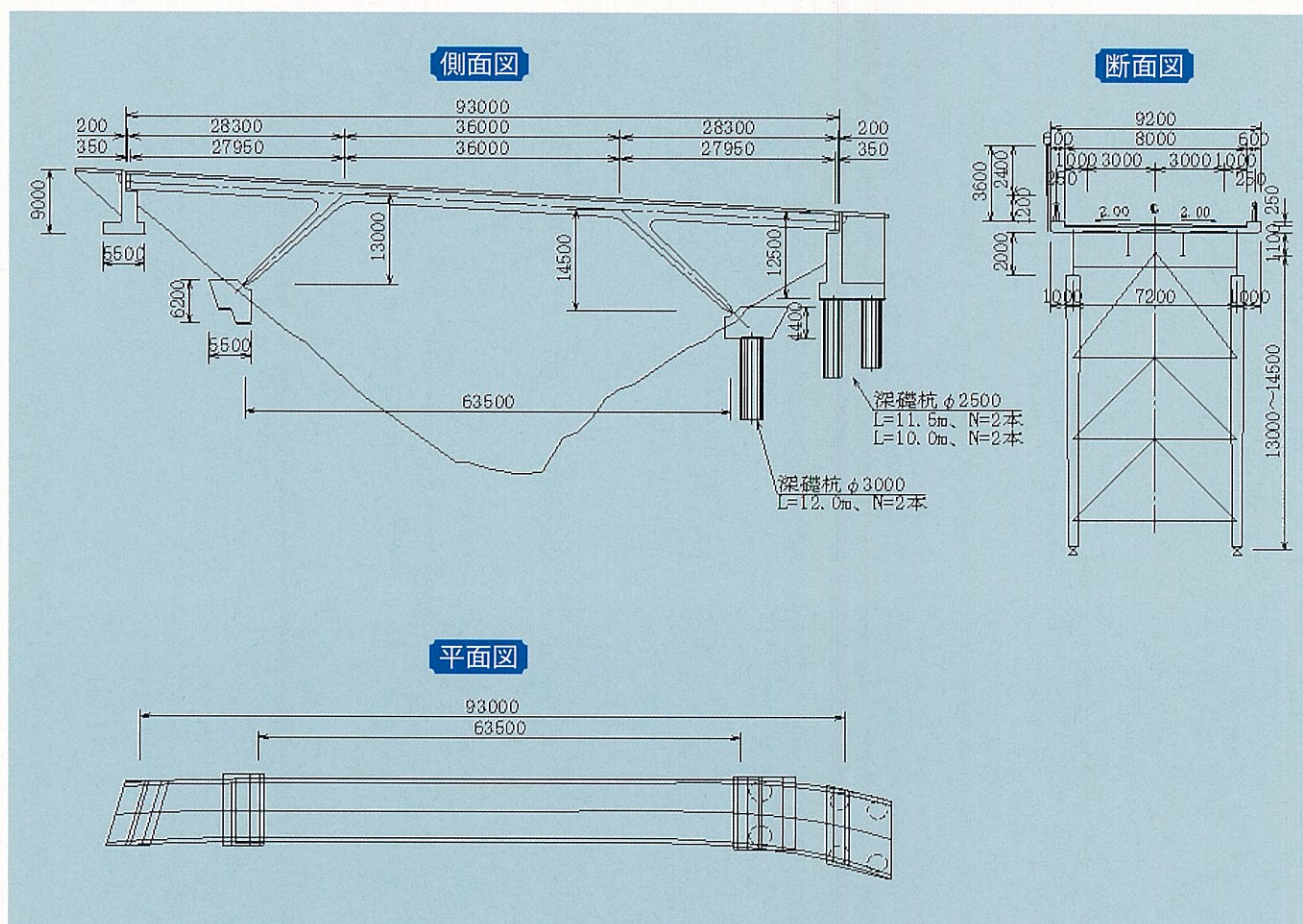
1

あいよし橋

鋼方杖ラーメン



本橋は、国道252号 南会津郡只見町大字田子倉地内に架かる鋼方杖ラーメン橋である。本箇所は、雪崩危険箇所であり、現道スノージェット案と橋梁による雪崩回避案を経済比較し、橋梁案を採用した。鋼材には耐候性鋼材を使用し、コスト縮減を図った。



路線名	国道252号	使用鋼(PC鋼)材	SMA570W、SMA490W、SMA400W
架設場所	南会津郡只見町大字田子倉地内	鋼材(PC鋼材)量	306 t
河川名	あいよし沢	流量	—
橋長	93.000m	架設工法	ケーブルクレーン架設
支間割	27.950+36.000+27.950m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.0+3.0+3.0+1.0=8.0m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	503
		上部工(百万円)	365
		下部工(百万円)	138

2

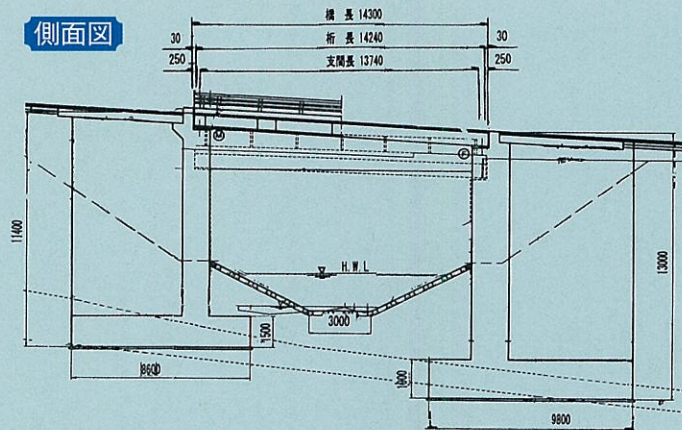
赤谷橋

PC単純プレテン床版桁

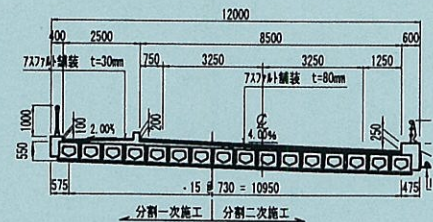


本橋は、国道400号 大沼郡三島町大字名入地内に架かる橋である。旧橋は、昭和44年に赤谷川に架設された橋梁であるが、幅員が狭小であるため、平成14年度に架け替えた。本箇所には、仮橋を架けるスペースが無く地域の生活道路で、通行止めが出来ないことから上・下部工を半断面ずつ施工して、車両の通行を確保できる上部工形式を選定した。

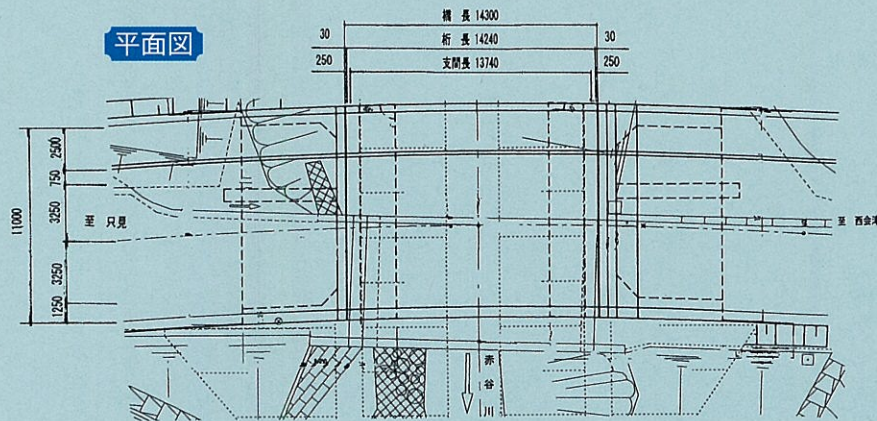
側面図



断面図



平面図



路線名	国道400号	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線(SWPR7BN) PC鋼より線(SBPR19N)
架設場所	大沼郡三島町大字名入地内	鋼材(PC鋼材)量	458kg
河川名	赤谷川	流量	84m ³ /sec
橋長	14.300m	架設工法	クレーン架設
支間割	1@13.740m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩=全幅 2.5+0.75+3.25+3.25+1.25=11.0m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	297
		上部工(百万)	32
		下部工(百万)	175

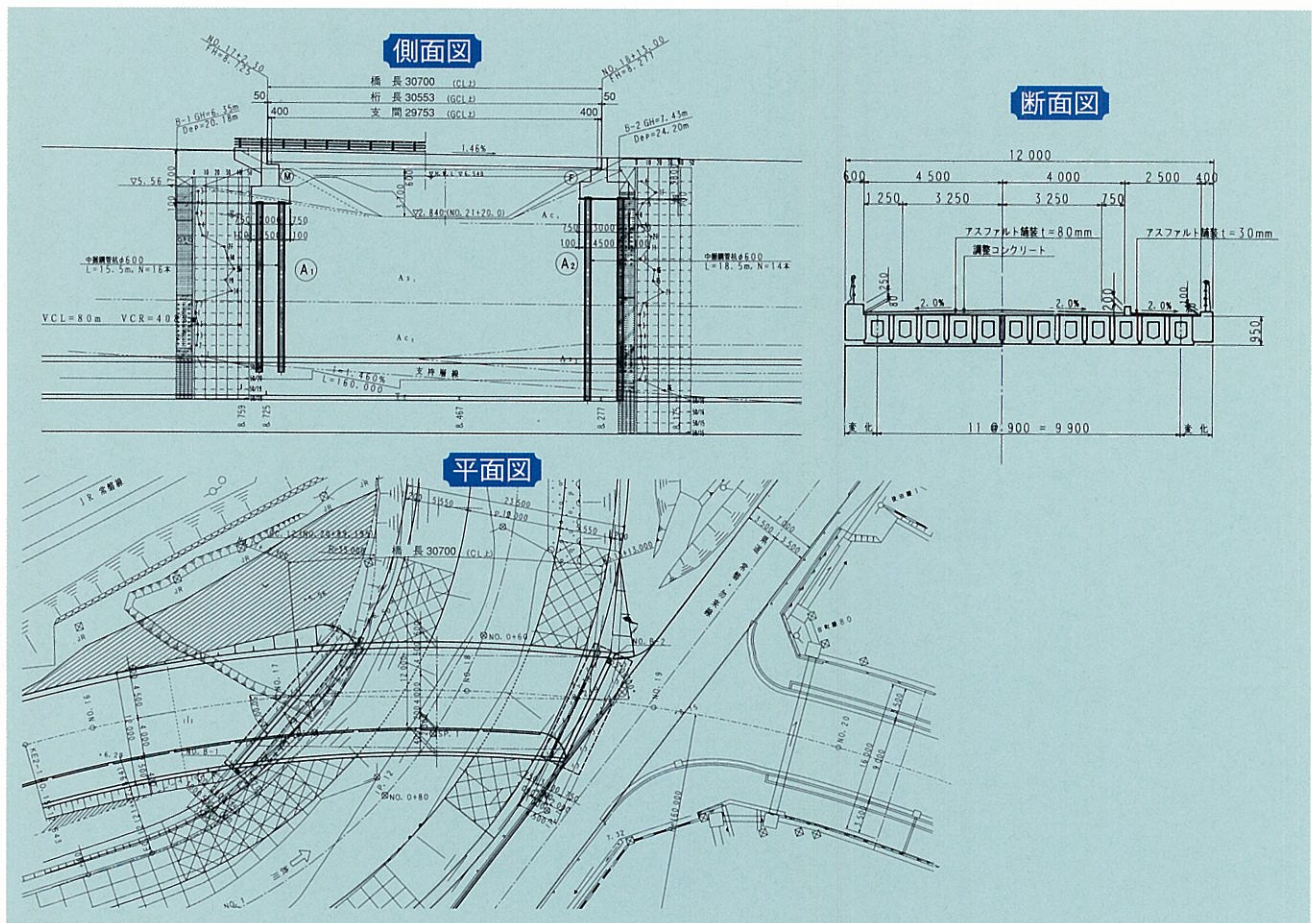
3

石塚橋

PC単純バイプレ中空床版桁



S34に架設された老朽橋の架け替えに伴い、屈曲した旧道の線形改良と拡幅も踏まえた付帯工を実施。工場製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により平成14年度に架け替えた。



路 線 名	(主) 常磐勿来線			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BL (12S12.7B) PC鋼棒 SBPR930/1080				
架 設 場 所	いわき市石塚町字宮前地内			鋼材(PC鋼材)量	17,337kg				
河 川 名	鮫川水系波川	流 量	170m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	30.700m			橋 台 形 式	逆T式				
支 間 割	29.753m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.25+3.25+3.25+0.75+2.5=11.0m			基 礎 工	A1 鋼管杭 φ600 L=15.5m N=16本				
					A2 鋼管杭 φ600 L=18.5m N=14本				
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	176	上部工(百万)	125	下部工(百万)	51

4

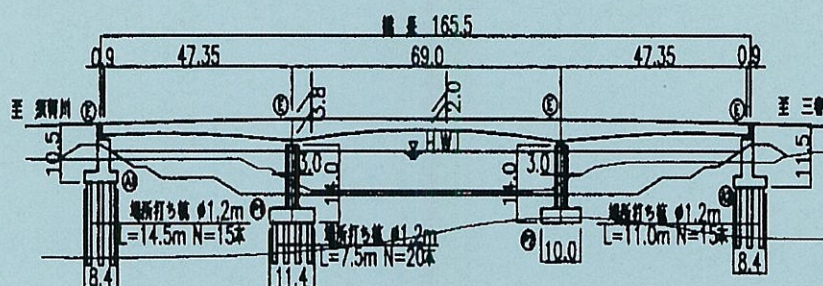
江 持 橋

PC 3 径間連続箱桁

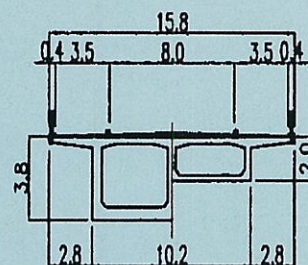


本橋は、(主) 須賀川三春線 須賀川市古館地内に架かる橋である。旧橋は昭和10年に架設された老朽橋であり、幅員狭小の解消を図るため平成11年から平成14年にかけて架け替えを行った。

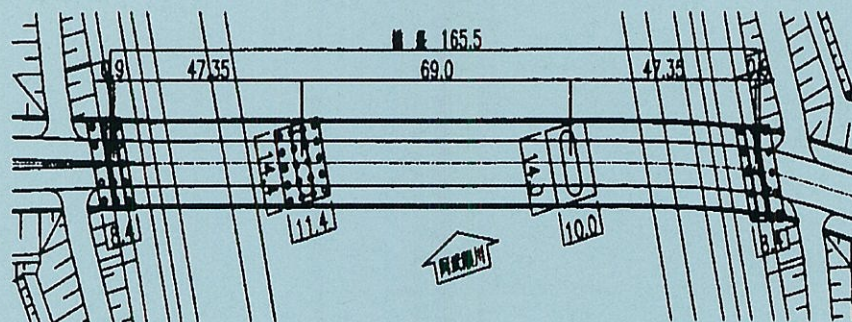
側面図



断面図



平面図



路 線 名	(主) 須賀川三春線			使用鋼(PC 鋼)材	鋼より線 SWPR7B12S12.7				
架 設 場 所	須賀川市古舘地内			鋼材(PC 鋼材)量	65,300kg				
河 川 名	阿武隈川	流 量	2,800m³/sec	架 設 工 法	張出架設				
橋 長	165.500m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	47.350+69.000+47.350m			橋 脚 形 式	小判型壁式				
幅 員 構 成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.50+0.75+3.25+3.25+0.75+3.50=15.00m			基 礎 工	A1、P1、A2 場所打杭 φ 1200 L=7.5~14.5m N=15~20本 P2 直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	1,180	上部工(百万)	895	下部工(百万)	285

5

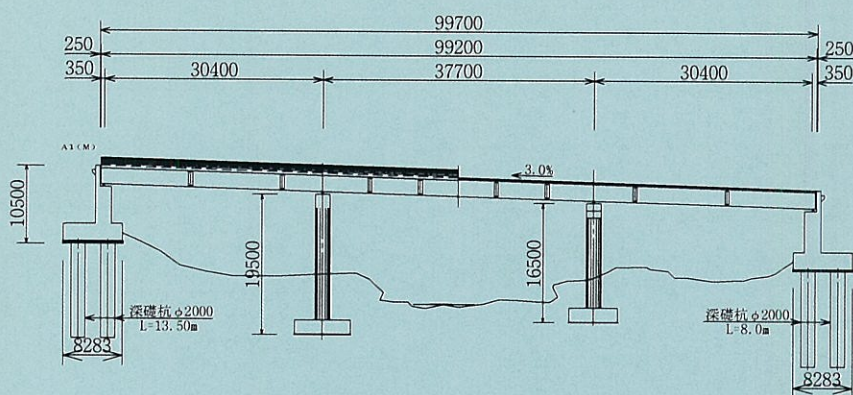
大三本橋

鋼3径間連続鈑桁

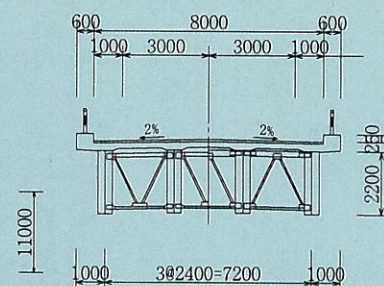


本箇所は自然公園内の山間部に位置しているので、景観と維持管理を考慮して、耐候性鋼材を用いた簡素な形式とした。

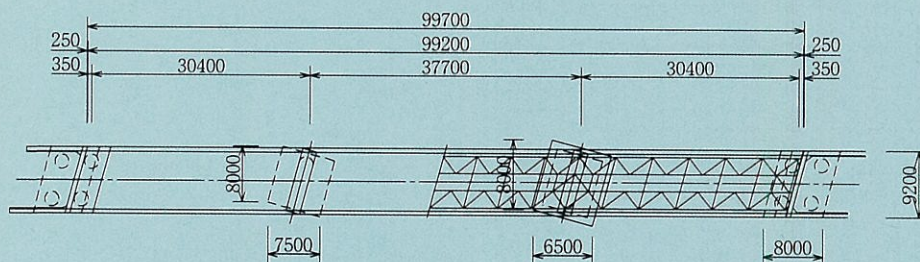
側面図



断面図



平面図



路線名	国道289号	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW SMA490BW SMA400AW
架設場所	南会津郡只見町大字叶津地内	鋼材(PC鋼材)量	215 t
河川名	大三本沢	流量	130m³/sec
橋長	99.700m	架設工法	トラッククレーン
支間割	30.400+37.700+30.400m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.0+3.0+3.0+1.0=8.0m	橋脚形式	小判型壁式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	324
		上部工(百万)	183
		下部工(百万)	141

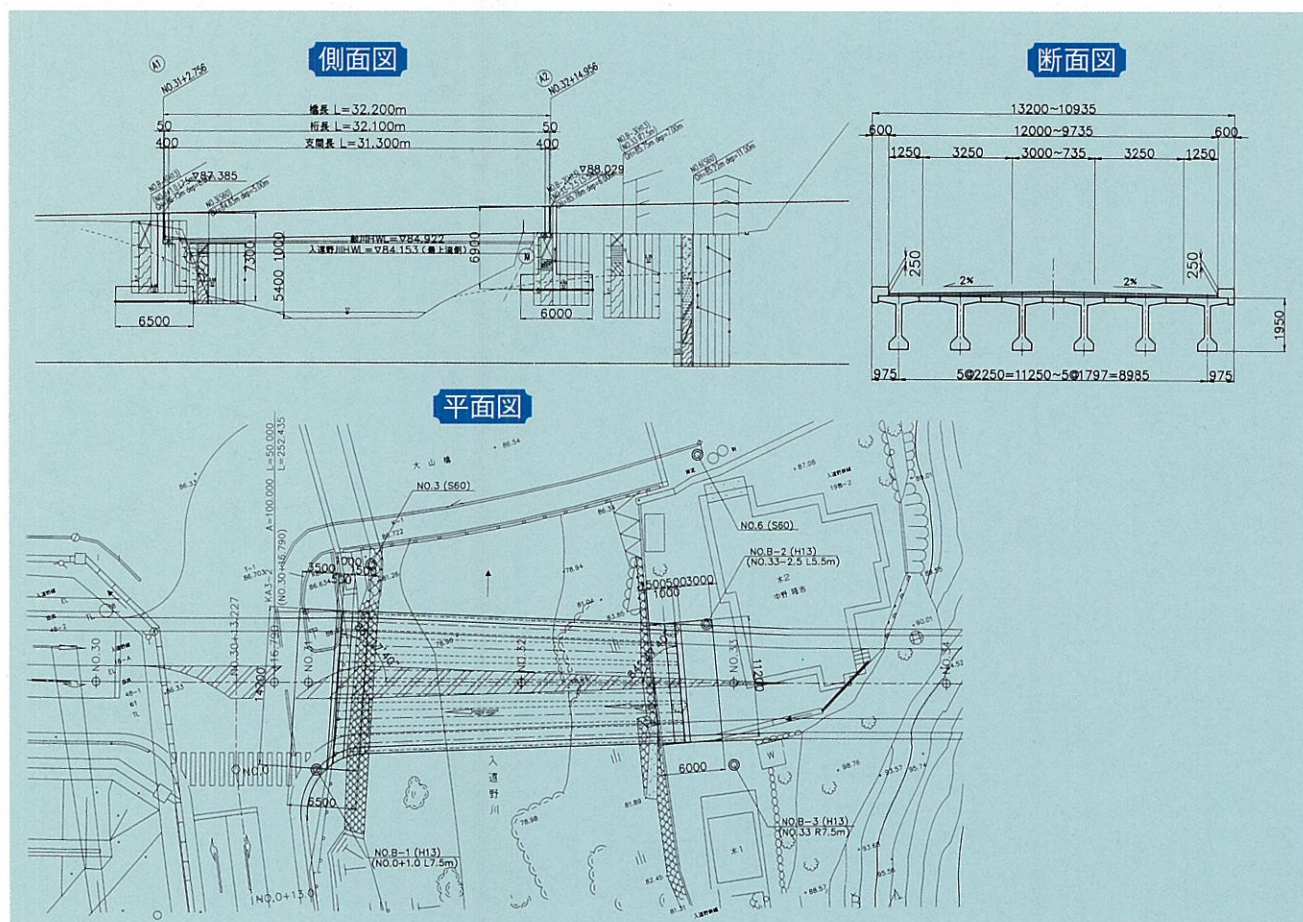
6

大山橋

PC単純ポステンT桁



本橋はいわき石川線 遠野町根岸字皿貝地内に架かる橋梁である。現道が幅員狭小で屈曲部が多いことから道路付替に伴い平成14年に施工したものである。

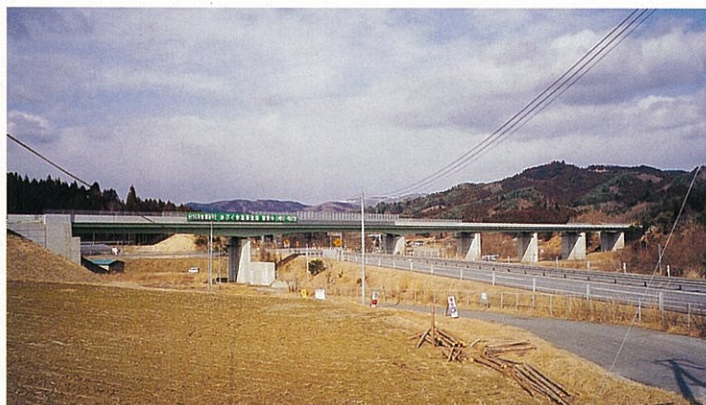


路線名	(主) いわき石川線	使用鋼(PC鋼)材	12S12.7 (SWPR7B)、1S21.8 (SWPR19)
架設場所	いわき市遠野町根岸字皿貝地内	鋼材(PC鋼材)量	7,100kg
河川名	上遠野川	流量	700m³/sec
橋長	32.200m	架設工法	トラッククレーン架設
支間割	31.300m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.25+3.25+3.25+1.25=9.00m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	122
		上部工(百万円)	82
		下部工(百万円)	40

7

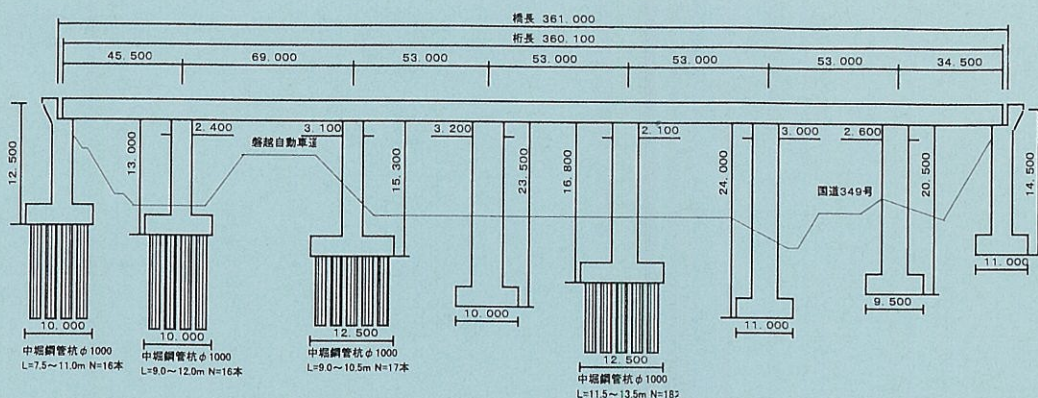
小戸神橋

鋼 7 径間連続箱桁

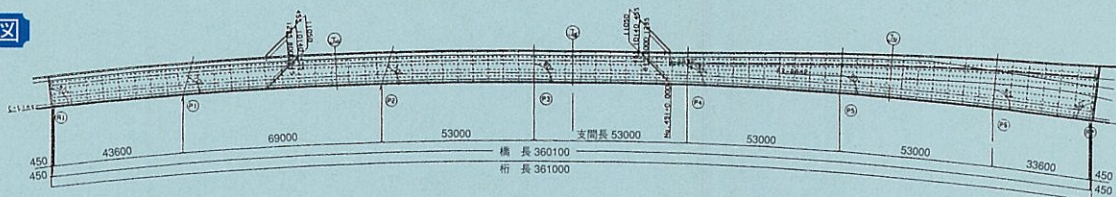


磐越自動車道と国道349号を跨ぐ橋梁で、磐越自動車上の桁下空間が狭いことから、福島県景観アドバイザーによる意見をもとに、環境色に近い圧迫感のない色彩を採用した。磐越自動車道上の架設は、短時間架設が可能な550 tトラッククレーンによる一括架設工法を採用した。

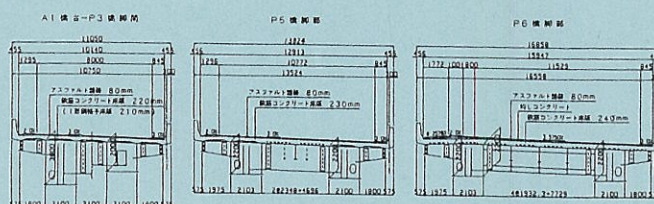
側面図



平面図



断面図



路線名	(主) 矢吹小野線	使用鋼(PC鋼)材	SM490Y SM400 SS400
架設場所	田村郡小野町大字小戸神地内	鋼材(PC鋼材)量	1,387 t
河川名	—	架設工法	トラッククレーン+ベント工法
橋長	361.000m	橋台形式	逆T式
支間割	44.600+69.000+4@53.000+33.600m	橋脚形式	壁式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.570+3.500+3.500+1.570=10.140m	基礎工	A1、P1、P2、P4 鋼管杭 φ1000 L=7.5~13.5m N=16~18本 P3、P5、P6、A2 直接基礎
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	1,992
		上部工(百万)	1,316
		下部工(百万)	676

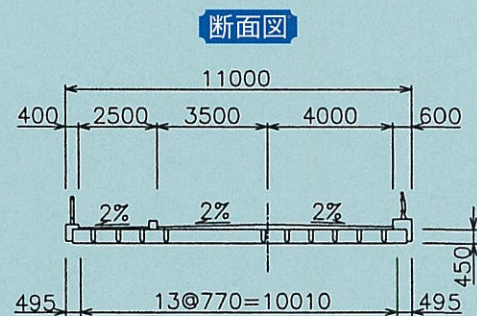
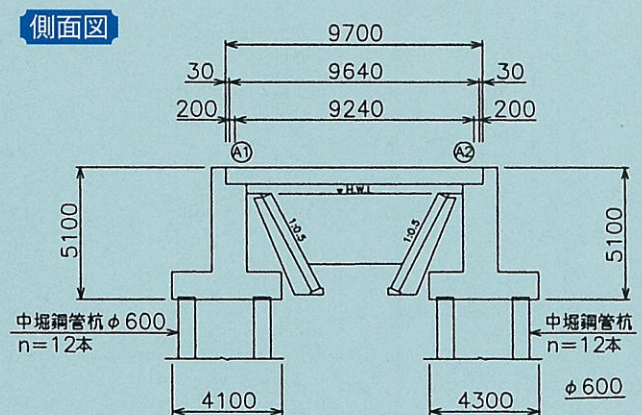
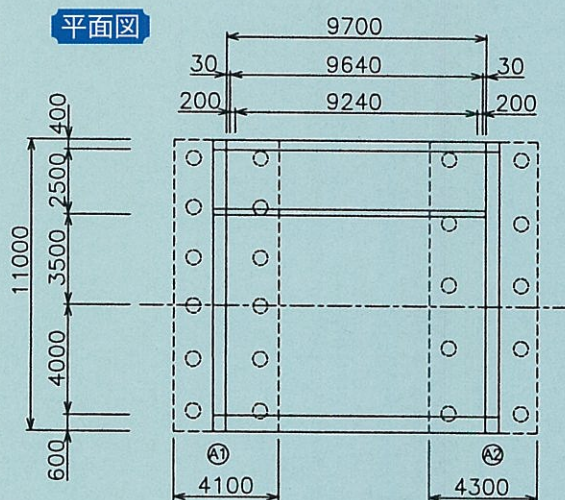
8

表 橋

PC単純プレテン床版桁



鯉川の河川改修に伴い架け替えた橋梁である。

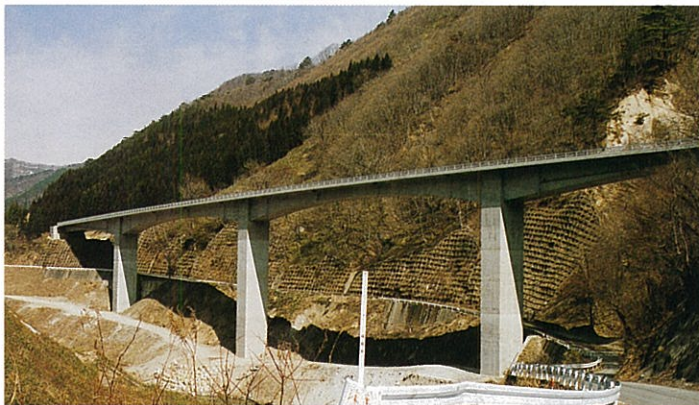


路 線 名	(一) 安達太良山線			使用鋼(PC 鋼) 材	SWPR19 (1S17.8)				
架 設 場 所	二本松市竹田地内			鋼材(PC 鋼材) 量	210kg				
河 川 名	鯉川	流 量	38m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設工法				
橋 長	9.700m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	9.240m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	歩道＋路肩＋車道＋車道＋路肩＝全幅 2.5＋0.5＋3.0＋3.0＋1.0＝10.0m			基 礎 工	A1：鋼管杭 φ 600 N＝12本 A2：鋼管杭 φ 600 N＝12本				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	57	上部工(百万)	17	下部工(百万)	40

9

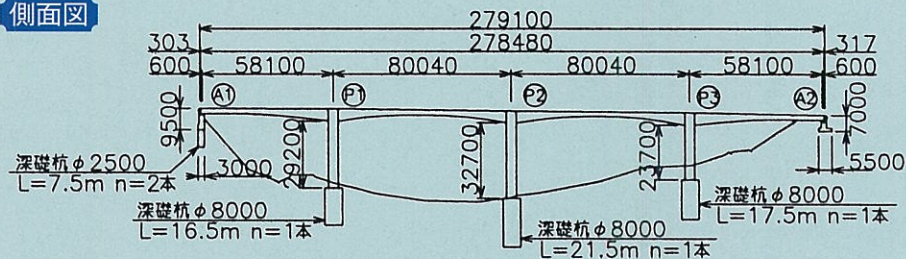
カラブ沢橋

PC 4 径間連続ラーメン箱桁

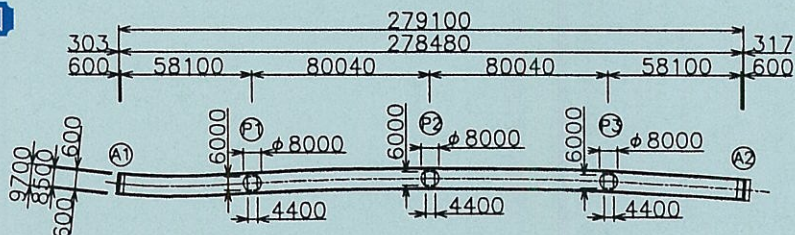


本橋は、摺上川ダム建設事業による国道399号茂庭バイパスにかかる橋で全体計画区間内で2番目に長い橋梁である。上部工主桁PCケーブルは、ウェブ及び上床版コンクリート内に設置する内ケーブルと箱桁内部に配置した外ケーブルを併用し、死荷重を軽減し、コスト縮減を図った。

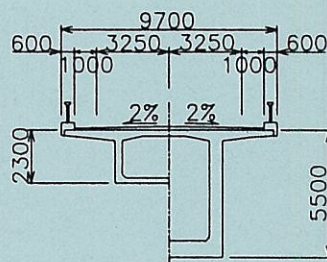
側面図



平面図



断面図



路線名	国道399号	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BL (12S12.7B) SWPR7B (19S15.2B) SWPR19L (1S21.8)
架設場所	福島市飯坂町茂庭地内	鋼材(PC鋼材)量	PC鋼より線94,948kg PC鋼棒(φ32) 34,912kg
河川名	摺上川	流量	—
橋長	279.100m	架設工法	場所打ち張出し架設工法
支間割	58.100+80.040+80.040+58.100m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.0+3.25+3.25+1.0=8.5m	橋脚形式	壁式
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		基礎工	A1: 深礎杭 φ2,500 L=7.5m 2本 A2: 直接基礎 P1P2P3: 深礎杭 φ8,000 L=16.5m~21.5m
		総工事費(百万円)	1,625
		上部工(百万)	1,043
		下部工(百万)	582

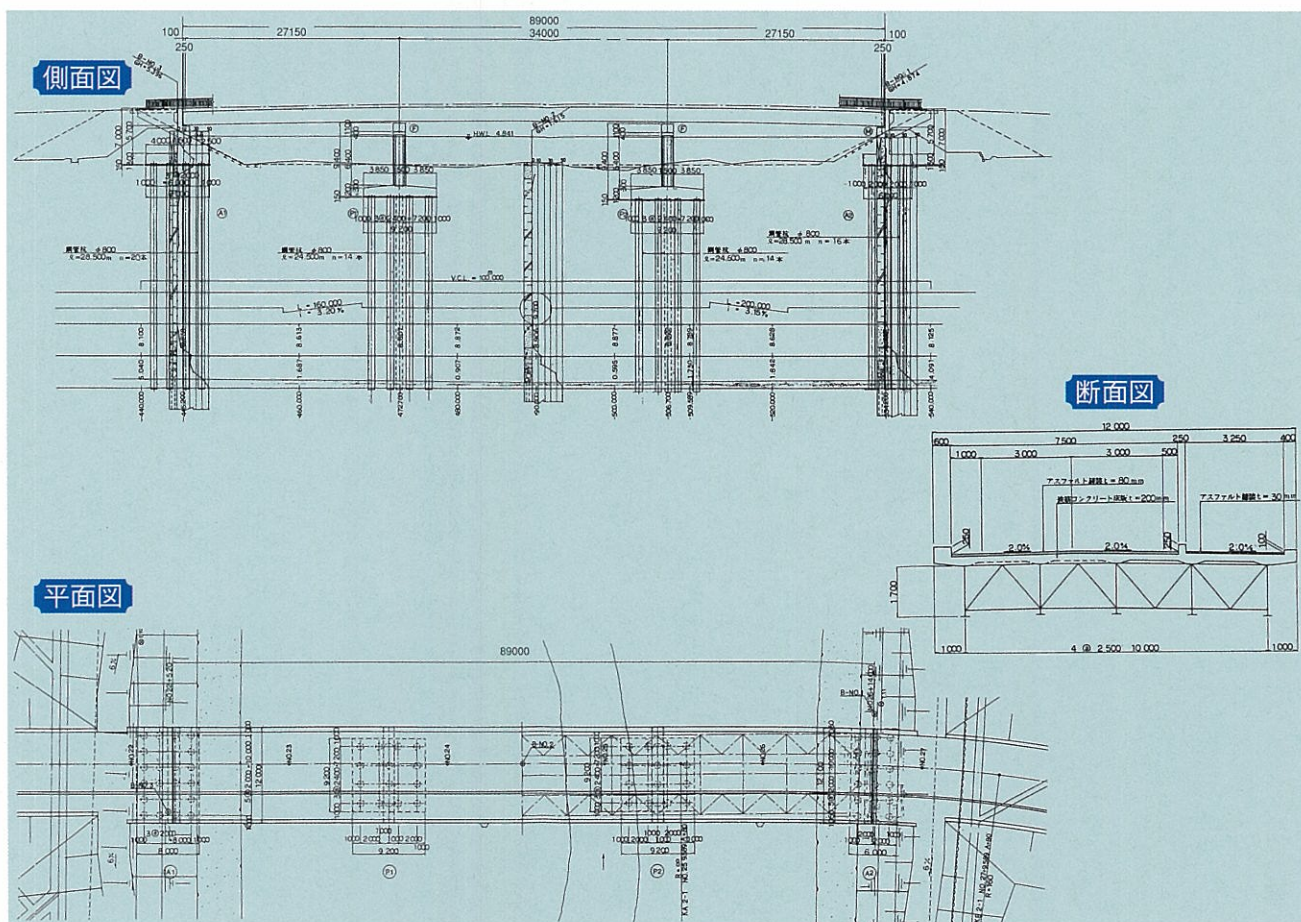
10

甲子橋

鋼3径間連続鈑桁



本橋は、一般県道北泉小高線 小高町大井地内バイパス部に架かる橋である。鋼材に耐候性鋼材を使用し、コスト削減を図った。



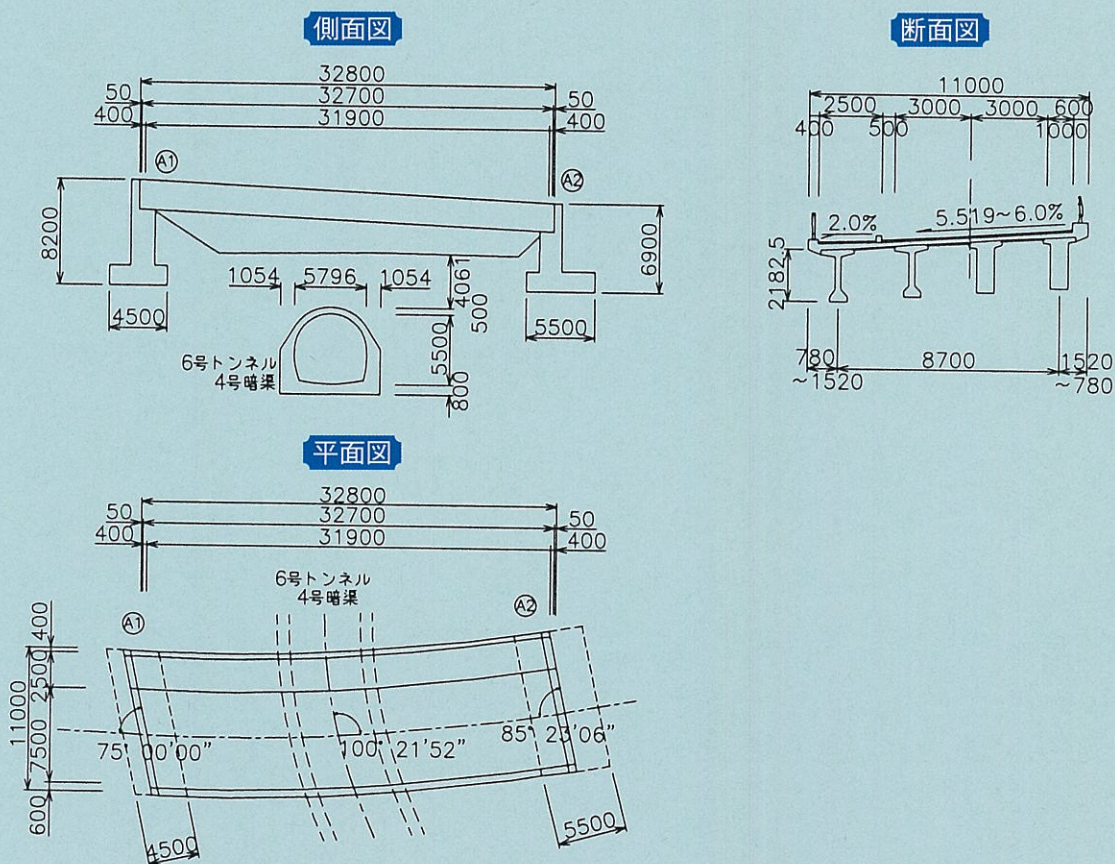
路線名	(一) 北泉小高線	使用鋼(PC鋼)材	SS400、SM400A、SM490Y
架設場所	相馬郡小高町大井地内	鋼材(PC鋼材)量	142 t
河川名	小高川	架設工法	トラッククレーン架設
橋長	89.000m	橋台形式	逆T式
支間割	27.500+34.000+27.500m	橋脚形式	小判型壁式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.0+3.0+3.0+0.5+3.5=11.0m	基礎工	鋼管杭 φ800 L=24.5~28.5m N=14~20本
適用示方書	平成6年2月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	216
		上部工(百万)	132
		下部工(百万)	84

小 畑 橋

PC単純コンポスラブ析



橋梁部線形はクロソイド曲線区間で、縦断勾配4.8%、横断勾配5.5~6.0%と変化しており、床版にて変化させるためPCコンポスラブ橋にて対応した橋梁。コンポスラブ橋ということで、プレキャスト工法、少数主桁構造、合成床版構造などの採用により建設コストの縮減を図る。



路 線 名	(一) 大沢・広表線			使用鋼(PC 鋼)材	SWPR7BN 12S12.7mm・SWPR19N1S19.3mm				
架 設 場 所	福島市立子山字小畑地内			鋼材(PC 鋼材)量	6,220kg				
河 川 名	東北電力導水管	流 量	—	架 設 工 法	トラッククレーン＋架設桁架設				
橋 長	32.800m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	31.900m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	歩道＋路肩＋車道＋車道＋路肩＝全幅 2.50＋0.50＋3.00＋3.00＋1.00＝10.00m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成14年 3 月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	107	上部工(百万)	79	下部工(百万)	28

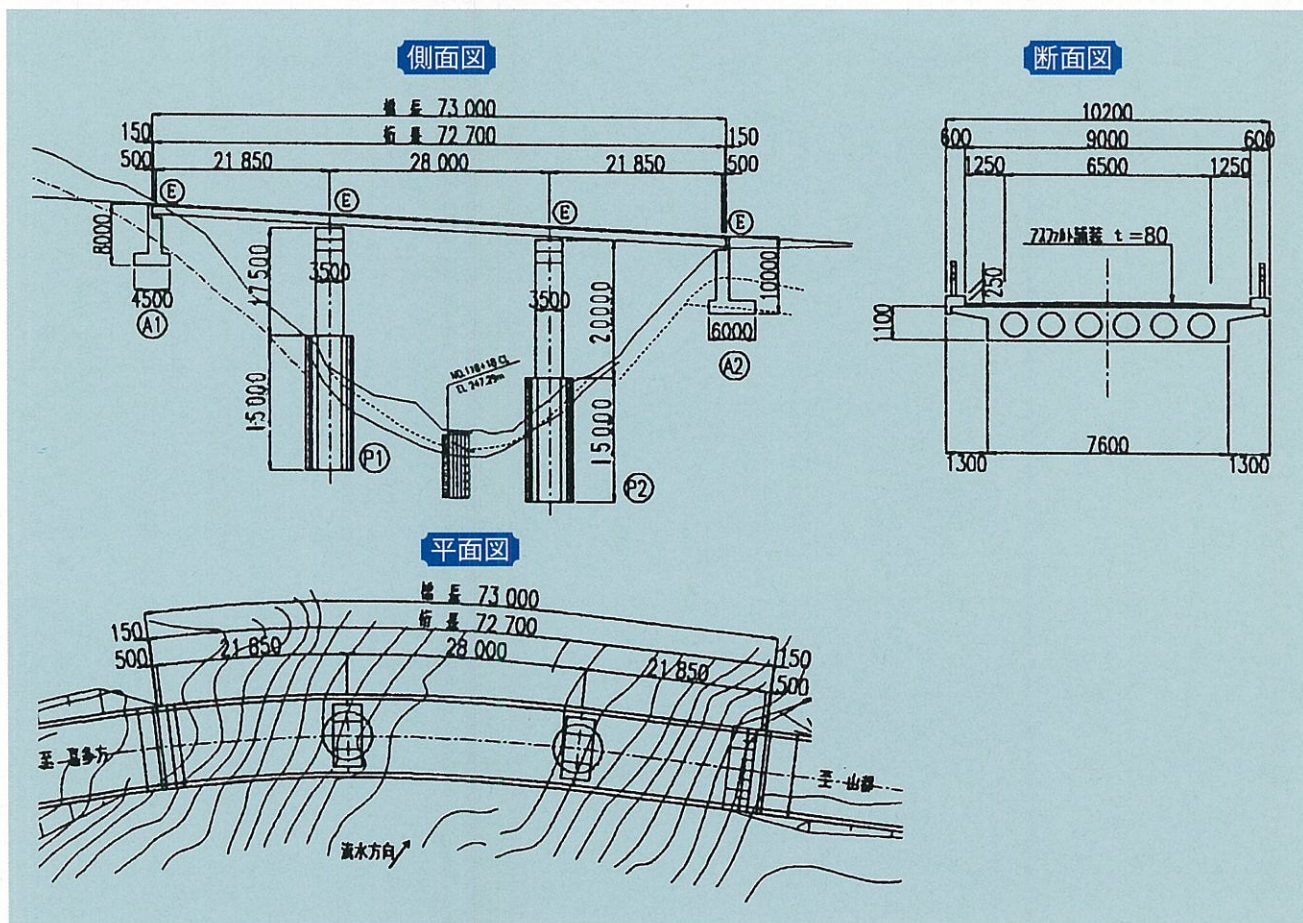
12

小松原橋

PC 3 径間連続中空床版桁



冬期通行不能区間の解消と線形不良及び狭隘区間の解消を目的とした、国道459号見頃バイパスの橋梁であり、山岳部橋梁である。橋梁部上空に高圧送電線があるため固定支保工架設により施工した。曲線橋であること、中空床版のため比較的桁高が小さいことから周辺自然環境に溶け込んでいる。



路線名	国道459号	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7B (12S12.7)
架設場所	喜多方市上三宮町吉川字南焼山地内	鋼材(PC鋼材)量	14,831kg
河川名	—	架設工法	固定支保工架設
橋長	73.000m	橋台形式	逆T式
支間割	21.850+28.000+21.850m	橋脚形式	壁式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.25+3.25+3.25+1.25=9.00m	基礎工	A1、A2、直接基礎 P1、P2、深礎基礎 φ 6,000 L=15.0m
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重
		総工事費(百万円)	323
		上部工(百万円)	189
		下部工(百万円)	134

13

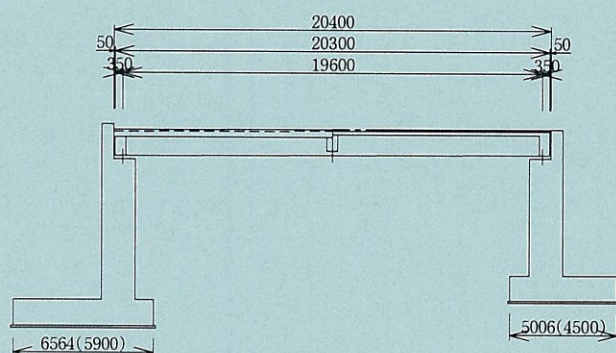
さくら橋

PC単純プレテンT桁

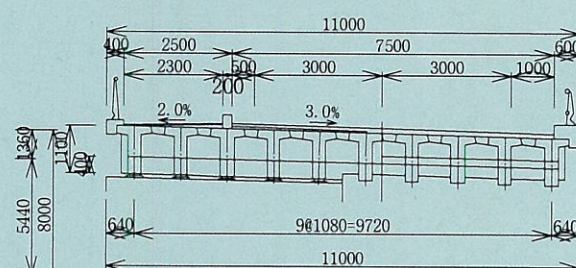


本橋は、国道401号のバイパス工事に伴い白沢川に架設されたプレテンション方式PC単純T桁橋である。ほ場整備事業との調整費により平成14年度に設計・施工を行った。

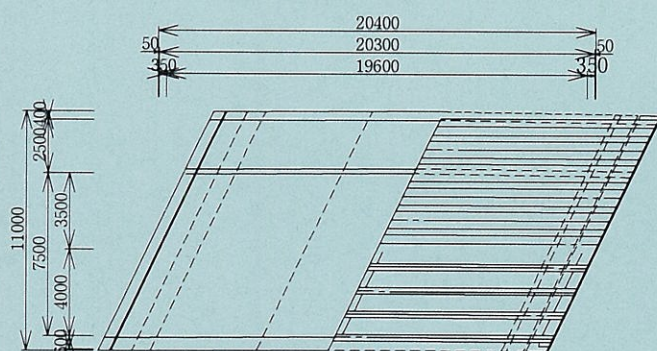
側面図



断面図



平面図



路線名	国道401号	使用鋼(PC鋼)材	SWPR7BN
架設場所	南会津郡伊南村大字白沢地内	鋼材(PC鋼材)量	5,427kg
河川名	白沢川	流量	80m³/sec
橋長	20.400m	架設工法	自走クレーン車
支間割	19.600m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩=全幅 2.5+0.5+3.0+3.0+1.0=10.0m	橋脚形式	—
適用示方書	平成14年3月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	36
		上部工(百万円)	21
		下部工(百万円)	15

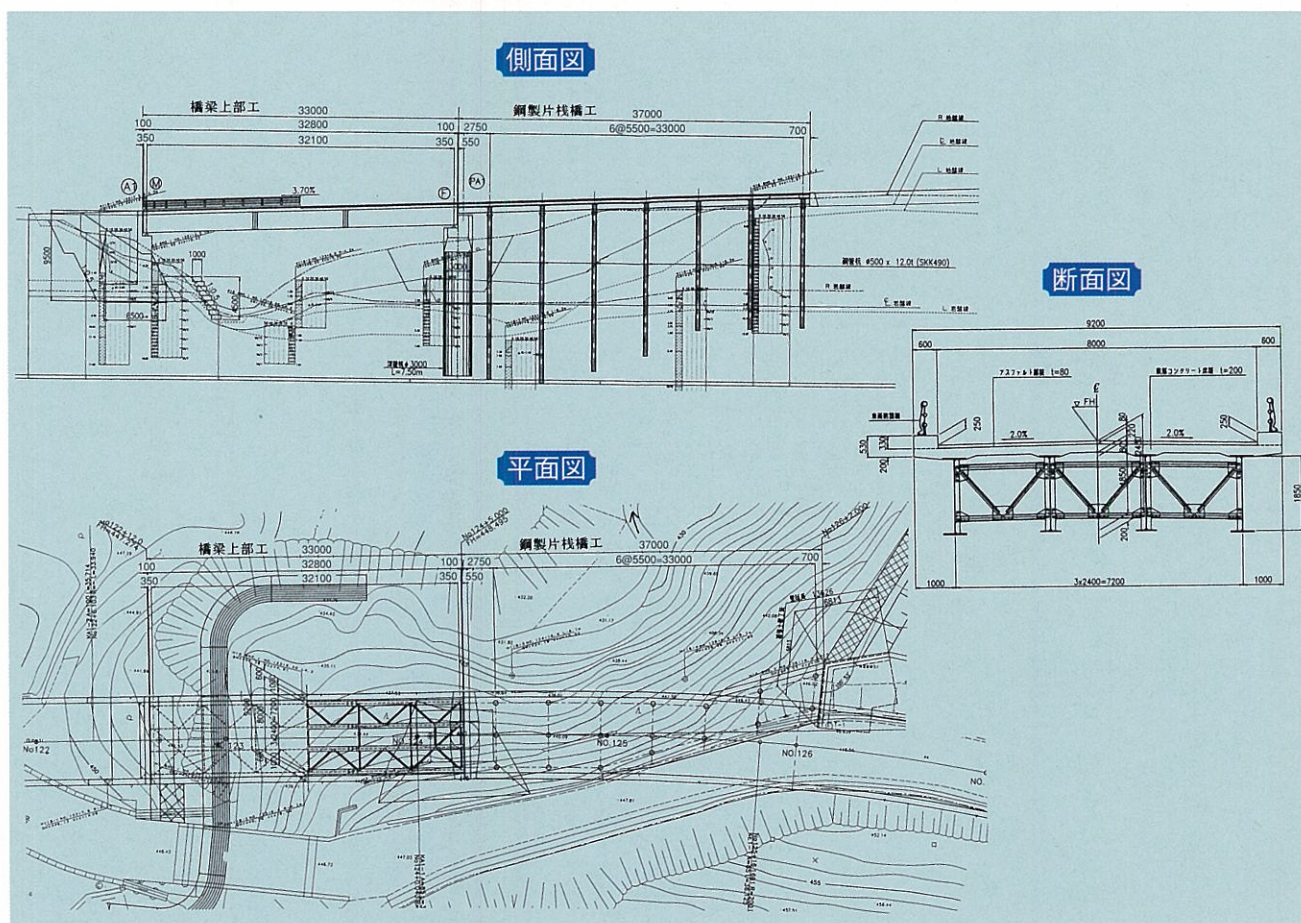
14

新閤魔沢橋

鋼単純鈑桁



本橋は、国道294号 長沼町大字江花地内閤魔沢上に架かる橋である。狭隘部の解消を図るため、平成14年度に架け替えた。鋼材は耐候性鋼材を使用することにより、維持管理費の縮減を図った。



路線名	国道294号	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW、SMA490BW
架設場所	長沼町大字江花地内	鋼材(PC鋼材)量	71 t
河川名	閤魔沢	架設工法	トラッククレーン架設
橋長	33.000m	橋台形式	逆T式
支間割	32.100m	橋脚形式	円柱式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.0+3.0+3.0+1.0=8.0m	基礎工	A1 直接基礎 PA1 深礎杭 φ3000mm L=7.5m
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	122
		上部工(百万円)	75
		下部工(百万円)	47

15

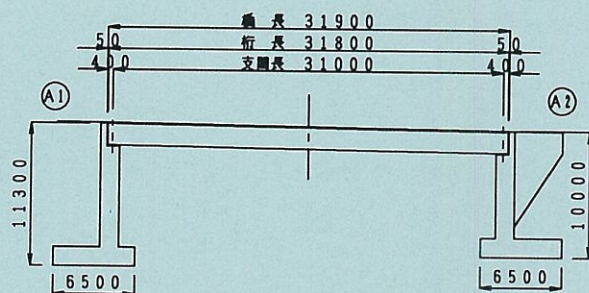
新作沢橋

PC単純ブロックポステンT桁

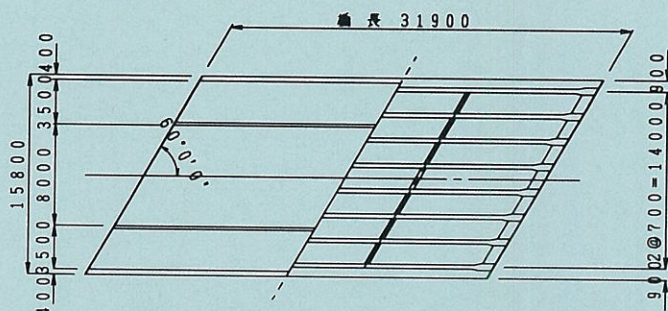


本橋は、国道399号 いわき市小川町上小川字作り沢地内の下田川に架かる橋である。幅員狭小現道部の解消を目的とする国道改築事業（中島工区）により、平成14年度に架設した。桁は、品質向上、コスト削減を図るため、工場製作によるプレキャストブロックポステンT桁（セグメント方式）によるものとした。

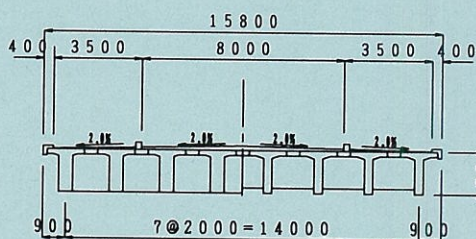
側面図



平面図



断面図



路 線 名	国道399号			使用鋼(PC 鋼)材	SWPR7B (12S12.7)				
架 設 場 所	いわき市小川町上小川作り沢地内			鋼材(PC 鋼材)量	9,373kg				
河 川 名	下田川	流 量	35m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	31.900m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	31.000m			橋 脚 形 式	—				
幅 員 構 成	歩道＋路肩＋車道＋車道＋路肩＋歩道＝全幅 3.5＋0.75＋3.25＋3.25＋0.75＋3.5＝15.0m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	176	上部工(百万)	98	下部工(百万)	78

16

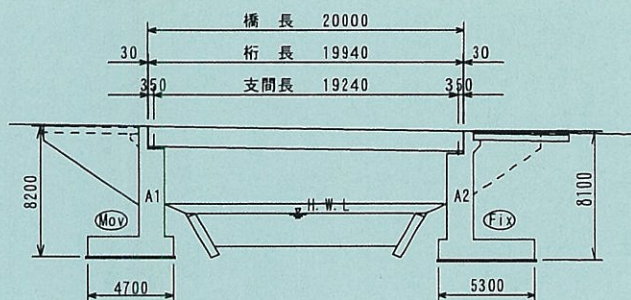
新滝川橋

PC単純プレテンT桁

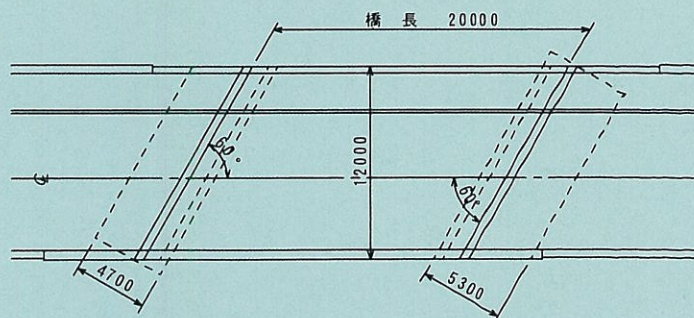


国道349号 大ぬかりバイパスの本線橋である。工場製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。経済性及び施工性に優れ、安定した品質を確保できることが特徴であり数多くの実績がある。

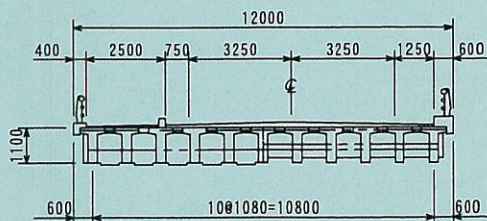
側面図



平面図



断面図



路線名	国道349号	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR19L (1S21.8)
架設場所	東白川郡矢祭町大字大ぬかり地内	鋼材(PC鋼材)量	1,672kg
河川名	—	架設工法	トラッククレーン架設
橋長	20.000m	橋台形式	逆T式
支間割	19.240m	橋脚形式	—
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩=全幅 2.5+0.75+3.25+3.25+1.25=11.00m	基礎工	直接基礎
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	76
		上部工(百万円)	44
		下部工(百万円)	32

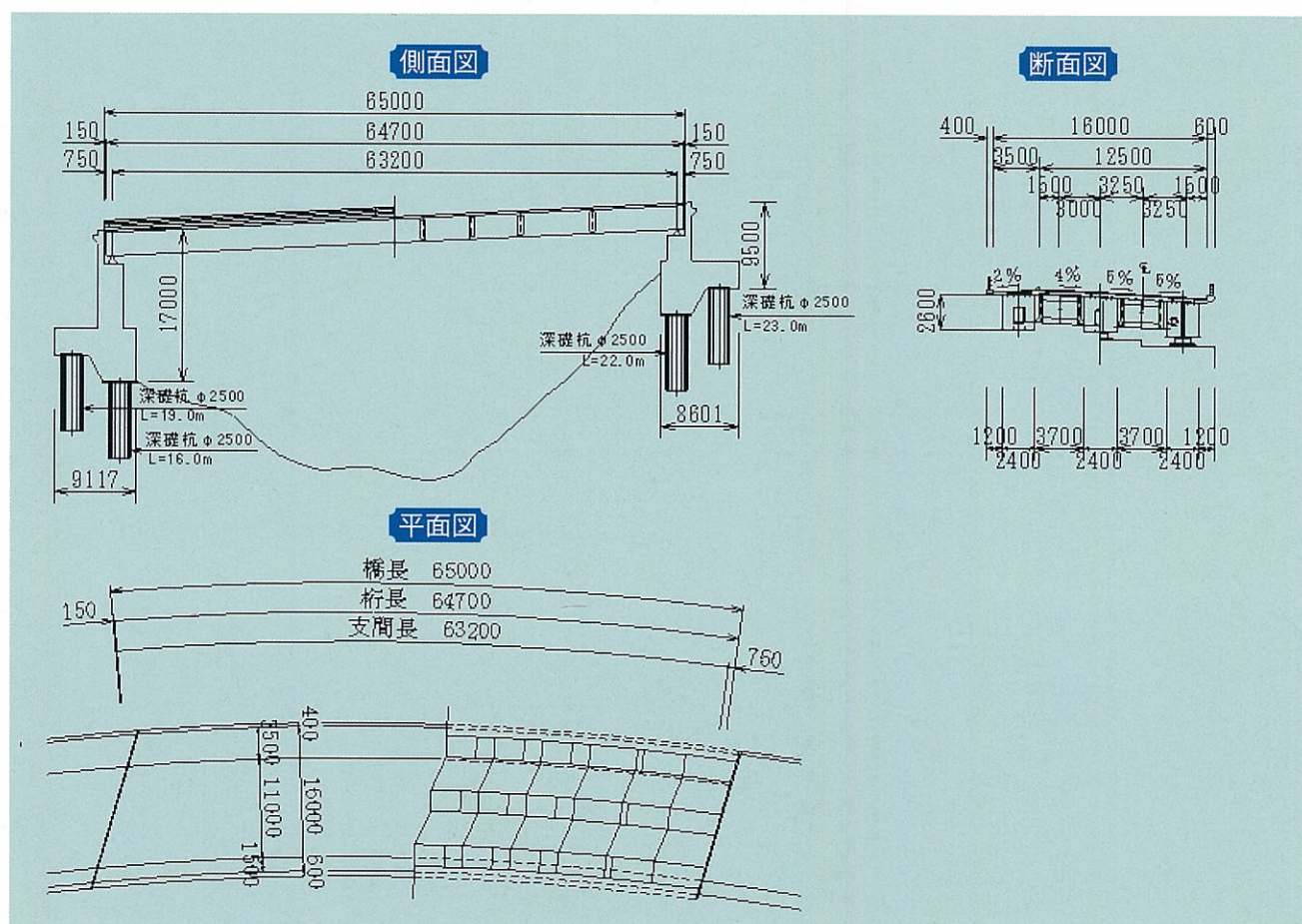
17

新東開橋

鋼単純箱桁



本橋は国道289号 南会津郡下郷町大字南倉沢地内の小谷川橋に架かる単純鋼箱桁橋である。本箇所は山岳部に位置するため、景観と維持管理を考慮して、耐候性鋼材を用いた。



路線名	国道289号	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW、SMA490BW、SMA490CW
架設場所	南会津郡下郷町大字南倉沢地内	鋼材(PC鋼材)量	578 t
河川名	小谷川	流量	80m³/sec
橋長	65.000m	架設工法	ベント併用トラッククレーン架設
支間割	63.200m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+車道+路肩=全幅 3.5+1.5+3.0+3.25+3.25+1.5=16.0m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	947
		上部工(百万円)	556
		下部工(百万円)	391

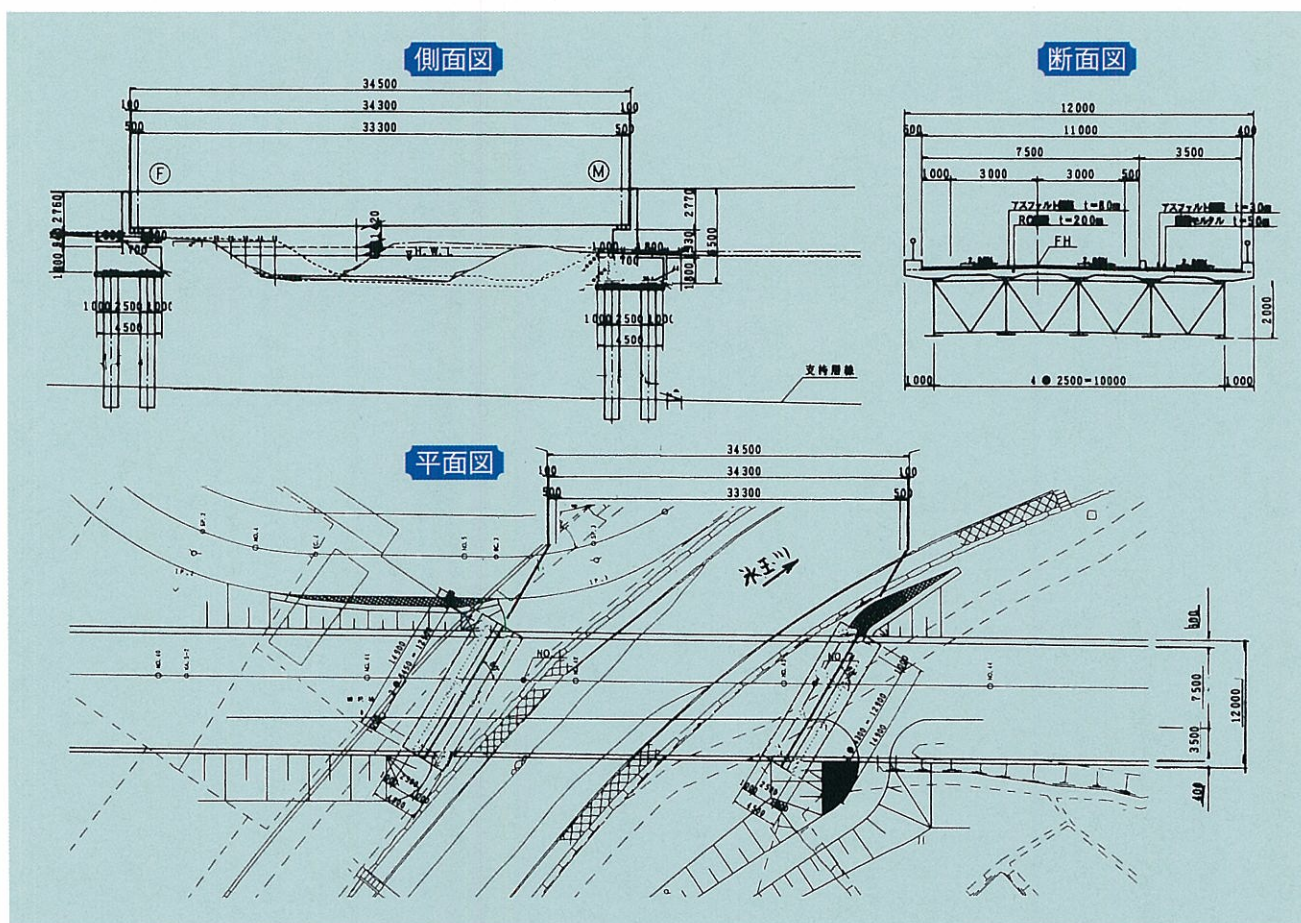
18

新 福 永 橋

鋼単純鈑桁



本橋は、一般県道 下郷・会津本郷線 大沼郡会津本郷町大字氷玉字福永地内のバイパス工事に伴い、平成14年度に、一級河川氷玉川の交差部に架設した橋梁である。上部工は、ベント併用のトラッククレーンにより架設した。鋼材は、維持管理のメンテナンスを考慮して、耐候性鋼材を使用している。



路線名	(一) 下郷・会津本郷線	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW
架設場所	大沼郡会津本郷町大字氷玉地内	鋼材(PC鋼材)量	89 t
河川名	氷玉川	流量	109m³/sec
橋長	34.500m	架設工法	ベント併用クレーン架設
支間割	33.300m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.0+3.0+3.0+0.5+3.5=11.0m	橋脚形式	—
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	137
		上部工(百万円)	88
		下部工(百万円)	49

19

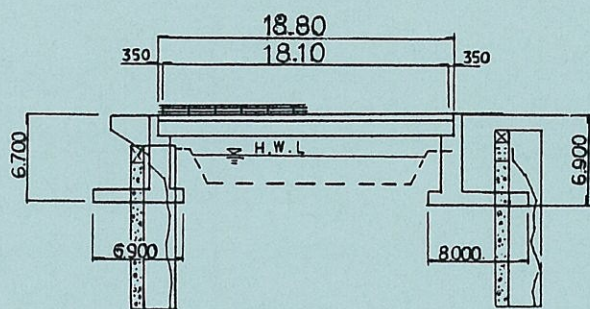
大原橋

PC単純プレテンT桁

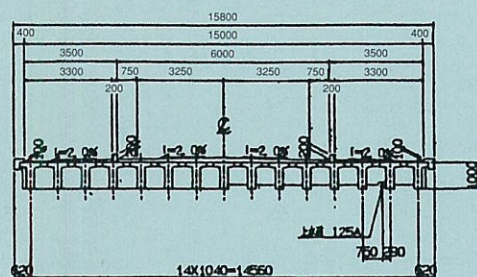


本橋は（主）いわき石川線、石川郡古殿町大字松川字大原地内に架かる橋である。旧橋は昭和15年に架設された老朽橋であり、トレーラー等大型車の増加による荷増対策及び幅員狭小の解消を図るため、平成14年度に工事を実施した。

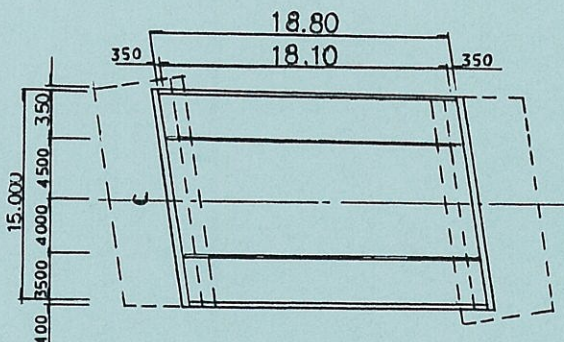
側面図



断面図



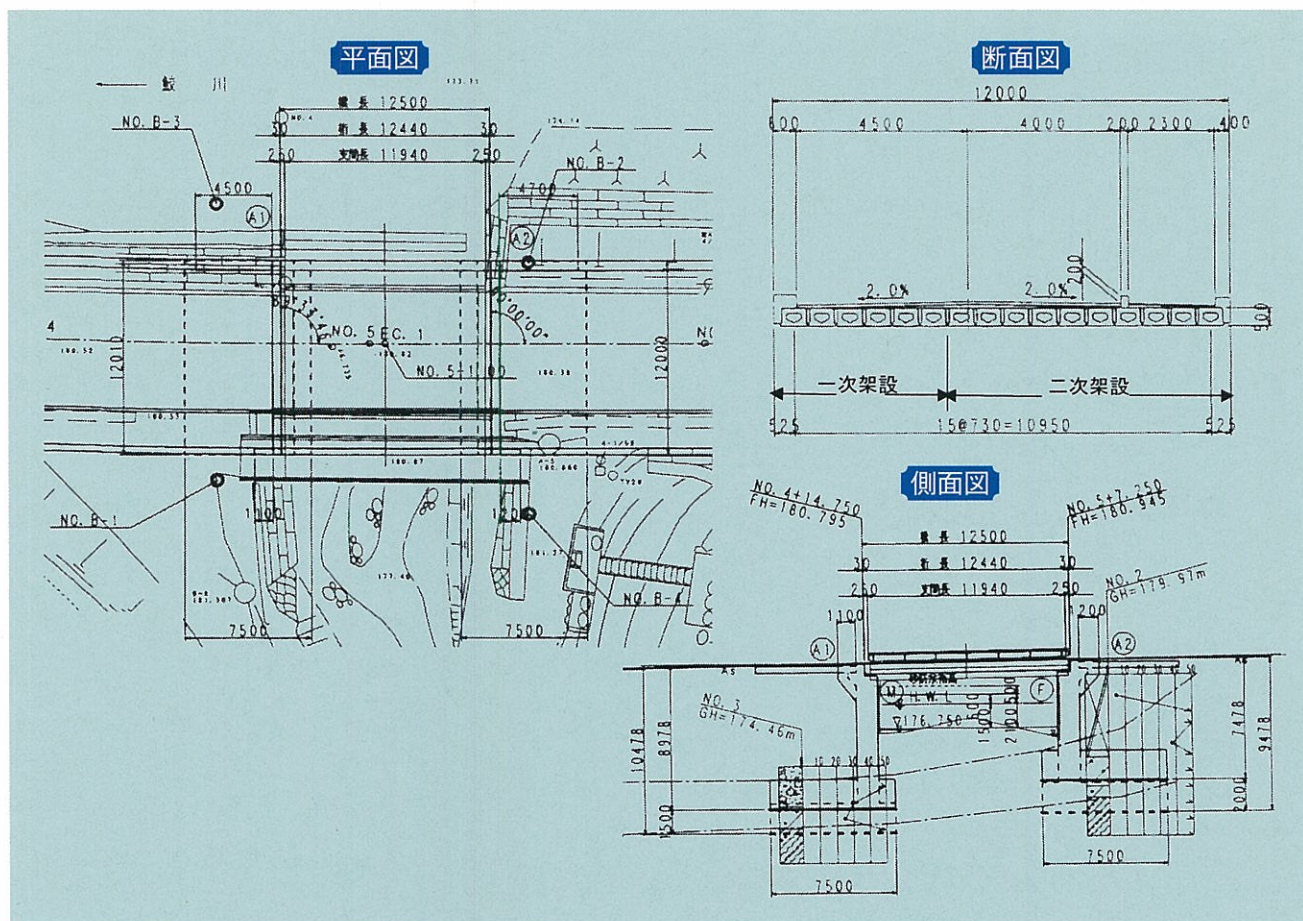
平面図



路 線 名	(主) いわき石川線			使用鋼(PC 鋼)材	1S－15.2B				
架 設 場 所	石川郡古殿町大字松川字大原地内			鋼材(PC 鋼材)量	370kg				
河 川 名	大久田川	流 量	145m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設				
橋 長	18.800m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	18.100m			橋 脚 形 式	－				
幅 員 構 成	歩道＋路肩＋車道＋車道＋路肩＋歩道＝全幅 3.5＋0.75＋3.25＋3.25＋0.75＋3.5＝15.0m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	78	上部工(百万)	50	下部工(百万)	28



S14に架設された老朽橋の架け替えに伴い、前後の現道拡幅を実施。（平成14年度施工）現道の完全通行止めが不可能であったため、片側を供用しながらの二段階方式で架設した。

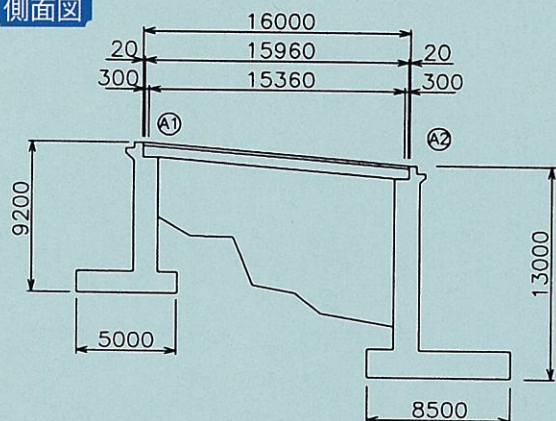


路線名	(主) いわき石川線	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線SWPR7B (1S15.2B)
架設場所	いわき市田人町石住地内	鋼材(PC鋼材)量	8,812kg
河川名	栃沢	架設工法	トラッククレーン架設
橋長	12.500m	橋台形式	逆T式
支間割	11.940m	橋脚形式	—
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.25+3.25+3.25+0.75+2.5=11.0m	基礎工	直接基礎
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	154
		上部工(百万円)	33
		下部工(百万円)	121

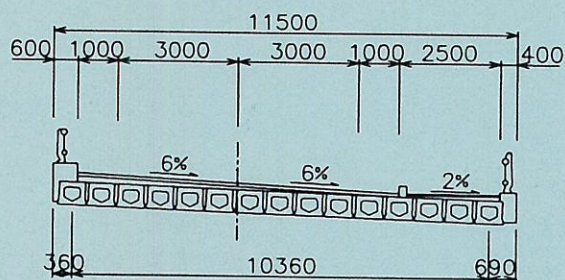


本橋は山口保原線の保原町大字富沢地内、バイパス整備に伴い交差する町道を横断する橋梁である。工場製作されたプレキャスト桁を現場に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。経済性及び施工性に優れ、安定した品質を確保できることが特徴であり多くの実績がある。

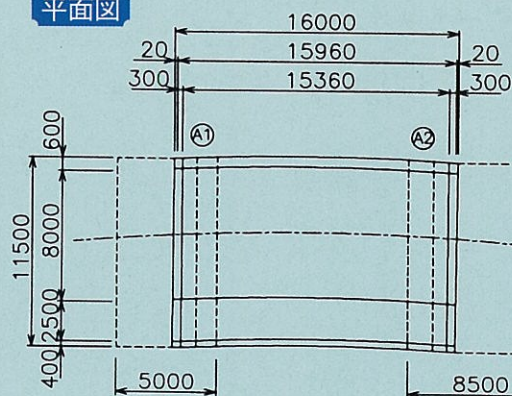
側面図



断面図



平面図

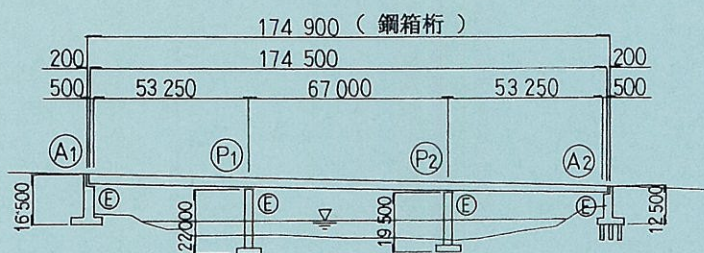


路線名	(一) 山口保原線	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BN (1S15.2B) SWPR19N (1S17.8)
架設場所	保原町大字富沢地内	鋼材(PC鋼材)量	786kg
河川名	—	架設工法	トラッククレーン架設
橋長	16.000m	橋台形式	逆T式
支間割	15.360m	橋脚形式	—
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 1.0+3.0+3.0+0.5+2.5=10.0m	基礎工	直接基礎
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
		総工事費(百万円)	82
		上部工(百万)	36
		下部工(百万)	46

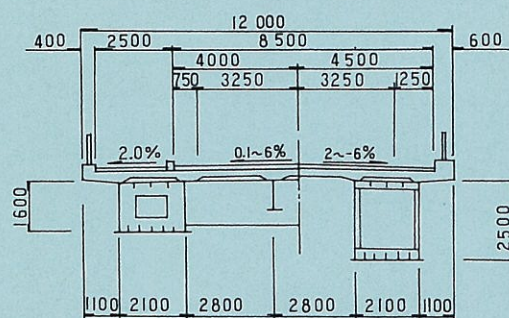


本橋は、国道252号 大沼郡金山町本名地区から金山町西谷橋地区に架かる橋である。旧橋は昭和29年に架設された老朽橋であり、平成14年度に架け替えた。橋台の後方に橋桁の組立ヤードを造成し、ヤード内で組み立てた橋桁を架設地点まで送り出し架設した。鋼材には耐候性鋼材を使用し、コスト縮減を図った。

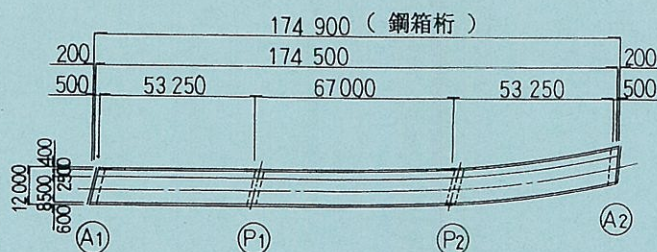
側面図



断面図



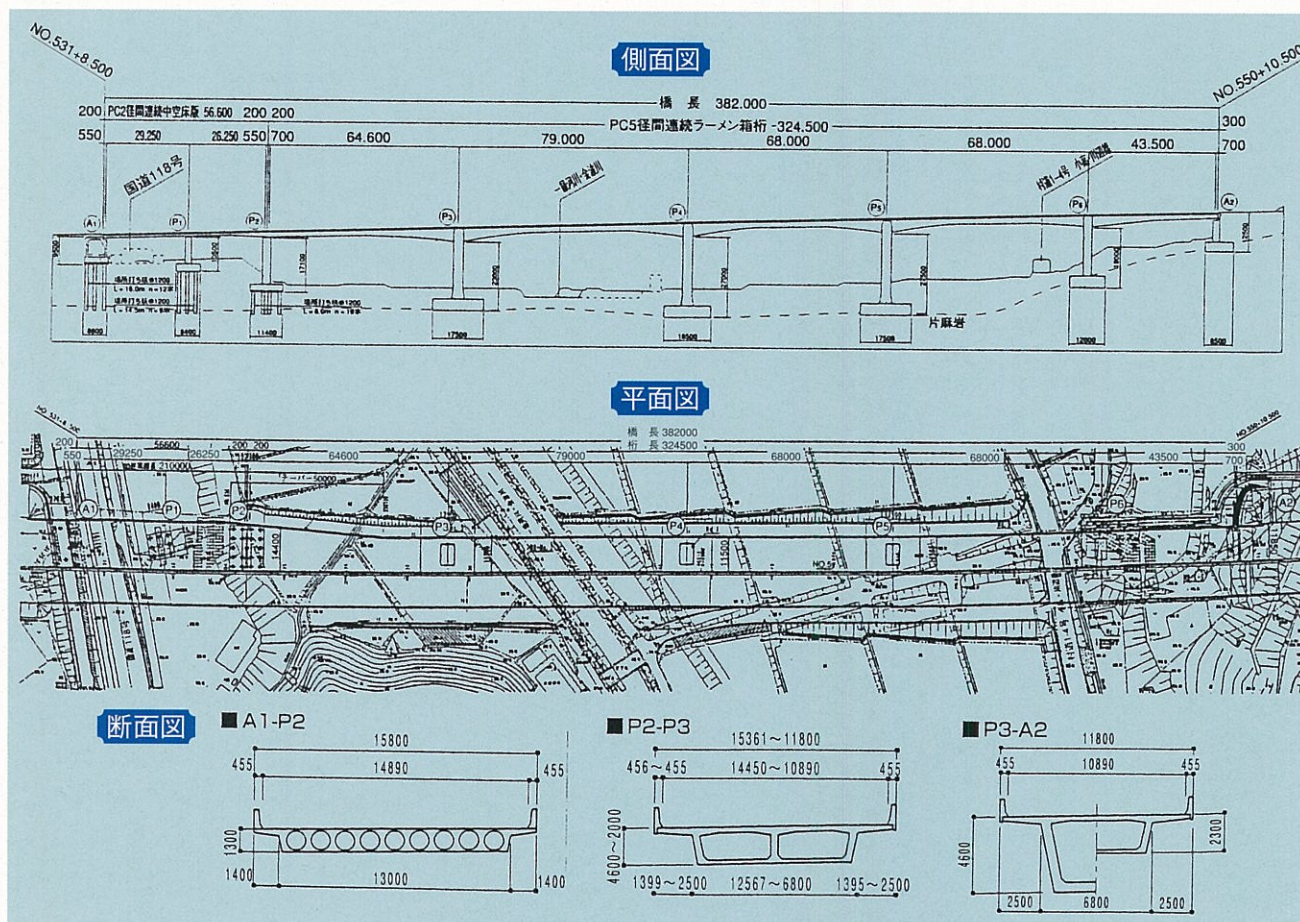
平面図



路線名	国道252号	使用鋼(PC鋼)材	SMA490AW SMA490BW SMA400AW
架設場所	大沼郡金山町大字本名地内	鋼材(PC鋼材)量	689 t
河川名	只見川	流量	6,000m³/sec
橋長	174.900m	架設工法	送り出し架設
支間割	53.250+67.000+53.250m	橋台形式	逆T式
幅員構成	歩道+路肩+車道+車道+路肩=全幅 2.5+0.75+3.25+3.25+1.25=11.0m	橋脚形式	小判型壁式
適用示方書	平成8年12月	基礎工	A1, P1, P2 直接基礎 A2 場所打杭 φ1200 L=5.5m N=9本
設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	1160
		上部工(百万)	693
		下部工(百万)	467



本橋は、玉川ICより福島空港ICの中に位置し国道118号と金波川を跨ぐ橋梁である。架設工法は、国道部及び側径間は固定支保工とし、河川及び村道上部は片持ち張出工法としている。また、幅員は本線の合流部に架かるため15.8mから11.5mに変化する。



路線名	(主) 矢吹小野線			使用鋼(PC鋼)材	PC鋼より線 SWPR7BN (12S12.7)			
架設場所	玉川村蒜生地内			鋼材(PC鋼)量	134,227kg			
河川名	金波川	流量	160m³/sec	架設工法	固定支保工(中空床版部、側径間)、片持ち張出工法(P3、P4、P5、P6)			
橋長	382.000m			橋台形式	ラーメン式(A1)、逆T式(A2)			
支間割	29.25+26.25+64.6+79.0+2@68.0+43.5m			橋脚形式	壁式			
幅員構成	(A1~P2) 路肩+車道+側帯+車道+車道+路肩=全幅 1.945+3.5+0.5+3.5+3.5+1.945=14.89m (P2~A2) 路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.945+3.5+3.5+1.945=10.89m			基礎工	A1 場所打杭 φ1200 L=12.0m N=12本 P1 場所打杭 φ1200 L=14.5m N=9本 P2 場所打杭 φ1200 L=8.0m N=19本 A2,P3,P4,P5,P6 直接基礎			
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重	総工事費(百万円)	2,326	上部工(百万)	1,278	下部工(百万) 1,048

24

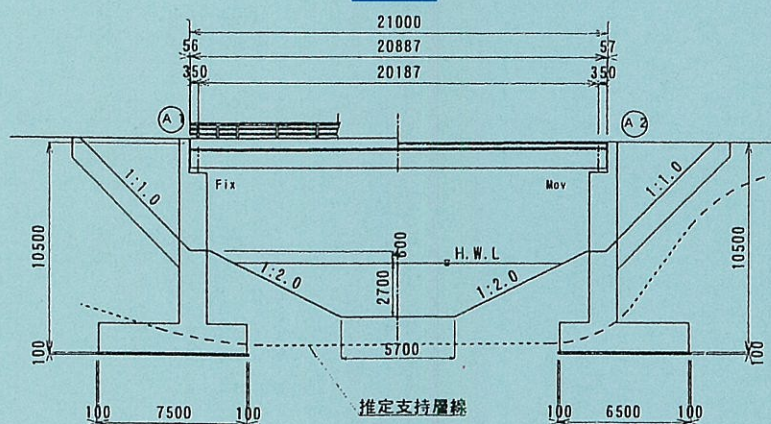
堀川橋

PC単純プレテン中空床版桁

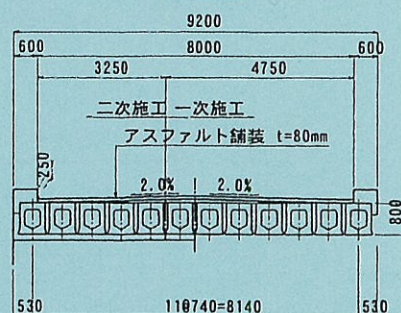


本橋は、東白川郡棚倉町の県道棚倉鮫川線関口地内に架かる橋であり、幅員狭小区間の解消及び床版損傷に伴い平成14年度に架け替えた。工場製作されたプレキャスト桁を現場内に搬入し、トラッククレーン架設により施工した。

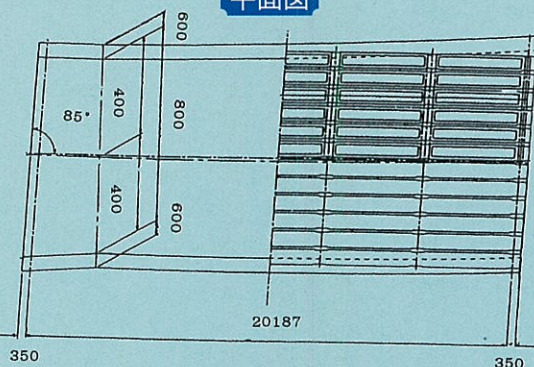
側面図



断面図



平面図

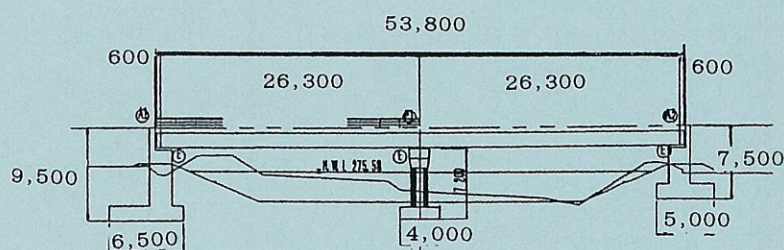


路線名	(主) 棚倉鮫川線	使用鋼(PC鋼)材	PC鋼材 SWPR7B
架設場所	東白川郡棚倉町大字棚倉字関口地内	鋼材(PC鋼材)量	262kg
河川名	大草川	流量	120m³/sec
橋長	21.000m	架設工法	トラッククレーン架設工法
支間割	20.100m	橋台形式	逆T式
幅員構成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.0+3.0+3.0+1.0=8.0m	橋脚形式	—
基礎工		基礎工	直接基礎
適用示方書	平成8年12月	設計荷重	B活荷重
総工事費(百万円)	86	上部工(百万円)	38
下部工(百万円)	48		

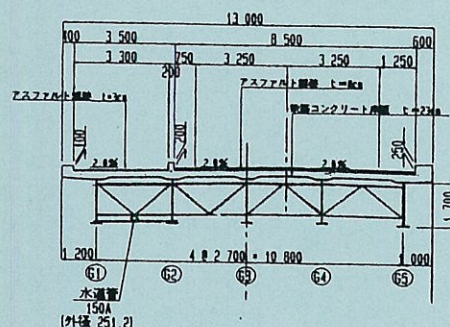


本橋は、東白川郡棚倉町の県道黒磯棚倉線強梨地内に架かる橋であり、平成14年度にバイパス計画に伴い新たに新設された。鋼材に耐候性鋼材を使用しコスト削減を図った。

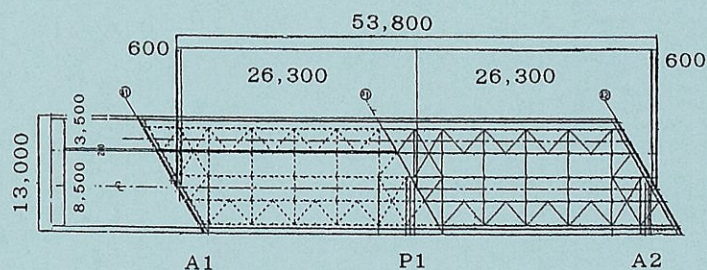
側面図



断面図



平面図



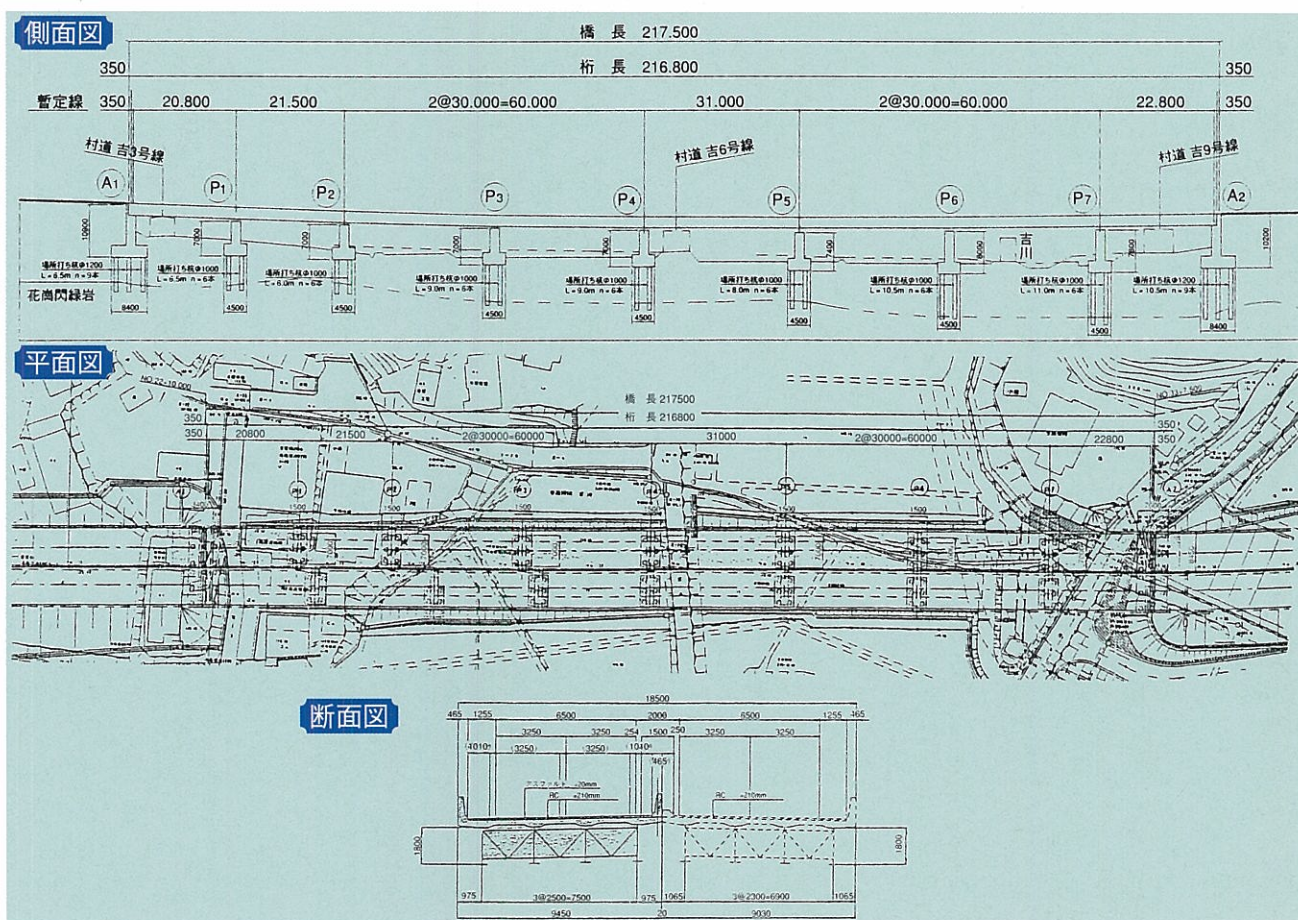
路 線 名	(主) 黒磯棚倉線			使用鋼(PC 鋼) 材	SMA490AW SMA400AW				
架 設 場 所	東白川郡棚倉町大字強梨地内			鋼材(PC 鋼材) 量	120 t				
河 川 名	久慈川	流 量	460m³/sec	架 設 工 法	トラッククレーン架設工法				
橋 長	53.800m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	26.300+26.300m			橋 脚 形 式	小判型壁式				
幅 員 構 成	歩道+路肩+車道+車道+路肩+歩道=全幅 3.5+0.75+3.25+3.25+1.25=12.0m			基 礎 工	直接基礎				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	160	上部工(百万)	115	下部工(百万)	45

吉野中央橋

鋼 8 徑間連續鉸桁



あぶくま高原道路福島空港インターチェンジから福島空港に通ずる県道古殿須賀川線にある、村道・吉川を跨ぐ橋梁。耐候性鋼材を使用し、トラッククレーン+ベント工法により施工された。



路 線 名	(主) 古殿須賀川線			使用鋼(PC 鋼)材	SMA490YA SS400				
架 設 場 所	石川郡玉川村大字吉地内			鋼材(PC 鋼材)量	289 t				
河 川 名	吉川	流 量	15m³/sec	架 設 工 法	クローラクレーン+ベント工法				
橋 長	217.500m			橋 台 形 式	逆 T 式				
支 間 割	20.800+21.500+2@30.000+31.000+2@30.000+22.800m			橋 脚 形 式	壁式				
幅 員 構 成	路肩+車道+車道+路肩=全幅 1.010+3.250+3.250+1.010=8.520m			基 礎 工	場所打杭 φ1000～φ1200 L=6～11m N=6～9本				
適用示方書	平成 8 年12月	設計荷重	B 活荷重	総工事費(百万円)	507	上部工(百万)	370	下部工(百万)	137

監督員のページ

うつくしま大橋



うつくしま大橋

— あぶくま高原道路で一番長いうつくしい道路橋 —

あぶくま高原自動車道建設事務所 渡 辺 敦 宏

1. は じ め に

福島県土木部職員の方で「うつくしま大橋」の写真を見たことが無いという人はいないと思う。

各種パンフレットやポスターに掲載され、開通後約3年経過しようとする現在でも「あぶくま高原道路の代名詞」となっている橋梁だからである。

「うつくしま大橋」と命名してくれた、当時矢吹小学校6年生だった佐藤加奈さんも今は高校受験に向けてがんばっていることだろう。

歴代監督員を代表して、一つの橋梁で優良工事を2回受賞した「うつくしま大橋」について紹介する。

2. 事 業 の 概 要

「うつくしま大橋」は、矢吹町と玉川村の行政界を流れる一級河川阿武隈川に架かる、橋長1,262mのコンクリート橋であり、RC連続中空床版橋・PC単純中空床版橋・連続PC箱桁橋で構成され、その径間数は63径間となる。

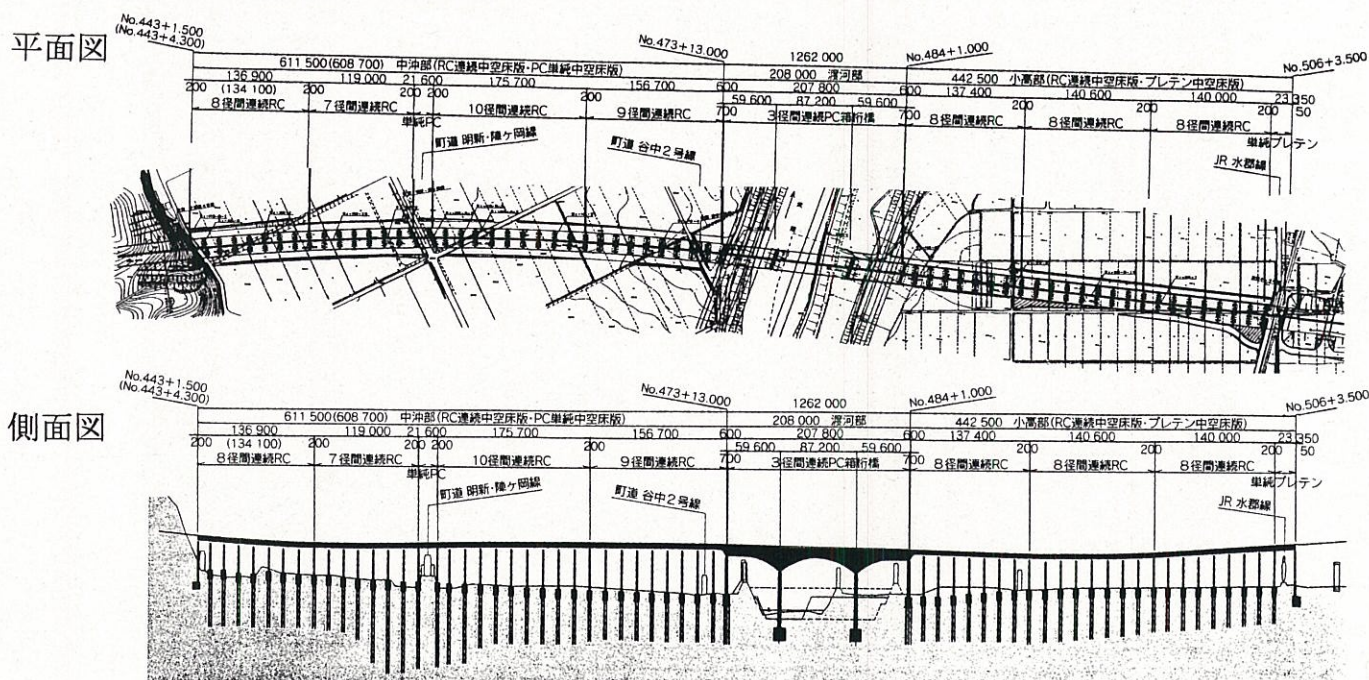
「うつくしま大橋」は、矢吹町側の「中沖部（611.5m）」、玉川村側の「小高部（442.5m）」、阿武隈川を跨ぎ両町村を結ぶ「渡河部（208.0m）」に区分され、平成10年度に地方道改築事業として3つの工区に分割して工事に着手し平成12年度に完成した。

総事業費は37億8,400万円（m当たり約300万円）である。

3. 橋 梁 諸 元

「うつくしま大橋」の橋梁一般図を〔図-1〕に、橋梁諸元を〔表-1〕に示す。

〔図-1 橋 梁 一 般 図〕





4. 橋梁形式の選定

(1) 中沖部・小高部

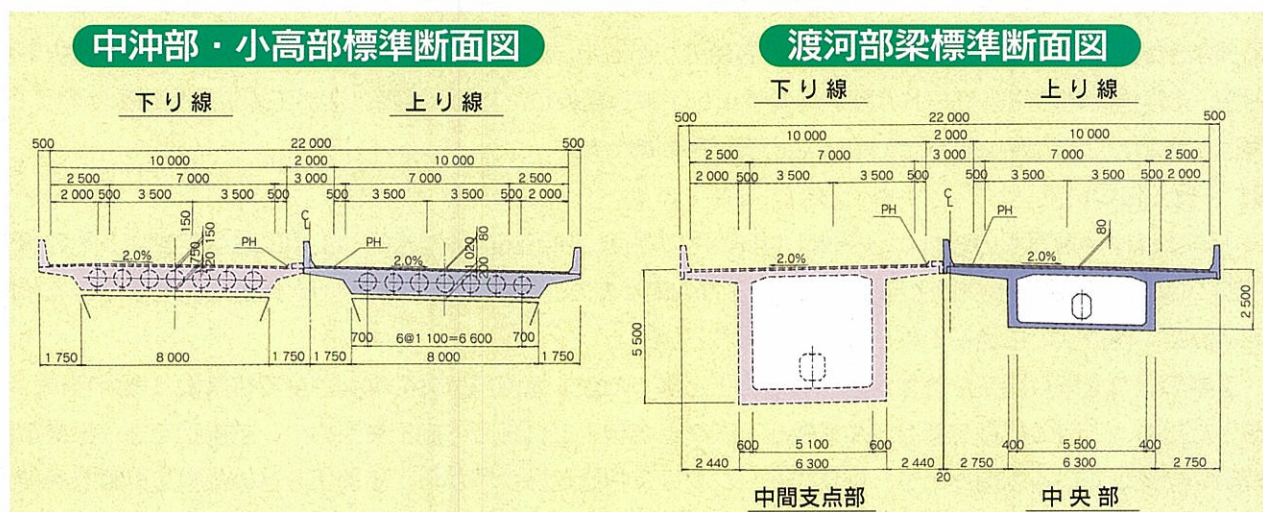
A案	連続RC中空床版橋	基本スパンを18.0mとし桁高は1.0mで統一。	採用
B案	連続鋼鈑桁橋	基本スパンを30.0mとし桁高は1.7mで統一。	
C案	連続プレテンPC中空床版橋	基本スパンを24.0mとし桁高は0.95mで統一。	

(2) 渡河部

A案	PC連続箱桁橋	支間形式を2スパン～3スパンで検討した結果、 2スパン形式では河川交差条件から不等径間となり 不経済となった。 よって、3スパン形式で比較検討を行った。	採用
B案	連続鋼箱桁橋		
C案	連続鋼床版箱桁橋		

(3) 選定結果

比較検討した結果、経済性・景観性に最も優れる連続RC中空床版橋とPC3径間連続箱桁橋を採用した。



〔表－1 橋梁緒元〕

名称	区分	形式	スパン・高さ	数量	摘要
中沖高架橋	上部工	A1～P8 8径間連続RC中空床版	15.4+15.6+5@17.2+16.1m	1連	上り線
		P8～P15 7径間連続RC中空床版	16.5+5@17.2+15.5m	1連	上り線
		P15～P16 単純PC中空床版	20.8m	1連	上り線
		P16～P26 10径間連続RC中空床版	14.2+8@17.9+17.3m	1連	上り線
		P26～P35 9径間連続RC中空床版	17.1+7@17.7+14.7m	1連	上り線
	下部工	A1橋台（逆T式）	H=11.0m	1基	上り線
		橋脚（壁式）	H=7.5m～11.7m	34基	上り線
渡河部	上部工	P35～P38 3径間連続PC箱桁	59.6+87.2+59.6m	1連	上り線
	下部工	橋脚（壁式）	H=10.8m～15.0m	4基	上り線
小高高架橋	上部工	P38～P46 8径間連続RC中空床版	13.8+6@17.6+17.0m	1連	上り線
		P46～P54 8径間連続RC中空床版	17.0+6@17.6+17.0m	1連	上り線
		P54～P62（後半拡幅） 8径間連続RC中空床版	17.0+6@17.6+16.4m	1連	上り線
		P62～A2 単純PCプレテン中空床版	22.65m	1連	上り線
	下部工	A2橋台（逆T式）	H=14.7m	1基	上下線
		橋脚（壁式）	H=8.3m～11.2m	24基	上り線

5. 工 事 経 過

工事経過については、「うつくしま大橋」建設工事に一番長く携わられた佐川正規氏の回想録を基に、渡河部と小高部を中心に記載する。

(1) 用地取得について

うつくしま大橋は平成10年度に工事に着手し、供用開始予定のH12年度完成を目指して計画が進められた。

平成10年度当初の用地買収の現状は、中沖部の一部と渡河部・小高部のほとんどが未買収であった。用地課と建設課が一致団結して用地交渉を行った結果、平成10年11月に渡河部の橋梁下部工に着手出来ることとなった。

(2) 仮設工について

阿武隈川の堤外地での工事のため、河川管理者との協議結果により、渇水期内にP36橋脚の施工と上部工施工用仮栈橋を完了させなければならなかった。

瀬回工を施工し、1月末に床掘に着手した。施工者と一緒に綿密な工程管理を実施した結果、どうにか出水期直前までに予定工事を完了させることができた。この間、3月末～4月にかけての豪雨と融雪水による異常出水により、瀬回工を越水することも幾度あった。これに伴う建設機械と使用資材の一時撤去や再設置、工事再開時の作業ヤードの整地等の手戻り工事も経験したため、橋脚と上部工施工用仮栈橋が完了し、瀬回工を撤去できた時には何とも言えない満足感があった。

(3) 下部工について

小高部は、用地買収の遅れから平成11年3月にどうにか下部工の本格的な工事に着手できた。その頃渡河部では、P36橋脚上から上部工張出し施工が始まったが、P37橋脚ではやっと床掘工に着手できる状態であった。時はすでに当初工程から約半年遅れていた。

工事の遅れを取り戻すため休日返上での施工となったが、渡河部以外の橋脚は全て杭基礎（場所打杭）であったため、2台の杭打ち機をフル稼働して次々と杭施工と橋脚工の施工を進めた。杭施工では一部推定支持層が急変している区間があり、確認ボーリングで支持層を探りながら、上部工を含めた構造計算を再検討し、杭長の見直しを行った。支持層である岩盤が予想以上に硬かったため、橋脚1基あたりの施工に相当な時間を要することとなった。

A2橋台はJR水郡線を跨いだ位置にあり、計画段階からJR東日本（株）水戸支社との協議を行い、列車運行の安全を最優先とした施工で取り組むこととした。特に仮設工（土留工）の施工では、H型鋼および鋼矢板の打込みに神経を使い、打込み時の振動によりレールのずれやひずみが生じないように随時測定を行い、列車運行の安全に努めた。

(4) 上部工について

下部工工事の遅れに伴い、小高部のRC上部工施工時期は工程が押し迫った中での施工となった。その結果、最初の1連の床版コンクリート施工時期が8月に、2連目は12月末とならざるを得なかった。上部工は約500mにわたる配筋作業のため、毎日配筋検査を実施し品質管理に努めた。1連あたりのコンクリート使用量は約1,000m³となるため、8台のコンクリートポンプ車による打設計画を検討した。午前5時から打設を開始し午後4時に完了する予定で、打設順序、養生方法、支保工のたわみ測定体制等を計画した。

1連目の施工では、午前10時を過ぎた頃から気温が急上昇することが多く、締固め作業効率が低下した。また、すみやかに養生工を行わなければならないため、100人を超える作業員で対応し、終了時間は午後6時を過ぎることも多かった。

2連目の施工は12月29日となった。冬期間の施工となったため養生温度の管理には細心の注意をはらい施工した。急激な温度低下を防ぐために約150mをすっぽり覆えるシートを使用して養生を行うなど、現場で日夜の温度管理を行った結果、良好な品質を確保することができた。

また、上部工を支える支保工は、田の表土を撤去した箇所へ設置することとなったため、不測の沈下が発生しない様に不良区間の部分置換えを行うと共に、日常管理を実施し品質管理に努めた。

綿密な工程管理と品質管理を行った結果、予定工期内で舗装工事に引き渡すことができた。小高部上部工が完了し、既に完成していた中沖部・渡河部の上部工と連結された時には監督員としての達成感を満喫できた。

中 沖 部（連続RC中空床版橋）



上部工施工状況



橋面工施工状況

小 高 部（連続RC中空床版橋）



下部施工状況



下部工施工状況



上部工施工状況



橋面工施工状況



橋面工施工状況



上部工全景

6. 「うつくしま大橋」建設に携わって

歴代監督員や現場代理人の方々に執筆を依頼した。寄稿されたものを記載する。

〈 佐川正規氏より 若手技術者へのメッセージ 〉

- ① 重要構造物はもちろん主要な構造物の支持層確認は、どんなことがあっても監督員自ら確認し、決して施工業者の写真管理任せにしないこと。
- ② 構造物施工位置（基礎杭含む）の確認も監督員が行うこと。
- ③ 計画工程内の余裕の有無を打ち合わせ時に施工業者と密に確認しておくこと。
- ④ 施工現場に何回も足を運ぶことによって、設計内容が実際にどの様に出来上がるかを実感することができる。現場を見ていれば上司・同僚の質問にも即座に現場状況を答えることができると共に、自分の財産として必ず生かされる。
- ⑤ 現場には、用地問題・工事の不測の問題が生じるが、一人で片づけることには限界がある。上司・同僚などと協力連携し、常に前向きな姿勢で取り組むことが必要であると共に、技術者として自分の技術力を磨くことが重要である。

〈 伊東貴章氏より PCプレテン中空床版橋を担当しての感想 〉

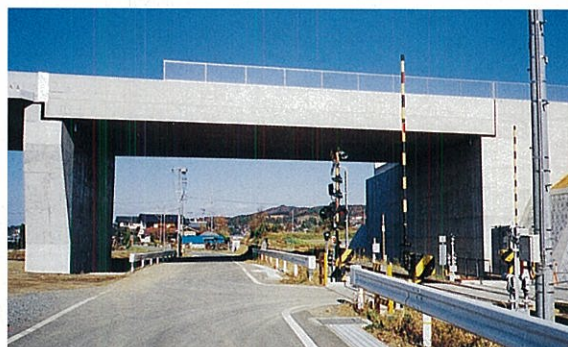
本橋梁は、JR水郡線を跨ぐためJRへ委託した。施工ヤードとしてA2橋台背面を使用する計画であったが、JR担当者と現地打合せを行った時点では背面盛土工が未完成であり、相手方より本当に着手できるのかと詰め寄られた。現場に付きっきりで盛土工の施工管理を行い約束の期日までに完成させた。

現場着手から舗装工事施工業者へ引き渡すまでの期間は実質一箇月程度であったが綿密な工程・安全・品質管理を実施し、工期内に完成させることができた。

小 高 部（PCプレテンション中空床版橋）



上部工施工状況



上部工全景

〈 福地和雄氏（株）ピーエス三菱より 渡河部現場代理人を担当しての感想 〉

本橋梁は、片持張出架設工法を採用していることから、施工順序・主桁材令差が極めて重要であり、本橋両サイドの改良工事や橋面舗装工の施工時期の制約から工程の拘束をしいられた。しかしながら、関連工事と綿密な工程調整を図りながら主桁材令を予測し、たわみ計画に反映させることで正確な高さ管理を実施することができた。

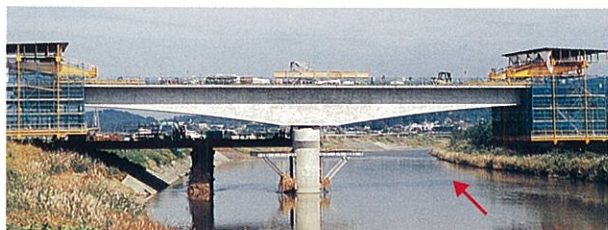
また、橋脚柱頭部の施工がブラケット支保工で設計されていたが、現場を工夫し枠組支保工に変更することで建設コストの縮減が図れた。

〈 渡辺敦宏氏より 渡河部を担当しての感想 〉

3年間の日本道路公団出向を経験した後の最初の現場であったため、安全管理と品質管理は日本道路公団の施工現場以上のものとなるように監督指導した。施工管理では張出架設工のため、毎日のように現場に出かけた。私は事前に準備された箇所では絶対に検査を行わない監督員であるため、どうしても検査時間が長くなってしまった。作業員の方々の冷たい視線は今も忘れない。高度な技術力を有する現場代理人に恵まれたこともあり、私の要求レベル以上のうつくしい橋体工を完成させることができた。

P C箱桁橋の監督は初めてであったが、現場監督において身に付いた貴重な経験を今後も生かしていきたいと考えている。

渡 河 部（3 径間 P C 連続箱桁橋）



上部工施工状況



上部工施工状況

〔渡河部施工要領図〕

ステップ 1 脚頭部の施工

- 脚頭部の施工
- 仮固定用PC鋼棒のセット
- 仮省の施工
- ストッパーの据付け
- 本省の据付け



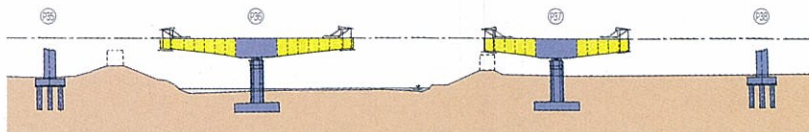
ステップ 2 柱頭部の施工

- ブラケット支保工及び支柱式支保工による柱頭部の施工
- 仮固定用PC鋼棒の緊張
- ストッパーの仮固定



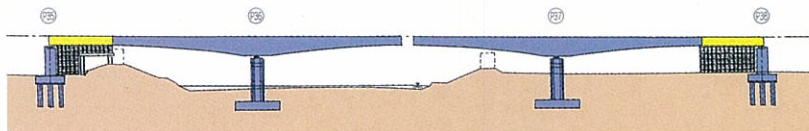
ステップ 3 張出し施工

- 移動作業車の組立
- 移動作業車による張出し施工



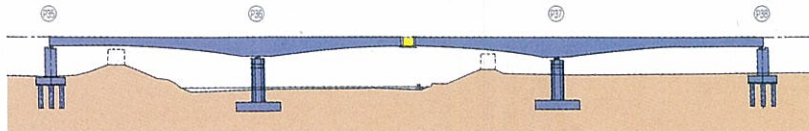
ステップ 4 側径間部の施工

- 移動作業車の撤去
- 支保工による側径間部の施工
- 仮固定用PC鋼棒の解放
- 仮省の撤去
- ストッパーの仮固定解放



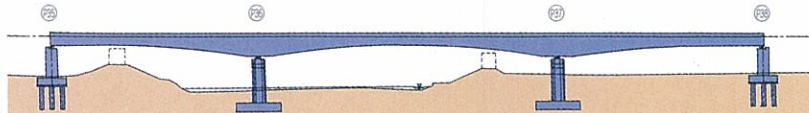
ステップ 5 中央閉合部の施工（橋体工完成）

- 吊支保工による中央閉合部の施工



ステップ 6 橋面工の施工

- 橋面工の施工



7. お わ り に

「うつくしま大橋」は現在供用されている道路橋の中で県内一長い道路橋であるが、常磐自動車道の広野IC～富岡ICが開通すれば「木戸川橋（橋長1,392.5m）」に抜かれ、県内で2番目に長い道路橋となる。長さでは負けても「うつくしま大橋」には絶対に負けていないものがある。私が日本道路公団のOBだからこそ言えることであるが、それは、建設工事に掛けた監督員の情熱である。より良い品質と出来栄を確保するために妥協を許さず現場代理人の方と激論を交わしたことも数多い。また、建設工事を通して学んだ知識をいかに若い監督員に伝承していくかといった取り組みでも負けていない。監督員の技術力の差によって完成物に差が生じることの無いように組織し、当事務所で活動している「TEAMブリッ兒」もその一例である。

当事務所は、平成15年度にPC橋を6橋完成させ、鋼橋を5桥架設した。これらの監督業務で得た知識を、職場内OJTを通して自己研鑽意欲の強い技術職員に伝えている。

今後とも、あぶくま高原自動車道建設事務所は、「福島県の技術事務所」として日々躍進して行くことを願ってやまない。

開 通 式（矢吹IC～玉川IC）



テープカット（橋上）



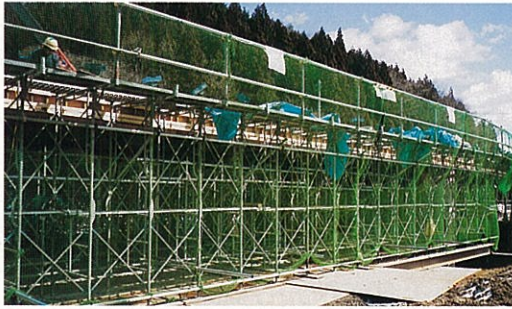
開通パレード



渡 橋 式（佐藤知事と地元幼稚園児）

写真で見る 橋ができるまで

1. PC場所打ち編（中空床版橋）



① 支保工設置

打ち込みされたコンクリートが所定の強度に達するまで、橋桁を支えておくため、支保工を設置します。



② 鉄筋・PCケーブル組み立て

設計図書に従い、鉄筋及びPCケーブルを設置します。



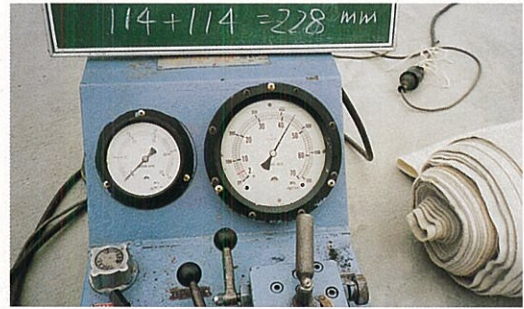
③ コンクリートの打ち込み

コンクリートが鉄筋、シースの周囲、あるいは型枠のすみすみまで行き渡るように行います。



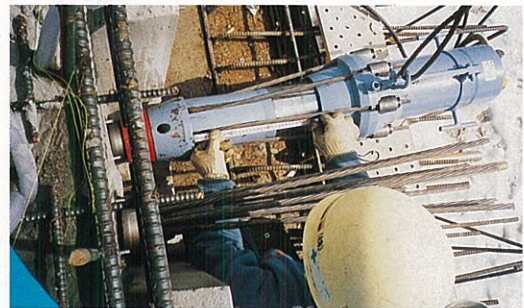
④ 緊張工(1)

設計計算書に示されている所定のプレストレス(緊張力)になるまで専用の油圧ポンプでジャッキの緊張力を徐々に増加させます。



⑤ 緊張工(2)

最終緊張力が導入されたことを油圧ポンプの圧力示度計より確認します。



⑥ 緊張工(3)

最終緊張力を導入した際のPCケーブルの伸び量を計算値と比較し、正しく緊張されたことを確認後、定着します。



⑦ グラウトの施工

グラウトを注入し、PC鋼材と部材本体のコンクリートとの付着を与え一体化させます。



⑧ 完 成

橋面工を施工して完成。

2. PCブロック桁橋編（ポステンT桁）



① プレキャストブロック桁の製作
工場において、ブロック桁を製作します。



⑤ 緊張工・グラウト工
ブロック接着後、直ちにPCケーブルの緊張を行います。



② ブロック組立設備工
ブロック桁の接合・桁の引き出しに用いる架設桁、桁引き出し用台車等を設置します。



⑥ 架設工
ブロックを架設桁上から、クレーンにより、据付ます。



③ ブロック桁の組み立て(1)ブロックの接合
プレキャストブロックの接合面のごみ、油などを取り除き、接着剤を塗布します。



⑦ 横組み工
引き続き、横組み工を施工します。



④ ブロック桁の組み立て(2)ブロックの接合2
接着剤塗布後、全ての接合キーが十分に噛み合うまで、各々のブロック桁を引き寄せます。



⑧ 完 成
橋面工を施工して完成。

3. 鋼 橋 編 (耐候性鋼材)



① 桁製作(1)鋼板の加工

設計図書に従い、鉄板を切断し、主に溶接により各部品を組み立てます。



② 桁製作(2)鋼板仮組立て

工場内において、仮組立てを行い、設計どおりの形になっているか確認します。(シミュレーションにより行う場合もあります。)



③ 工場塗装

耐候性鋼材の裸仕様の場合でも、さびの安定化が期待出来ない桁端部、伸縮継手、箱桁内面等は塗装を施します。



④ ベント設置

ベント設置位置の地耐力の安全性を確認のうえ、設置します。



⑤ 架設工

現地で地組した各ブロックをクレーンにより架設する。



⑥ 現場継手工

主に、高力ボルトにより接合していきます。



⑦ 床版工

連続桁の場合、桁、床版に有害な変形、内部応力が残らないよう、各径間中央部を先行し、支点はその後打ち込んでいきます。



⑧ 完 成

完 成 橋 梁

一 覽 表

平成12年度完成橋梁一覧表

番号	橋名	管内	路線名	所在地	河川名 (踏切名) (道路名)	橋長 (m)	幅員 (m)	支間割 (m)	下 形式
1	あかさわおほ 赤沢大橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	矢吹町 矢吹	国道4号 東北自動車道	161.300	17.7 (22.79)	33.500+65.000+60.800	逆T式(杭)、壁式(杭)
2	いずみ橋	相双	(主) 原町海老相馬線	原町市 泉	武須川	24.500	6.0 (9.5)	23.720	逆T式(直接)
3	いわさわがわ 岩沢川橋	相双	(一) 広野小高線	広野町 北迫	岩沢川	185.000	6.5 (15.0)	4@45.750	逆T式(直接)
4	うつくしまおほ うつくしま大橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	矢吹町 奉行 玉小川村高	阿武隈川	1,262.000	7.0 (10.8)	17.6+16.2+5@17.2+16.1+16.6+ 5@17.2+15.5+20.8+14.2+8@ 17.9+17.3+17.1+7@17.7+14.7+ 59.7+87.2+59.7+13.8+6@17.6+ 17+17+6@17.6+16.4+22.7	逆T式(杭) 壁式(杭・直接)
5	うめかわ 梅川橋	相双	(主) 原町海老相馬線	相馬市 柏崎	梅川	38.000	6.5 (15.0)	18.650+18.450	逆T式(直接) 小判型壁式(直接)
6	えんみょうじ 円明寺橋	県南	(国) 294号	白河市 字円明寺	谷津田川	20.600	13.0 (30.0)	19.840	逆T式(杭)
7	かわはら 川原橋	県中	(国) 118号	長沼町 江花	江花川	49.000	12.0 (6.5)	2@24.500	逆T式(直接) 小判型壁式(直接)
8	かんなみ 金波橋	あぶくま	(国) 118号	玉川村 高	金波川	31.300	6.5 (18.0)	30.300	ラーメン式(直接) 逆T式(直接)
9	ごしよない 御所内橋	いわき	(主) 常磐勿来線	いわき市 添野町	渋川	25.300	6.5 (11.0)	24.516	逆T式(杭)
10	こみね 古峰橋	相双	(国) 399号	川内村 下川内	宇津川	16.400	6.5 (9.0)	15.740	逆T式(直接)
11	しんしちだ 新下田橋	県北	(国) 349号	東和町 太田	安達太田川	32.300	6.5 (18.0)	31.200	逆T式(杭)
12	しんたまかわ 新玉川橋	あぶくま	(国) 118号	玉川村 高	泉郷川	23.700	6.5 (18.0)	22.940	逆T式(直接)
13	たか 高橋	会津若松	(一) 湯ノ上会津高田線	会津高田町 尾崎窪	宮川	47.200	6.0 (14.0)	46.200	逆T式(直接)
14	たまかわ 玉川インターランプ橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	玉川村 高	金波川	76.600	9.5 (14.5)	44.900+29.100	ラーメン式(杭) 逆T式(杭) 壁式(杭)
15	つしま 津島橋	相双	(国) 459号	浪江町 津島	請戸川	24.700	6.0 (13.5)	23.900	ラーメン式(直接)
16	とちのき 栃ノ木橋	相双	(主) 浪江三春線	浪江町 房	沢	18.000	6.0 (8.0)	17.338	逆T式(直接)
17	なかやま 中山大橋	県北	(国) 114号	福島市 福渡	現国道114号	183.000	6.5 (14.0)	55.900+70.000+55.900	逆T式・箱式(直接)、 壁式(直接)
18	はちまん 八幡橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	矢吹町 八幡	棚倉矢吹線	21.400	14.0 (26.0)	20.600	逆T式(杭)
19	ばんじょう 盤城橋	県北	(国) 349号	東和町 太田	針道川	41.100	6.5 (15.0)	39.670	逆T式(直接)
20	ひめかわ 姫川橋	南会津	(国) 121号	下郷町 栄富	戸石川	44.000	6.5 (15.0)	42.980	逆T式(直接)
21	べつふ 別府橋	会津若松	(国) 121号	塩川町 窪	姥堂川	49.300	6.5 (20.0)	2@24.000	逆T式(直接)
22	ほりきりいちごう 堀切1号橋	会津若松	(一) 下郷会津本郷線	会津本郷町 水	—	10.400	5.5 (9.5)	9.600	逆T式(杭)
23	まえやなぎ 前柳橋	県北	(一) 月館霊山線	月館町 御代田	広瀬川	66.000	6.5 (8.0)	25.400+38.800	逆T式(直接)、 壁式(直接)
24	まつあい 松合橋	南会津	(国) 289号	下郷町 塩生	観音川	86.000	6.5 (15.0)	2@42.400	逆T式(直接)、 箱式(杭)・円柱式(杭)
25	まつかわこせん 松川跨線橋	県北	(主) 土湯温泉線	福島市 福松川町	JR東北 本線	40.000	6.0 (11.0)	38.900	逆T式(杭)
26	やぶき 矢吹インターランプ橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	矢吹町 赤沢	—	56.800	3.75 (7.34)	25.350+29.850	逆T式(杭) 壁式(杭)
27	わたる 渡利くるみ橋	県北	(一) 岡部渡利線	福島市 渡利	くるみ川	13.300	6.0 (16.0)	12.740	逆T式(杭)
28	あいかわそくどう 相川側道橋	いわき	(一) 小川赤井平線	いわき市 小川町	相川	16.700	2.5	16.000	腰掛式
29	おおはしそくどう 大橋側道橋	県中	(一) 玉川田村線	郡山市 田村町	谷田川	20.500	2.5	20.500	逆T式(直接)
30	せきば 堰場橋	県北	(国) 399号	月館町 布川	堰場沢	6.300	5.0 (5.5)	6.000	逆T式(直接)

部 工		上		部 工		事 業 名	
施 工 業 者	コンサルタント	形 式	桁本数(本)	鋼重(t)	施 工 業 者		コンサルタント
野地・あおい・鈴木JV	(株)近 代 設 計	PC3 径間連続ボステン箱桁	1 (3箱)	—	ドービー・会津工建社JV	(株)近 代 設 計	地方特定道路整備
石 川 建 設 工 業 (株)	(株)福建コンサルタント	PC単純プレテン床版桁	14	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)福建コンサルタント	交 安 一 種
田 中 建 設 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	鋼 4 径間連続箱桁	2	599	宮 地 ト ビ ー 宇 部 JV	(株)シビルエンジニアーズ	特定地域道路整備
藤田・三金・県南JV 滝谷・深谷・城野JV	(株)協和コンサルタンツ	RC連続中空床版、 PC単純中空床版、 連続PC箱桁	1 (1箱) 1	—	滝谷・深谷・城野JV ピーエス・常磐興産JV 川 田 建 設 (株) オリエンタル建設(株) 藤田・三金・県南JV	(株)協和コンサルタンツ	地 方 道 改 築
小 野 建 設 (株)	(株)共和コンサルタント	P C 2 径間連続ボステン 中空床版桁	1	—	(株)会 津 工 建 社	(株)共和コンサルタント	緊急地方道整備
三 金 興 業 (株)	東 日 本 測 量 (株)	PC単純プレテン床版桁	19	—	(株) ピ ー ・ エ ス	東 日 本 測 量 (株)	国道改築・激特
(株)星 野 組	セントラルコンサルタント(株) 東 北 支 社	鋼 2 径間連続板桁	5	101	矢 田 工 業 (株)	セントラルコンサルタント(株) 東 北 支 社	国道第1種改良
滝谷・深谷・城野JV	(株)橋梁コンサルタント	PC単純ボステン中空床版桁	1	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)橋梁コンサルタント	地 方 道 改 築
(株)丸 星 建 設	東 日 本 測 量 (株)	PC単純プレテン床版桁	16	—	昭和コンクリート工業(株)	東 日 本 測 量 (株)	橋りょう整備
大 和 田 建 設 (株)	(株)東コンサルタント	PC単純プレテン床版桁	13	—	(株) ピ ー ・ エ ス	(株)東コンサルタント	国道第1種改良
(株)野地組・(株)本多建設	(株)高島テクノロジーセンター	鋼単純板桁	7	116	協 三 工 業 (株)	(株)高島テクノロジーセンター	国 道 改 築
滝谷・深谷・城野JV	(株)橋梁コンサルタント	PC単純プレテン T 桁	18	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)橋梁コンサルタント	地 方 道 改 築
江 川 建 設 工 業 (株)	(株)郡山測量設計社	鋼単純板桁	6	190	平 工 橋 梁 (株)	(株)協和コンサルタンツ	緊急地方道整備
滝谷・深谷・城野JV	(株)近 代 設 計	PC 2 径間連続ボステン箱桁	1 (2箱)	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)近 代 設 計	地 方 道 改 築
横 山 建 設 (株)	(株)東コンサルタント	PC単純プレテン床版桁	19	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)東コンサルタント	国 道 改 築
横 山 建 設 (株)	(株)東コンサルタント	PC単純プレテン床版桁	12	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)東コンサルタント	橋りょう整備
小 林 土 木 (株)	大日本コンサルタント(株)	鋼 3 径間連続箱桁	2	958	三菱・高田・宇野JV	大日本コンサルタント(株)	国 道 改 築
堀江・大和・上遠野JV	(株)郡山測量設計社	PC単純ボステン T 桁	26	—	(株)会 津 工 建 社	(株)郡山測量設計社	地 方 道 改 築
(株)本 多 建 設	(株)オリエンタルコンサルタンツ	鋼単純板桁	6	162	福島橋梁経常建設JV	(株)オリエンタルコンサルタンツ	国 道 改 築
(株)渡 部 工 務 所	大日本コンサルタント(株)	PCボステンコンボ橋	6	—	(株) ピ ー ・ エ ス	大日本コンサルタント(株)	生 活 基 盤
江 花 建 設 (株)	(株)長 大	鋼 2 径間連続板桁	10	183	矢 田 工 業 (株)	(株)長 大	重要幹線街路
江 川 建 設 工 業 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	鋼単純板桁	4	19	協 三 工 業 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	緊急地方道整備
佐 藤 工 業 (株)	(株)キ タ ッ ク	鋼 2 径間連続箱桁	2	184	古 河 機 械 金 属 (株)	(株)キ タ ッ ク	緊急地方道整備
金井建設工業(株)	新 構 造 技 術 (株)	鋼 2 径間連続板桁	6	347	駒井・コミヤマ特定	新 構 造 技 術 (株)	国 道 改 築
仙 建 工 業 (株)	(株)橋梁コンサルタント	単純鋼床版箱桁	3	171	建設工事共同企業体	(株)橋梁コンサルタント	緊急地方道整備
野地・あおい・鈴木JV	(株)近 代 設 計	PC 2 径間ボステン連続 中空床版橋	1	—	松 尾 橋 梁 (株)	(株)近 代 設 計	地方特定道路整備
多 田 建 設 (株)	(株)近 代 設 計	PC単純プレテン床桁	22	—	ドービー建設工業(株)	(株)近 代 設 計	地方特定道路整備
ユタカ建設工業(株)	(株)東コンサルタント	PC単純プレテン床版桁	3	—	(株)富士ピー・エス	(株)東コンサルタント	第1種(県単)
(株)田 母 神 建 設	(株)シビルエンジニアーズ	鋼単純非合成 H 桁	2	9	常磐興産ピーシー(株)	(株)シビルエンジニアーズ	道 路 改 築
(有)大 友 組	東 邦 測 地 (有)	PC単純床版	9	—	矢 田 工 業 (株)	東 邦 測 地 (株)	通 常 砂 防

平成13年度完成橋梁一覽表

番号	橋 名	管 内	路 線 名	所在地	河川名 (踏切名) (道路名)	橋 長 (m)	幅 員 (m)	支 間 割 (m)	下
									形 式
1	いえ ひがし 家 東 橋	会津若松	(主) 会津坂下会津高田線	新 鶴 村 鶴 野 辺	佐賀瀬川	31.000	6.0 (10.0)	30.053	逆T式(杭)
2	おお く ぼ 大 久 保 橋	県 北	(国) 349号	岩 代 町 東 新 殿	大久保川	14.600	9.5 (12.5)	14.020	逆T式(直接)
3	おく かる い ざわ 奥 軽 井 沢 橋	県 北	(国) 399号	福 島 市 飯 坂 町	摺 上 川	90.000	6.5 (11.0)	27.400+34.000+27.400	逆T式(直接)、 円柱式(杭)
4	お だ くら 小 田 倉 橋	県 南	(一) 増見小田倉線	西 郷 村 小 田 倉	堀 川	34.200	6.0 (10.0)	33.200	逆T式(直接)
5	かや の き 栢 ノ 木 橋	相 双	(主) 原町川俣線	原 町 市 深 野	新 田 川	102.700	6.5 (11.0)	33.450+34.300+33.450	逆T式(直接)、 小判型壁式(直接)
6	さく 作 橋	い わ き	(主) 小名浜小野線	いわき市 三 和 町	小 玉 川	37.700	6.5 (12.0)	2@18.300	逆T式(直接)、 小判型壁式(直接)
7	しん むかい 新 向 橋	い わ き	(国) 399号	いわき市 小 川 町	戸 渡 川	64.470	6.5 (8.0)	20.550+22.000+20.550	逆T式(直接)、 壁式(直接)
8	す か がわ 須 賀 川 橋	県 中	(主) 須賀川二本松線	須賀川市 諏 訪 町	釈迦堂川	114.500	6.0 (16.0)	36.500+40.300+36.500	逆T式(直接)、 小判型壁式(直接・杭)
9	た なか 田 中 橋	県 中	(一) 常葉芦沢線	船 引 町 今 泉	牧 野 川	35.800	6.0 (10.0)	2@17.600	逆T式(直接)、 小判型壁式(直接)
10	つきの 槻 木 橋	県 中	(一) 下松本鏡石(停)	須賀川市 岩 淵	釈迦堂川	97.700	6.0 (10.0)	3@31.300	逆T式(直接)、 小判型壁式(直接)
11	つば いし 壺 石 橋	会津若松	(一) 下郷会津本郷線	会津本郷町 氷 玉	—	11.200	5.5 (9.5)	10.400	逆T式(杭)
12	どう め き 百 目 木 橋	相 双	(国) 399号	飯 舘 村 前 田	割 木 川	16.100	6.5 (11.0)	15.440	逆T式(直接)
13	の べ ざわ 野 辺 沢 橋	喜 多 方	(一) 会津若松熱塩温泉 自 転 車 道 線	熱塩加納村 熱 塩	野辺沢川	49.300	2.0 (3.0)	2@23.800	逆T式(直接)、 円柱式(直接)
14	ばん さい 万 才 橋	南 会 津	(国) 289号	只 見 町 長 浜	黒 谷 川	94.000	6.5 (16.5)	28.450+36.000+28.450	逆T式(直接)、 小判型壁式(直接)
15	ほり きり に ごう 堀 切 2 号 橋	会津若松	(一) 下郷会津本郷線	会津本郷町 氷 玉	—	26.000	5.5 (8.0)	25.000	逆T式(杭)
16	もり 森のわくわく橋	い わ き	(公園) いわき公園	いわき市 上 高 久	—	165.500	3.0	128.500	重力式(直接、グランド アンカー併用)
17	よし おお 吉 大 橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	玉 川 村 吉	村 道、 吉 川	157.500	7.0 (10.8)	47.850+60.500+47.850	逆T式(杭) 壁式(杭・直接)
18	うぐいす 鶯 橋	県 南	(主) 矢吹天栄線	矢 吹 町 花 咲	隈 戸 川	21.700	7.25 (10.5)	21.700	逆T式(直接) 小判型壁式(杭)
19	かわ だ 川 田 橋	県 南	(主) 矢吹天栄線	大 信 村 増 見	隈 戸 川	52.500	6.0 (10.0)	2@25.700	逆T式橋台(直接) 小判型壁式(直接)

部 工		上 部 工					事 業 名
施 工 業 者	コンサルタント	形 式	桁本数(本)	鋼重(t)	施 工 業 者	コンサルタント	
(有) 丸 秀 組	(株)東コンサルタント	PC単純バイブレ中空桁	11	—	東日本コンクリート(株)	(株)東コンサルタント	緊急地方道整備
菅 野 建 設 工 業 (株)	(株)東コンサルタント	PC単純プレテン床版桁	19	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)東コンサルタント	国 道 改 築
佐 藤 工 業 (株)	(株) 東 亜 設 計 事 務 所	鋼 3 径間連続鈑桁	2	155	平 工 橋 梁 (株)	(株) 東 亜 設 計 事 務 所	国 道 改 築
三 金 興 業 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	プレビーム単純合成桁	6	109	川 田 建 設 (株)	川 田 建 設 (株)	地方特定・激特
東 北 建 設 (株)	橋梁コンサルタント(株)	鋼 3 径間連続鈑桁	5	139	福島県橋梁経常建設 共 同 企 業 体	橋梁コンサルタント(株)	緊急地方道整備
磐 城 土 建 工 業 (株)	(株) 長 大	PC 2 径間連続ボステン 中空床版桁	1	—	常磐興産ピーシー(株)	(株) 長 大	地方特定道路整備
志 賀 工 業 (株)	日栄地質測量設計(株)	鋼 3 径間連続鈑桁	4	79	平 工 橋 梁 (株)	日栄地質測量設計(株)	国道第 1 種改良
(株) あ お い 組	大日本コンサルタント(株) 福 島 事 務 所	鋼 3 径間連続鈑桁	7	368	横河・楢崎特定建設 共 同 企 業 体	大日本コンサルタント(株) 福 島 事 務 所	重要幹線街路
三 和 工 業 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	PC 2 径間連結プレテン T 桁	10	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)シビルエンジニアーズ	地方特定道路整備
三 柏 工 業 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	PC 3 径間連結ボステン T 桁	6	—	(株) 会 津 工 建	(株)シビルエンジニアーズ	地方特定道路整備
江 川 建 設 工 業 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	鋼単純鈑桁	4	19	東 開 工 業 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	緊急地方道整備
庄 司 建 設 (株)	(株)福建コンサルタント	PC単純プレテン床版桁	16	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)福建コンサルタント	道 路 改 築
樫 内 建 設 工 業 (株)	(株) 郡 山 測 量 設 計 社	PC 2 径間連結 プレテン T 桁	3	—	(株) 会 津 工 建 社	(株) 郡 山 測 量 設 計 社	地方特定道路整備
大正工業(株)・斎藤工業(株)	(株)大日本コンサルタント	鋼 3 径間連続鈑桁	7	282	東北橋りょう経常 建 設 企 業 体	(株)大日本コンサルタント	国道第 1 種改良
江 川 建 設 工 業 (株)	(株)東コンサルタント	鋼単純鈑桁	4	54	東 開 工 業 (株)	(株)東コンサルタント	緊急地方道整備
山 木 工 業 (株)	(株)橋梁コンサルタント	外ケーブル併用吊床版	—	—	オリエンタル建設(株)	(株)橋梁コンサルタント	都市公園整備
庄司・水谷・西牧JV	新 構 造 技 術 (株)	鋼 3 径間連続鈑桁	4	505	川 田 ・ 矢 田 J V	新 構 造 技 術 (株)	地 方 道 改 築
日 仙 産 業 (株)	ア ジ ア 航 測 (株)	鋼単純鈑桁	3	28	協 三 工 業	ア ジ ア 航 測 (株)	復 旧 助 成
高 田 工 業 (株)	(株)橋梁コンサルタント	鋼 2 径間連続鈑桁	4	96	東 開 ク レ テ ッ ク	(株)橋梁コンサルタント	復 旧 助 成 ・ 地 方 特 定

平成14年度完成橋梁一覽表

番号	橋 名	管 内	路 線 名	所在地	河川名 (踏切名) (道路名)	橋 長 (m)	幅 員 (m)	支 間 割 (m)	下 形 式
1	あいよし橋	南会津	(国) 252号	只見町 只見	あいよし沢	93.000	6.0 (8.0)	27.950+36.000+27.950	逆T式(直接)、 逆T式(杭)
2	あか谷橋	会津若松	(国) 400号	三島町 三島	赤谷川	14.300	6.5 (11.0)	13.740	逆T式(直接)
3	いし塚橋	いわき	(主) 常磐勿来線	いわき市 石塚町	渋川	30.700	6.5 (11.0)	29.753	逆T式(杭)
4	えもち橋	県中	(主) 須賀川三春線	須賀川市 古舘	阿武隈川	165.500	6.5 (15.0)	47.350+69.000+47.350	逆T式(杭)、 小判型壁式(杭)、 小判型壁式(直接)
5	おお三本橋	南会津	(国) 289号	只見町 只見	大三本沢	99.700	6.0 (8.0)	30.400+37.700+30.400	逆T式(杭)、 小判型壁式(直接)
6	おお山橋	いわき	(主) いわき石川線	いわき市 遠野町	上遠野川	32.200	6.5 (9.0)	31.300	逆T式(直接)
7	おと戸神橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	小野町 小戸神	磐越自動車道	361.000	7.0 (10.14)	44.6+69.0+4@53.0+33.6	逆T式(杭・直接) 壁式(杭・直接)
8	おもて表橋	県北	(一) 安達太良山線	二本松市 竹田	鯉川	9.700	6.0 (10.0)	9.240	逆T式(杭)
9	カラブ沢橋	県北	(国) 399号	福島市 飯坂町	摺上川	279.100	6.5 (8.5)	58.10+80.04+80.04+58.10	逆T式(直接・杭)、 柱式(杭)
10	きのえ甲子橋	相双	(一) 北泉小高線	小高町 小高井	小高川	89.000	6.0 (12.0)	27.500+34.000+27.500	逆T式(杭) 小判型壁式(杭)
11	こ畑橋	県北	(一) 大沢広表線	福島市 立子山	東北電力 導水管	32.800	6.0 (10.0)	31.900	逆T式(直接)
12	こまつ原橋	喜多方	(国) 459号	喜多方市 上三宮町	—	73.000	6.5 (9.0)	21.850+28.000+21.850	逆T式(直接)、 壁式(杭)
13	さくら橋	南会津	(国) 401号	伊南村 白沢	白沢川	20.400	6.0 (10.0)	19.600	逆T式(直接)
14	しんえんまきわ新閼魔沢橋	県中	(国) 294号	長沼町 江花	閼魔沢	33.000	6.0 (8.0)	32.100	逆T式(直接) 円柱式(杭)
15	しんさくりにしん作沢橋	いわき	(国) 399号	いわき市 小川町	下田川	31.900	6.5 (15.0)	31.000	逆T式(直接)
16	しんたきかわ新滝川橋	県南	(国) 349号	矢祭町 大ぬかり	滝川	20.000	6.5 (11.0)	19.240	逆T式(直接)
17	しんとうかい新東開橋	南会津	(国) 289号	下郷町 南倉沢	小谷川	65.000	6.5 (16.0)	63.200	逆T式(杭)
18	しんふくなが新福永橋	会津若松	(一) 下郷会津本郷線	会津本郷町 水玉	氷玉川	34.500	6.0 (11.0)	33.300	逆T式(杭)
19	だいばら大原橋	県中	(主) いわき石川線	古殿町 松川	大久田川	18.800	6.5 (15.0)	18.100	逆T式(直接)
20	とち登地橋	いわき	(主) いわき石川線	いわき市 田人町	栃沢	12.500	6.5 (11.0)	11.940	逆T式(直接)
21	とみさわことう富沢跨道橋	県北	(一) 山口保原線	保原町 富沢	町道 4234号	16.000	6.0 (10.0)	15.360	逆T式(直接)
22	にしに谷橋	会津若松	(国) 252号	金山町 金本	只見川	174.900	6.5 (11.0)	53.250+67.000+53.250	逆T式(直接・杭)、 小判型壁式(直接)
23	ひりゅうおお大橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	玉川村 村生	国道118号、 金波川	382.000	7.0 (14.89)	29.25+26.25+64.6+ 79.0+2@68.0+43.5	ラーメン式(杭)逆T式(直 接)壁式(杭・直接)
24	ほりかわ堀川橋	県南	(主) 棚倉鮫川線	棚倉町 棚倉	大草川	21.000	6.0 (8.0)	20.100	逆T式(直接)
25	まつくさだいり松草平橋	県南	(主) 黒磯棚倉線	棚倉町 強梨	久慈川	53.800	6.5 (12.0)	2@26.300	逆T式(直接)、 小判型壁式(直接)
26	よしのちゅうおう吉野中央橋	あぶくま	(主) 矢吹小野線	玉川村 吉	吉川	217.500	6.5 (8.52)	20.8+21.5+2@30.0+ 31.0+2@30.0+2.8	逆T式(杭)壁式(杭)
27	あたご愛宕橋(拡幅)	県中	(主) 玉川田村	須賀川市 小作田	雨田川	6.200	11.0	5.800	逆T式(杭)
28	かきうち柿の内橋	県南	(主) 郡山矢吹線	矢吹町 滝八	隈戸川	71.400	6.0 (10.0)	27.400+41.200	逆T式(杭)
29	たかくら高倉橋(拡幅)	会津若松	(一) 会津坂下本郷線	会津本郷町 延明寺	農業用水路	7.600	6.0 (10.0)	7.000	L型(杭)
30	ひがしうら東裏橋(拡幅)	南会津	(一) 下郷・会津本郷線	下郷町 大内	小野川	22.500	6.0 (9.5)		逆T式(杭)
31	ひさかわ久川橋(拡幅)	南会津	(一) 大倉・大橋・浜野線	伊南村 青柳	久川	18.700	6.0 (8.5)		逆T式(直接)

部 工		上 部 工				事 業 名	
施 工 業 者	コンサルタント	形 式	桁数(本)	鋼重(t)	施 工 業 者	コンサルタント	
大 正 工 業 (株)	株式会社復興技術コンサルタント	鋼方杖ラーメン	4	306	片山ストラテック(株)	株式会社復興技術コンサルタント	防 雪
(株) 近 藤 組	日栄地質測量設計(株)	PC単純プレテン中空床版桁	16	—	(株) 会 津 工 建 社	日栄地質測量設計(株)	国 道 改 築
錦 興 業 (株)	(株) 長 大	PC単純バイブル中空床版桁	12	—	東日本コンクリート(株)	(株) 長 大	緊急地方道整備
(株)あおい組・水谷工業(株)	新 構 造 技 術 (株)	PC 3 径間連続箱桁	1	—	ピーエス・会津工建社 特定建設共同企業体	新 構 造 技 術 (株)	緊急地方道整備
美 馬 建 設 (株)	(株)協和コンサルタンツ	鋼 3 径間連続箱桁	4	215	東 開 工 業 (株)	(株)協和コンサルタンツ	国 道 改 築
鈴 木 工 業 (株)	(株)シビルエンジニアーズ	PC単純ポステン T 桁	6	—	常磐興産ピーシー(株)	(株)シビルエンジニアーズ	緊急地方道整備
三和・秋田・蒲生JV	(株) 大 日 本 コンサルタント	鋼 7 径間連続箱桁	2	1,387	川 田 ・ 佐 藤 J V 宮 地 ・ 滝 上 J V	(株)大日本コンサルト	地 方 道 改 築
(株) 佐 藤 組	(株)東コンサルタント	PC単純プレテン床版桁	13	—	ドービー建設工業(株)	(株)東コンサルタント	橋りょう整備
佐 藤 工 業 (株)	(株)虎ノ門コンサルタンツ	PC 4 径間連続ラーメン箱桁	1	—	住友・常磐興産 J V	(株)虎ノ門コンサルタンツ	国 道 改 築
石 川 建 設 工 業 (株)	橋梁コンサルタント(株)	鋼 3 径間連続箱桁		142	(株)巴コーポレーション	橋梁コンサルタント(株)	地方特定道路整備
東 信 建 設 (株)	(株)橋梁コンサルタント	PC単純コンボスラブ桁	4	—	(株) 会 津 工 建 社	(株)橋梁コンサルタント	緊急地方道整備
穴 澤 建 設 (株)	新 構 造 技 術 (株)	PC 3 径間連続ポステン 中空床版桁	—	—	(株) 会 津 工 建 社	新 構 造 技 術 (株)	国 道 改 築
(株) 新 井 組	(株)東コンサルタント	PC単純プレテン T 桁	10	—	(株) ピー エ ス 三 菱	(株)東コンサルタント	国道第 1 種改良
(株) 板 橋 建 設	株式会社復興技術コンサルタント	鋼単純箱桁	4	71	協 三 工 業 (株)	株式会社復興技術コンサルタント	国 道 改 築
(株) 大 一 組	(株)東コンサルタント	PC単純ブロックポステン T 桁	8	—	昭和コンクリート工業(株)	(株)東コンサルタント	国 道 改 築
藤 田 建 設 工 業 (株)	(株)東コンサルタント	PC単純プレテン T 桁	11		会 津 工 建 社	(株)東コンサルタント	国道第 1 種改良
(株) 渡 部 工 務 所	(株)東京建設コンサルタント	鋼単純箱桁	3	—	東骨・日塔特定建設 共 同 企 業 体	(株)東京建設コンサルタント	国 道 改 築
江 川 建 設 工 業 (株)	(株)虎ノ門コンサルタンツ	鋼単純箱桁	5	578	協 三 工 業 (株)	(株)虎ノ門コンサルタンツ	緊急地方道整備
(株) 小 浜 組	(株) キ タ ッ ク	PC単純プレテン T 桁	15	89	常磐興産ピーシー(株)	(株) キ タ ッ ク	緊急地方道整備
鈴 木 工 業 (株)	東 日 本 測 量 (株)	PC単純プレテン中空床版桁	16	—	常磐興産ピーシー(株)	東 日 本 測 量 (株)	緊急地方道整備
伊 藤 土 木 (株)	日栄地質測量設計(株)	PC単純プレテン中空床版桁	15	—	常磐興産ピーシー(株)	日栄地質測量設計(株)	地方特定道路整備
大 和 建 設 (株)	(株) 東 亜 設 計 事 務 所	鋼 3 径間連続箱桁	2	—	三 菱 ・ 栗 本 特 定 J V	(株) 東 亜 設 計 事 務 所	国道第 1 種改良
庄司・水谷・西牧JV	東 亜 設 計 事 務 所 (株)	PC 2 径間連続中空床版桁 + PC 5 径間連続ラーメン箱桁	1 (中空床版) 1 (1箱) 1 (2箱)	689	ピーエス・常磐興産JV	東 亜 設 計 事 務 所 (株)	地 方 道 改 築
藤 田 建 設 工 業 (株)	ア ジ ア 航 測 (株)	PC単純プレテン中空床版桁	12	—	会 津 工 建 社	ア ジ ア 航 測 (株)	橋りょう整備
藤 田 建 設 工 業 (株)	セントラルコンサルタント(株)	鋼 2 径間連続箱桁	5		平 工 橋 梁 (株)	セントラルコンサルタント(株)	地 方 特 定
錦・酒井・志賀JV	東 亜 設 計 事 務 所 (株)	鋼 8 径間連続箱桁	4	—	石川島播磨重工業(株)	東 亜 設 計 事 務 所 (株)	地 方 道 改 築
(株) あ お い 組	(株) ベ ク ソ ン	PC単純プレテン中空床版桁	5	120	(株) 会 津 工 建	(株) ベ ク ソ ン	地 方 道 改 築
三 泊 工 業 (株)	(株) 近 代 設 計	鋼単純箱桁	4	289	矢 田 工 業 (株)	(株) 近 代 設 計	復 旧 助 成
会 津 土 建 (株)	日栄地質測量設計(株)	鋼単純 H 桁	2	—	東 開 工 業 (株)	日栄地質測量設計(株)	地方特定道路整備
三 立 土 建 (株)	(株) 郡 山 測 量 設 計 社	PC単純プレテン中空床版桁	—	39	常磐興産ピーシー(株)	(株) 郡 山 測 量 設 計 社	地 方 特 定
(株) 新 井 組	(株)シビルエンジニアーズ	単純合成床版桁	3	—	ドービー建設工業(株)	(株)シビルエンジニアーズ	橋りょう整備

完 成 橋 梁

索 引

橋 長 順 索 引

		総目次	一覧表 目次			総目次	一覧表 目次
1	うつくしま大橋	1,260.00m	9	41	新 福 永 橋	34.5m	37
2	小 戸 神 橋	361.0m	58	42	小 田 倉 橋	34.0m	65
3	ひりゅう大橋	353.9m	74	43	新閤魔沢橋	33.0m	62
4	カ ラ ブ 沢 橋	279.1m	60	44	小 畑 橋	32.8m	16
5	吉 野 中 央 橋	217.5m	77	45	新 下 田 橋	32.3m	16
6	岩 沢 川 橋	185.0m	8	46	大 山 橋	32.2m	57
7	中 山 大 橋	183.0m	22	47	新 作 沢 橋	31.9m	66
8	西 谷 橋	174.9m	73	48	金 波 橋	31.3m	13
9	森のわくわく橋	165.5m	49	49	家 東 橋	31.0m	34
10	江 持 橋	165.0m	53	50	石 塚 橋	30.7m	54
11	赤 沢 大 橋	161.3m	6	51	壺 石 橋	26.0m	44
12	吉 大 橋	157.5m	50	52	御 所 内 橋	25.3m	14
13	須 賀 川 橋	114.5m	41	53	津 島 橋	24.7m	20
14	栢 ノ 木 橋	102.7m	38	54	い ず み 橋	24.5m	7
15	大 三 本 橋	99.7m	56	55	新 玉 川 橋	23.7m	17
16	槻 木 橋	97.7m	43	56	東 裏 橋(拡幅)	22.5m	
17	萬 歳 橋	94.0m	47	57	鶯 橋	21.7m	
18	あいよし橋	93.0m	52	58	堀 川 橋	21.0m	75
19	奥 軽 井 沢 橋	90.0m	36	59	円 明 寺 橋	20.6m	11
20	甲 子 橋	89.0m	61	60	大 橋 側 道 橋	20.5m	
21	松 合 橋	86.0m	29	61	さ く ら 橋	20.4m	64
22	玉川インターランプ橋	76.6m	19	62	八 幡 橋	20.4m	23
23	小 松 原 橋	73.0m	63	63	新 滝 川 橋	20.0m	67
24	柿 の 内 橋	71.4m		64	大 原 橋	18.8m	70
25	前 柳 橋	66.0m	28	65	久 川 橋(拡幅)	18.7m	
26	新 東 開 橋	65.0m	68	66	栃 ノ 木 橋	18.0m	21
27	新 向 橋	64.0m	40	67	古 峰 橋	16.8m	15
28	矢吹インターランプ橋	56.8m	31	68	相 川 側 道 橋	16.7m	
29	松 草 平 橋	53.8m	76	69	百 目 木 橋	16.1m	45
30	川 田 橋	52.5m		70	富 沢 跨 道 橋	16.0m	72
31	野 辺 沢 橋	49.3m	46	77	大 久 保 橋	14.6m	35
32	別 府 橋	49.3m	12	72	赤 谷 橋	14.3m	53
33	川 原 橋	49.0m	18	73	渡 利 くるみ 橋	13.3m	32
34	高 橋	47.2m	25	74	登 地 橋	12.5m	71
35	姫 川 橋	44.0m	24	75	堀 切 2 号 橋	11.2m	48
36	盤 城 橋	41.1m	30	76	堀 切 1 号 橋	10.4m	27
37	松 川 跨 線 橋	40.0m	10	77	表 橋	9.7m	59
38	梅 川 橋	38.0m	39	78	高 倉 橋(拡幅)	7.6m	
39	作 橋	37.7m	42	79	堰 場 橋	6.3m	
40	田 中 橋	35.9m	69	80	愛 宕 橋(拡幅)	6.2m	

五十音順索引

総目次 一覧表
目次

総目次 一覧表
目次

【あ】	1 相川側道橋	[あいかわそくどう]..... 92
	2 あいよし橋	[あいよし]..... 52 96
	3 赤沢大橋	[あかさわおお]..... 6 92
	4 赤谷橋	[あかたに]..... 53 96
	5 愛宕橋(拡幅)	[あたご]..... 96
	6 家東橋	[いえひがし]..... 34 94
	7 石塚橋	[いしづか]..... 54 96
	8 いずみ橋	[いずみ]..... 7 92
	9 岩沢川橋	[いわさわがわ]..... 8 92
	10 鶯橋	[うぐいす]..... 94
	11 うつくしま大橋	[うつくしまおお]..... 9 92
	12 梅川橋	[うめかわ]..... 10 92
	13 江持橋	[えもち]..... 55 96
	14 円明寺橋	[えんみょうじ]..... 11 92
	15 大橋側道橋	[おおはしそくどう]..... 92
	16 大久保橋	[おおくぼ]..... 35 94
	17 大三本橋	[おおさんぼん]..... 56 96
	18 大山橋	[おおやま]..... 57 96
	19 奥軽井沢橋	[おくかるいざわ]..... 36 94
	20 小田倉橋	[おだくら]..... 37 94
	21 小戸神橋	[おとかみ]..... 58 96
	22 表橋	[おもて]..... 59 96
【か】	23 柿の内橋	[かきのうち]..... 92
	24 栢ノ木橋	[かやのき]..... 38 94
	25 カラブ沢橋	[からぶさわ]..... 60 96
	26 川田橋	[かわだ]..... 94
	27 川原橋	[かわはら]..... 12 92
	28 金波橋	[かななみ]..... 13 92
	29 甲子橋	[きのえね]..... 61 96
	30 御所内橋	[ごしょない]..... 14 92
	31 小畑橋	[こばた]..... 62 96
	32 小松原橋	[こまつはら]..... 63 96
	33 古峰橋	[こみね]..... 15 92
【さ】	34 作橋	[さく]..... 39 94
	35 さくら橋	[さくら]..... 64 96
	36 新間魔沢橋	[しんえんまさわ]..... 95 96
	37 新作沢橋	[しんさくりざわ]..... 66 96
	38 新下田橋	[しんしもだ]..... 16 92
	39 新滝川橋	[しんたきかわ]..... 67 96
	40 新玉川橋	[しんたまかわ]..... 17 92

	41 新東開橋	[しんとうかい]..... 68 96
	42 新福永橋	[しんふくなが]..... 69 96
	43 新向橋	[しんむかい]..... 40 94
	44 須賀川橋	[すかがわ]..... 41 94
	45 堰場橋	[せきば]..... 92
【た】	46 大原橋	[だいばら]..... 70 96
	47 高橋	[たか]..... 18 92
	48 高倉橋(拡幅)	[たかくら]..... 92
	49 田中橋	[たなか]..... 42 94
	50 玉川インターランプ橋	[たまかわ]..... 19 92
	51 槻木橋	[つきのき]..... 43 94
	52 津島橋	[つしま]..... 20 92
	53 壺石橋	[つばいし]..... 44 94
	54 百目木橋	[どうめき]..... 45 94
	55 登地橋	[とち]..... 71 96
	56 栃ノ木橋	[とちのき]..... 21 92
	57 富沢跨道橋	[とみさわこどう]..... 72 96
【な】	58 中山大橋	[なかやま]..... 22 92
	59 西谷橋	[にしにに]..... 73 96
	60 野辺沢橋	[のべざわ]..... 46 94
【は】	61 八幡橋	[はちまん]..... 23 92
	62 萬歳橋	[ばんざい]..... 47 94
	63 盤城橋	[ばんじょう]..... 24 92
	64 東裏橋(拡幅)	[ひがしうら]..... 96
	65 久川橋(拡幅)	[ひさかわ]..... 96
	66 姫川橋	[ひめかわ]..... 25 92
	67 ひりゅう大橋	[ひりゅうおお]..... 74 96
	68 別府橋	[べつぷ]..... 26 92
	69 堀川橋	[ほりかわ]..... 75 96
	70 堀切1号橋	[ほりきり1ごう]..... 27 92
	71 堀切2号橋	[ほりきり2ごう]..... 48 94
【ま】	72 前柳橋	[まえやなぎ]..... 28 92
	73 松合橋	[まつあい]..... 29 92
	74 松川跨線橋	[まつかわこせん]..... 30 92
	75 松草平橋	[まつくさだいら]..... 76 96
	76 森のわくわく橋	[もりのわくわく]..... 49 94
【や】	77 矢吹インターランプ橋	[やぶき]..... 31 92
	78 吉大橋	[よしおお]..... 50 94
	79 吉野中央橋	[よしのちゅうおう]..... 77 96
【わ】	80 渡利くるみ橋	[わたりくるみ]..... 32 92

編集後記

「福島県の橋梁」は、昭和58年度版を初版とし、今回で9刊目を数え、20年分の橋梁を整理したこととなりました。

今回の「福島県の橋梁（平成15年度版）」では、平成12年度から平成14年度までに完成した橋梁80橋を掲載し、さらに「監督員のページ」では、福島県が管理する橋梁として最長となった「うつくしま大橋（橋長1,262m）」を取り上げ、監督員の回想録を中心に、厳しい工程の中での施工管理の状況等について紹介しています。

また、今回は「写真で見る橋ができるまで」を特集として取り上げ、一般的な橋梁の施工過程について、写真を取り混ぜながら紹介してみました。初任技術者を始め、技術者以外の方々にも橋梁工事をより身近なものとして感じていただくきっかけになれば幸いです。

現在、高度成長期に完成した橋梁の更新時期を間近に迎え、アセットマネジメント等の手法を取り入れた維持管理の時代へと移行していく中で、土木構造物の施工記録の蓄積は重要であると痛感しており、今後も継続して「福島県の橋梁」を発刊していきたいと考えております。

最後に、「福島県の橋梁」平成15年度版発刊にあたり、お忙しい中ご協力いただきました各位に対し、厚く御礼を申し上げ編集後記といたします。

編集スタッフ

道路整備グループ	主任主査	山口	登
	主査	茅根	俊幸
	主査	吉田	伸明
	副主査	上田	亨

福島県の橋梁

平成15年度版
(平成12年度～平成14年度完工)

発行

福島県土木部道路領域課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
電話 024-521-1111(代)

印刷

キング印刷株式会社
〒960-1106 福島県福島市下鳥渡字新町西6-1
電話 024-544-2121

